年　　報

令和７年度

愛媛県総合科学博物館

年報の発刊にあたって

愛媛県総合科学博物館
館長　和　田　英　夫

県民の皆様には、平素より当館を御利用いただき、誠にありがとうございます。

また、関係者の皆様には、当館の円滑な運営に様々な御協力・御支援を賜っており、深く感謝申し上げます。

当館はこのたび開館31周年を迎えました。今後も、これまで以上に自然や科学の楽しさに触れていただく機会を創出できるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいる所存です。

さて、令和７年度についても様々な魅力的な企画を展開しました。春の特別展「まんぷく！食品サンプル展」では、食品サンプルの製造方法や進化について、触って、撮って、楽しみながら学ぶことができる展示を開催しました。また､夏の特別展｢もっと知りたい！史上最大のニホンカワウソ展」では、県獣ニホンカワウソに関して、全国有数の規模を誇る当館収蔵資料を一挙に展示し、動物としてのカワウソや私たちとの関わり、生物の絶滅について理解を深める展示を開催し、全国的に注目を集めました。

さらに、秋以降は企画展「アメイジングホログラフィックワールド～おどろきのホログラムの世界～」を開催し、ホログラフィー技術と、その技術で撮影した立体写真を紹介し、お札やカードなど身近な利用から最新の研究成果まで多彩な展示を行うとともに、同時期に開催した企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」では、ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が撮影した画像を中心に、息をのむほど精細な宇宙の姿を展示しました。また、企画展「ようこそ！ゲノムワールドへ」では、ゲノム、DNA、遺伝子について解説するとともに、研究現場やゲノムを調べて分かった驚きの発見などを分かりやすく展示しました。このほか、令和７年12月末からは昭和100年を記念したリレー形式のロビー展を開始し、第１弾は当館収蔵品を通じて国産テレビの変遷を紹介する「テレビ受像機の100年」を年度末まで開催しました。

加えて令和７年度は、人口減少など地方博物館を取り巻く環境が大きく変化する中、当館が中長期的な視点で果たすべき役割と方向性を定め、今後の取り組みを推進する指針として｢愛媛県総合科学博物館魅力向上戦略｣を策定しました｡同戦略のスローガンとして｢あつめる　つなげる　未来をひろげる　～好奇心をはぐくみ　新たな海原に漕ぎ出す　愛媛のサイエンスシップ～」を掲げ、科学的な思考力と創造力の涵養、産業発展への寄与という設立目的を継承しつつ時代の要請である地域連携の深化と地域活性化への貢献も含んだ幅広い活動を推進してまいります。

本書は、令和７年度における事業の実施状況を中心に当館の概要を紹介しております。御一読いただきまして、活動内容を理解していただく一助としていただければ幸いです。今後とも愛媛県総合科学博物館をどうかよろしくお願いいたします。

目　　次

年報の発刊にあたって …… 1

Ⅰ 博物館概要

1　沿　　革 …… 4
2　設置の目的 …… 8
3　施設の基本理念　スローガンとミッション …… 8
4　施設の機能 …… 9
　⑴　博物館機能 …… 9
　⑵　生涯学習推進機能 …… 9
5　建築施設の概要 …… 12
　⑴　所　在　地 …… 12
　⑵　敷 地 面 積 …… 12
　⑶　建　　築 …… 12
　⑷　整　備　費 …… 12
6　運営組織及び職員 …… 13
　⑴　組 織 構 成 …… 13
　⑵　職　　員 …… 13
　⑶　指定管理者制度 …… 13
7　博物館協議会 …… 14
8　愛媛県総合科学博物館魅力向上戦略 …… 16

Ⅱ 令和７年度事業報告

博物館機能

1　資料収集・整理・保存 …… 18
　⑴　資料の収集 …… 18
　⑵　資料の整理 …… 18
　⑶　資料の保存管理 …… 18
　⑷　収蔵資料データの公開 …… 19
2　調査研究 …… 20
　⑴　個別（分野別）研究 …… 20
　⑵　研究成果の公表 …… 21
3　展示活動 …… 22
　⑴　常 設 展 示 …… 22
　⑵　特 別 展 示 …… 29
　⑶　企画展示等 …… 31
4　教育普及事業等 …… 34
　⑴　博物館講座の開催 …… 34
　⑵　博物館資料の特別利用及び館外貸出 …… 36
　⑶　実験器具と標本セット貸出 …… 37
　⑷　学校教育との連携 …… 38
　⑸　外部機関・団体との交流事業等 …… 40
　⑹　主催・共催事業 …… 45
　⑺　子育てサポート事業 …… 59
　⑻　印刷物の刊行 …… 59
　⑼　博物館実習の実施 …… 59
　⑽　友の会育成支援 …… 60
　⑾　博物館の情報化 …… 63
　⑿　マスメディアへの対応 …… 63
　⒀　ボランティアへの対応 …… 63
　⒁　外部団体からの助成 …… 63
　⒂　ＮＰＯ団体等との連携 …… 63

5　プラネタリウムの運営 …… 63
(1)　投影回数・時間 …… 63
(2)　番組・投影期間 …… 64
(3)　メンテナンスによる投影休止期間 …… 64
生涯学習推進機能
生涯学習推進事業 …… 65
(1)　東予コミュニティ・カレッジの開催支援 …… 65
(2)　生涯学習情報の提供 …… 66
(3)　施設の提供 …… 66
(4)　図書室の開放 …… 66

Ⅲ 予　　算 …… 67

Ⅳ 令和８年度事業計画
博物館機能
1　資料収集・整理・保存 …… 68
(1)　資料の収集 …… 68
(2)　資料の整理 …… 68
(3)　資料の保存管理 …… 68
2　調査研究 …… 68
令和８年度研究テーマ …… 68
3　展示活動 …… 68
(1)　常 設 展 示 …… 68
(2)　特 別 展 示 …… 69
(3)　企画展示等 …… 70
4　教育普及事業…… 70
(1)　博物館講座の開催…… 70
(2)　印刷物の刊行 …… 72
(3)　友の会育成支援 …… 72
5　プラネタリウムの運営 …… 72
(1)　投影回数・時間 …… 72
(2)　番組・投影期間 …… 73
(3)　メンテナンスによる投影休止期間 …… 73
生涯学習推進機能
生涯学習推進事業 …… 73
東予コミュニティ・カレッジの開催支援 …… 73

Ⅴ 令和７年度の利用状況
1　施設利用データ …… 75
(1)　月別利用状況 …… 75
(2)　団体利用状況 …… 77
2　貸館利用データ …… 77
3　臨時休館日 …… 77

Ⅵ 関係法規 …… 78
Ⅶ 博物館利用案内
1　施設使用案内 …… 100
(1)　施設使用申込み …… 100
(2)　施設使用料 …… 100
2　入館案内 …… 101
(1)　開 館 時 間 …… 101
(2)　休　館　日 …… 101
(3)　展示観覧料 …… 101
3　交通案内 …… 101

Ⅰ 博物館概要

1 沿　革

昭和63年12月３日	総合科学博物館調査研究委員会設置
平成３年６月４日	総合科学博物館調査研究委員会の基本構想の知事への答申 （建設候補地を新居浜市とする。）
10月30日	建築基本設計着手（平成４年３月31日完了）
11月９日	展示基本設計着手（平成４年３月31日完了）
11月30日	用地整備事業着手（平成６年１月31日完了）
12月３日	国立科学博物館理工学研究部長石橋一郎氏、展示プロデューサーに就任 （平成７年３月31日終了）
平成４年７月23日	建築実施設計着手（平成４年10月31日完了）
12月８日	展示実施設計着手（平成５年３月31日完了）
12月12日	建築工事着工（平成６年９月30日完了）
平成５年７月10日	展示品等整備工事着工（平成６年９月30日完了）
10月２日	立体駐車場建築工事着工（平成６年９月30日完了）
平成６年４月１日	総合科学博物館開設準備室設置
８月17日	定礎式
10月１日	愛媛県総合科学博物館、公の施設として設置 理化学研究所理事長　有馬朗人氏、館長に就任
11月10日	落成式を挙行
11月11日	一般公開
平成７年１月16日	入館者数　10万人を達成
２月11日	開館記念シンポジウム
５月２日	愛媛県総合科学博物館運営委員会設置
６月10日	巡回展「エネルギー体験館」（６月25日まで）
８月13日	夏休み特別展「夏だ！おもしろ博物館」（８月31日まで）
10月１日	愛媛県総合科学博物館友の会設立
12月17日	プラネタリウムギネス記念事業（シンポジウム・コンサート）
平成８年２月10日	企画展「ロボットの歴史と未来」開催（３月30日まで）
３月３日	入館者数　50万人を達成
７月14日	企画展「恐竜」開催（９月１日まで）
平成９年４月26日	特別展「欧米の科学博物館」開催（５月25日まで）
７月13日	企画展「出発進行！愛媛の鉄道　～坊っちゃん列車から未来の鉄道～」開催 （８月31日まで）
10月25日	特別展「宇宙開発の過去・現在・未来」開催（11月24日まで）
平成10年３月21日	入館者数　100万人を達成
４月29日	テーマ展「川の生きもの」開催（５月10日まで）
７月11日	企画展「たんけん！超ふしぎ館」開催（８月30日まで）
７月20日	有馬朗人氏、館長を退任
９月12日	特別展「自然科学写真協会写真展」開催（９月20日まで）
平成11年３月６日	特別展「愛媛の鉱山」開催（４月11日まで）
６月９日	日本学術振興会　理事長　菊池健氏、館長に就任
７月10日	企画展「昆虫ワンダーランド」開催（８月31日まで）
10月９日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催（11月７日まで）
12月11日	特別展「ふしぎ大陸　南極展」開催（１月16日まで）
平成12年３月19日	館蔵品展「海の森・海藻の世界」開催（５月７日まで）
７月８日	企画展「海のめぐみ」開催（８月31日まで）
８月17日	入館者数　150万人を達成
10月７日	特別展「日本自然科協会学写真展」開催（10月29日まで）
12月９日	館蔵品展「夢と科学のたどった道－20世紀－」開催（１月14日まで）
平成13年４月24日	館蔵品展「干潟の自然」開催（５月６日まで）
５月19日	巡回展「すばる望遠鏡－宇宙を探る新しい眼－」開催（６月10日まで）
７月14日	企画展「人体」開催（８月31日まで）
平成14年２月23日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催（３月10日まで）
３月17日	館蔵品展「翼大空へ～航空機と空港を知る～」開催（４月14日まで）

４月27日	企画展「ふ・し・ぎミュージアム」開催（５月26日まで）
６月１日	企画展「仮想科学館」開催（６月30日まで）
７月13日	特別展「花物語　花にかくされたひみつ」開催（９月１日まで）
11月２日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催（11月17日まで）
12月21日	企画展「愛媛のキノコ～華麗なる森の芸術家たち～」開催（平成15年２月２日まで）
平成15年２月８日	企画展「昔の遊び！今の遊び！」開催（２月16日まで）
２月27日	企画展「植物のおぼえ方」開催（３月16日まで）
３月22日	企画展「きれいないし」開催（５月５日まで）
５月11日	企画展「愛媛の野鳥～写真で見る野鳥観察～」開催（５月25日まで）
６月１日	企画展「消えゆくいきものたち」開催（６月22日まで）
７月12日	特別展「わくわく！エネルギー体験館」開催（８月31日まで）
	入館者数　200万人を達成
９月20日	企画展「渡る蝶」開催（10月19日まで）
10月25日	巡回展「日本自然科学協会写真展」開催（11月９日まで）
12月13日	巡回展「ふれあい宇宙フェスティバル～“きぼう”の世紀へ～」開催（１月18日まで）
平成16年１月24日	企画展「身の回りのサイエンス～かんきょう～」開催（２月15日まで）
２月28日	企画展「愛媛の漁業　宇和海と瀬戸内海」開催（５月９日まで）
５月22日	企画展「侵入者たち～外来生物について～」開催（６月20日まで）
７月10日	特別展「すごいぞ！むかしの生きもの」開催（８月31日まで）
11月13日	開館10周年記念収蔵品展開催（１月10日まで）
平成17年１月22日	企画展「みて！さわって！つくろう！昔のおもちゃ」開催（２月20日まで）
３月５日	企画展「別子銅山写真展」開催（５月15日まで）
３月31日	菊池健氏、館長を退任
４月１日	日本科学技術振興財団会長　有馬朗人氏、名誉館長に就任
10月22日	企画展「第26回自然科学写真協会愛媛展」「内藤洋写真展－南極・動物の夏－」
	同時開催（11月20日まで）
７月９日	特別展「さわって！あそんで！おもしろ科学ワールド」（９月４日まで）
12月３日	企画展「愛媛の鉄道写真展」（１月29日まで）
平成18年２月18日	企画展「ふしぎなホログラム」（５月28日まで）
７月15日	特別展「昆虫No.1決定戦」（９月３日まで）
９月16日	企画展「秋の草花」（11月26日まで）
12月２日	企画展「ＷＡＲＮＩＮＧ！地球温暖化」（１月８日まで）
平成19年１月20日	企画展「八幡浜の水産業」（３月11日まで）
３月24日	企画展「博物館講座展」（５月13日まで）
７月14日	特別展「きら☆ぴか☆りん　ふしぎな光ミュージアム」（９月２日まで）
10月６日	企画展「愛媛の航空路　今昔」（12月２日まで）
平成20年２月10日	企画展「自然科学写真協会　写真展」（３月９日まで）
３月29日	企画展「天体写真展　星空への招待」（５月25日まで）
７月12日	特別展「ＫＡＲＡＫＵＲＩ　メカのしくみと動きのヒミツ」（８月31日まで）
10月４日	企画展「おかしな機械」（11月30日まで）
12月４日	巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋」（12月28日まで）
平成21年２月28日	企画展「森のめぐみ　木のものがたり」（５月10日まで）
２月28日	企画展「地衣類の世界」（５月10日まで）
３月15日	入館者数　300万人を達成
３月31日	愛媛県立博物館廃止　収蔵資料203,720点移管
４月１日	指定管理者制度導入
	（指定管理者　イヨテツケーターサービス株式会社　平成26年３月31日まで）
７月４日	巡回展「霧箱」（９月10日まで）
７月11日	特別展「トリックアート」（８月31日まで）
10月３日	巡回展「日本の宇宙科学の歴史」（10月27日まで）
10月10日	巡回展「SSP写真展」（11月８日まで）
12月12日	巡回展「美とメイク」（平成22年１月11日まで）
平成22年２月６日	巡回展「森のめぐみ」（３月14日まで）
２月27日	企画展「昔のおもちゃ、今の玩具」（４月11日まで）
３月20日	プラネタリウム　リニューアルオープン
４月24日	企画展「宇宙への誘い～宇宙開発展～」（５月30日まで）
７月10日	特別展「たんけん！ジャングルミュージアム」（８月31日まで）
10月９日	巡回展「SSP写真展」（10月31日まで）
12月11日	巡回展「ガリレオの天体観測から400年―宇宙の謎を解き明かす―」

（平成23年１月30日まで）
12月12日　巡回展「エネルギー商店街」（平成23年４月７日まで）
平成23年１月29日　巡回展「森のめぐみ」（３月13日まで）
２月26日　企画展「なぎさの博物館 砂浜」（４月10日まで）
４月23日　企画展「剥き出しの地球 南極大陸」（６月５日まで）
７月９日　特別展「ドキドキ体感ミュージアム　スリラー博士の恐怖の実験室」（９月４日まで）
10月８日　巡回展「森の博物館」（11月13日まで）
11月12日　巡回展「科学市場」（平成24年３月27日まで）
12月10日　企画展「おもちゃの今昔～素材と技術の移り変わり～」（平成24年１月29日まで）
平成24年２月25日　企画展「光で魚を捕る漁業」（４月８日まで）
３月10日　テーマ展「東日本大震災と博物館資料～標本レスキュー活動の記録～」
（４月15日まで）
３月24日　新型恐竜ロボット完成・自然館リニューアルオープン
４月21日　巡回展「光の謎を解き明かせ！」（６月17日まで）
４月28日　巡回展「科学技術の「美」パネル展」（６月24日まで）
７月14日　特別展「ディノ・ミュージアム～恐竜の生態と進化～」（９月23日まで）
10月６日　企画展「錯視の不思議」（11月11日まで）
11月23日　企画展「愛媛の博物誌」（平成25年１月27日まで）
平成25年２月23日　企画展「磁石と日本人」（４月７日まで）
４月20日　巡回展「科学捜査展」（６月23日まで）
７月13日　特別展「南極の自然～観測活動とその成果～」（９月16日まで）
８月21日　入館者数　400万人を達成
９月７日　巡回展「オーロラ～宇宙からの手紙～」（９月16日まで）
10月５日　巡回展「マリー・キュリー業績ポスター展」（11月10日まで）
11月23日　企画展「万華鏡の華麗な世界」（平成26年１月13日まで）
12月７日　巡回展「科学技術の『美』パネル展」（平成26年２月16日まで）
平成26年３月15日　企画展「鉱山絵葉書写真～産業近代化の胎動 時代の息吹を感じる～」（４月６日まで）
４月１日　学芸課にグループ制導入
４月１日　指定管理者制度　第２期開始
（指定管理者　イヨテツケーターサービス株式会社　平成31年３月31日まで）
４月19日　巡回展「深海探検～海底二万里の世界～」（６月22日まで）
４月26日　巡回展「私達のかけがえのない海～はじめての海科学～パネル展」（６月22日まで）
７月13日　特別展「大トリックアート展」（９月15日まで）
７月19日　巡回展「地球から宇宙へパネル展」（８月31日まで）
10月11日　企画展「愛媛の絶滅危惧種『レッドデータブックと博物館』」（11月24日まで）
11月８日　開館20周年記念イベント開催（11月９日まで）
11月８日　企画展「青色発光ダイオードの発明」（平成27年４月５日まで）
12月６日　企画展「紙の機能と科学」（１月25日まで）
平成27年２月２日　かはくノーベル賞記念講演会「発光ダイオードの開発とノーベル賞」
２月14日　企画展「教授を魅了した大地の結晶－北川隆司鉱物コレクション200選－」
（４月５日まで）
４月18日　巡回展「こわいものめぐり～わたしたちが恐怖を感じるまで～」（６月21日まで）
４月25日　巡回展「はやぶさ君の冒険日誌パネル展」（６月21日まで）
７月18日　特別展「アマゾン～ホントはこんなトコだった！～」（９月23日まで）
７月18日　巡回展「生物多様性～人と自然の共存～パネル展」（９月23日まで）
10月10日　企画展「なつかしの家電おどろきの道具』」（11月23日まで）
10月17日　巡回展「森に親しむ博物館」（11月８日まで）
12月12日　企画展「めぐみの海　瀬戸内海」（平成28年１月31日まで）
平成28年２月27日　企画展「防災の科学～自然災害から身を守れ～」（４月10日まで）
４月16日　巡回展「日時計の楽しみ」（６月26日まで）
４月23日　巡回展「科学捜査展ＳＥＡＳＯＮ２」（６月26日まで）
７月９日　特別展「えひめスゴ技展2016」（９月19日まで）
９月17日　巡回展「月のふしぎ」（11月27日まで）
10月８日　企画展 永久磁石～見て！触って！学ぼう！～（11月20日まで）
10月15日　巡回展 森に親しむ博物館（11月６日まで）
12月３日　企画展 地震を探る（平成29年１月22日まで）
平成29年２月18日　企画展 地衣類～コケだけどコケじゃない藻類？菌類？～（平成29年４月９日まで）
巡回展「100均☆自然史グッズ巡回展」（４月９日まで）
４月22日　企画展「カハクンの大宇宙旅行展」（６月25日まで）

７月８日	特別展「ＶＲスポーツサイエンス」（９月18日まで）
10月７日	企画展「東予産業遺産」（11月26日まで）
10月21日	パネル巡回展「太陽のふしぎ」（11月19日まで）
10月14日	巡回展「 森に親しむ博物館」（11月５日まで）
12月９日	企画展「体験！エネルギーワールド」（平成30年１月28日まで）
平成30年２月24日	企画展「案外すんでる！身近な生き物」（４月８日まで）
	企画展「ホネホネミュージアム」（４月８日まで）
３月10日	入館者数　500万人を達成
４月１日	県庁組織改正に伴い知事部局に管理運営に関する事務委任
４月21日	企画展「ミクロライフ展」（６月３日まで）
７月21日	特別展「恐竜ロボットファクトリー」（９月２日まで）
９月22日	特別展「～光と鏡のサイエンスアート～ 魅惑の万華鏡ミュージアム」（11月11日まで）
10月13日	巡回展「森に親しむ博物館」（11月４日まで）
12月９日	企画展「野生の王国ケニア」（平成31年１月27日まで）
	企画展「葉で見分ける常緑樹」（平成31年１月27日まで）
平成31年２月23日	企画展「元素のマトリクス～星々から生命への贈り物～」（４月７日まで）
４月１日	指定管理者制度　第３期開始 （指定管理者　伊予鉄総合企画株式会社　令和６年３月31日まで）
４月20日	企画展「こわいものみたさ～恐怖を科学する～」（令和元年６月23日まで）
４月27日	テーマ展「越智雄一という人」（令和元年５月26日まで）
令和元年７月13日	企画展「からくりランドの大冒険!! ～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」 （９月１日まで）
10月12日	巡回展「森に親しむ博物館」（11月３日まで）
10月26日	企画展「別子銅山・東平の思い出」（12月１日まで）
10月26日	パネル巡回展「金星探査機『あかつき』」（12月１日まで）
12月７日	ノーベル賞受賞記念展示「リチウムイオン二次電池の発明」（３月31日）
12月14日	巡回展「国際周期表年2019特別展」（令和２年１月26日まで）
令和２年２月22日	企画展「自然を記録しよう！標本のつくり方」（４月５日まで）
	企画展「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」（４月５日まで）
４月18日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～５月10日） 企画展「パズル展～パズル島へようこそ～」 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
７月18日	特別展「世界の昆虫大集合」（９月22日まで）
９月26日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月８日まで）
10月10日	企画展「小川正孝　アジア人初の新元素発見者」（11月29日まで）
10月31日	パネル巡回展「こちら『はやぶさ２』運用室漫画版」（11月29日まで）
12月６日	名誉館長（初代館長）有馬朗人氏、永眠
12月12日	企画展「春待ちロゼット～冬を越す野草の姿～」（令和３年１月31日まで）
令和３年２月20日	企画展「無線電話でたどる通信技術史」（４月11日まで）
４月17日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～５月31日） 企画展「パズル展～パズル島へようこそ～」 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
７月17日	パネル巡回展 「いのちってなに？」（８月31日まで） 特別展「探検！化石の世界」（９月20日まで）
９月25日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月７日まで）
10月９日	企画展「学ぼう！電気が創る未来、体験しよう！電気のサイエンス」（11月28日まで） 巡回展「生誕100年　ノーベル物理学賞受賞者　南部陽一郎展」（11月28日まで）
12月11日	企画展「磁石工場をのぞいてみよう」（令和４年１月30日まで）
令和４年２月19日	企画展「見たことあるカイ？知ってるカイ？～貝の世界･不思議発見」（４月11日まで）
４月１日	東京大学生産技術研究所教授　山中俊治氏　第二代名誉館長に就任
４月１日	真鍋淑郎ノーベル物理学賞受賞記念展示（10月２日まで）
４月23日	企画展「わくわく鉄道おもちゃパーク」（６月26日まで）
６月10日	小惑星探査機『はやぶさ２』帰還カプセル＆小惑星リュウグウのサンプル特別展示 （６月14日まで）
７月16日	特別展「物理学者が出会った美の世界　カレイドスコープワンダーランド」 （９月19日まで）
９月24日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月６日まで）
10月８日	企画展「スポーツの科学と道具のひみつ」（11月27日まで）
12月10日	企画展「天体写真で見る宇宙」（令和５年１月29日まで）

	企画展「愛媛の紙産業」（令和５年１月29日まで）
令和５年２月18日	企画展「標本で観る季語の植物 春夏編」（４月９日まで）
４月22日	企画展「科学捜査展」（６月25日まで）
７月15日	特別展「みんなあつまれ！昆虫王国」（９月24日まで）
９月23日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月５日まで）
10月７日	企画展「プラネタリウムと愛媛」（11月26日まで）
11月26日	入館者数　600万人を達成
12月９日	企画展「標本で観る季語の植物 秋冬編」（令和６年１月28日まで）
令和６年２月17日	企画展「来島海峡と潮流信号所」（４月７日まで）
４月20日	特別展「シン・忍者展 」（６月23日まで）
７月13日	特別展「ドキドキ探検ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」（９月23日まで）
９月14日	パネル巡回展「星の衝突で何ができた？」・「62の『月』が織りなす多彩な世界」（11月17日まで）
９月21日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月10日まで）
10月12日	特別展「未来をつくる: 科学とデザインの実験室 」（12月１日まで）
12月14日	企画展「石のワンダー」（令和７年２月２日まで）
令和７年２月22日	企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」（４月６日まで）
４月19日	特別展「まんぷく！食品サンプル展」（６月22日まで）
７月12日	特別展「もっと知りたい！史上最大のニホンカワウソ展」（９月23日まで）
７月26日	パネル巡回展「家の中のおじゃま虫」（９月23日まで）
９月20日	ロビー展「森に親しむ博物館」（11月９日まで）
10月18日	企画展「アメイジングホログラフィックワールド～おどろきのホログラムの世界～」（令和８年１月12日まで）
	企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」（令和８年１月12日まで）
11月15日	ロビー展「野辺山天文台展」（令和８年１月12日まで）
12月１日	ロビー展「昭和100年展　テレビ受像機の100年」（令和８年３月19日まで）
令和８年２月14日	企画展「ようこそ！ゲノムワールドへ～生命の設計図を調べて分かった驚きの発見～」（４月５日まで）
３月31日	ロビー展「昭和100年展 カメラ技術の100年」（６月21日まで）

2 設置の目的

総合科学博物館は、県民の皆様に科学に関する正しい理解を深めていただくための学習機会を提供し、創造的風土の醸成を図るとともに、科学技術の進歩と本県産業の発展に寄与することを目的としている。

3 施設の基本理念　スローガンとミッション

⑴ スローガン

あつめる　つなげる　未来をひろげる

～好奇心をはぐくみ　新たな海原に漕ぎ出す　愛媛のサイエンスシップ～

愛媛の資料や情報を収集・活用・発信することで（あつめる）、人々の共通の関心を高め、交流や協力の機会によりネットワークが構築される（つなげる）。こうしたつながりは、地域のアイデンティティと愛着の醸成や、地域課題の解決に向けた活動、経済や観光への間接的な波及効果を生み出し、愛媛の活性化を促進し、明るく期待感に満ちた未来への可能性を広げる。（未来をひろげる）。

愛媛の豊かな海との縁を鑑み、社会が直面する課題等を「新たな海原」と比喩的に表現し、「サイエンスシップ」は、好奇心を育て、科学知識を道しるべに、地域の宝である資料や知識を大切に抱えながら、力強く漕ぎ出し、科学的な精神をもって未来を切り拓く姿になぞらえている。

⑵ ミッション

スローガンに表現される当館の理念は、具体的に次の３つのミッションとして当館の果たすべき使命を示し、活動の柱として位置づける。

○資料を残し伝えることで、未来を創造する科学博物館
○思考力と創造性を育み、世代を超えた交流を促進する科学博物館
○情報発信を活用し、安心安全な生活と地域活性化をけん引する科学博物館

4 施設の機能

⑴ 博物館機能

ア 資料収集・整理・保存

当博物館では、地域博物館としての機能を果たすため、資料の収集を行う。収集した資料は、適切な処理を施し保存、系統的な整理を行い、地域の共有財産として活用することとしている。

自然史部門は、愛媛県の過去から現在にわたる自然環境の把握、県産種の記録・保存のため、愛媛県に産する生物・鉱物等の資料を収集するとともに、比較分類の必要性から、他県・他国産種についても収集する。

科学技術部門は、科学に慣れ親しむ必要性から、主に体験型実験装置、最先端技術・情報に関する資料を収集するほか、科学史に関する資料も適宜収集する。

産業部門は、愛媛県の基幹産業の変遷、産業構造の変容を把握し、過去の貴重な産業資料の散逸を防ぐため、資料を収集する。さらに、他県・他国産の関連資料についても収集する。

イ 調査研究

調査研究は、博物館における各種事業の基幹的機能として位置付けられ、特に資料収集・保存・教育普及等の事業と密接に結び付くもので、当博物館の調査研究事業は、大きく次の３種類に分類される。

⑺ 各学芸員の専門分野を生かした個別研究

⑴ テーマを設定し、複数の学芸員が異なる分野からアプローチする総合研究

⑼ 社会教育機関としての博物館を有効に機能させるための博物館学的研究

これらの調査研究の成果は、博物館が発行する報告書（研究報告）に発表し、常設・企画展示、普及啓発事業等を通じて、広く県民に還元する。

ウ 展示活動

当博物館では、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深め、科学する心を培うために実物標本や可動模型を展示している。館内には、「自然館」「科学技術館」「産業館」の３つの常設展示室と屋外展示場を設置して、愛媛の自然や産業、科学技術などをわかりやすく紹介している。

自然館は、「宇宙」「地球」「愛媛」の３つのゾーンで構成し、大型の模型や映像を使い、自然の素晴らしさが再認識できる場を提供している。

科学技術館は、科学技術を「素」「生」「伝」「動」の４つの身近なテーマによって紹介し、楽しみながら学習できるよう参加型の体験装置を配置している。

産業館は、愛媛の産業を「基幹産業」と「伝統産業」に区分し、本県の産業が幅広く理解できる構成としている。

屋外展示場は、大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

エ 教育普及事業

多数の県民に博物館の活動事業を周知するとともに、各種活動成果をより多くの人に還元するため、多様な教育普及事業を行っている。

まず、児童・生徒、一般県民を対象に自然観察会・親子自然教室・天体観望会・科学実験教室・科学工作教室・大人のための科学講座・産業講座の７種類の講座を開催している。

さらに、自然や科学に関する関心を高めるため、講師を招いての講演会等を行うとともに、博物館だよりなどの普及用印刷物の刊行や、友の会の育成支援も行っている。

オ プラネタリウムの運営

天文の基本原理を学ぶとともに、宇宙の姿や星座の物語など、天文に関する興味を広げていくことにより、自然館常設展示と連携して、天文学習の振興に資することを目的としてプラネタリウムの運営を行っている。

⑵ 生涯学習推進機能

県民の高まる生涯学習ニーズに対応するため、東予地域における生涯学習推進の拠点施設として、県民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の生涯学習活動の活性化に資することを目的として、各種の生涯学習事業の実施と施設の開放を行っている。

ア 学習機会の提供

県民の心の豊かさや教養を高めるとともに、実社会において必要な知識や技術を習得するために、気軽に学習できる場として、東予コミュニティ・カレッジに協力している。

イ　学習情報の提供

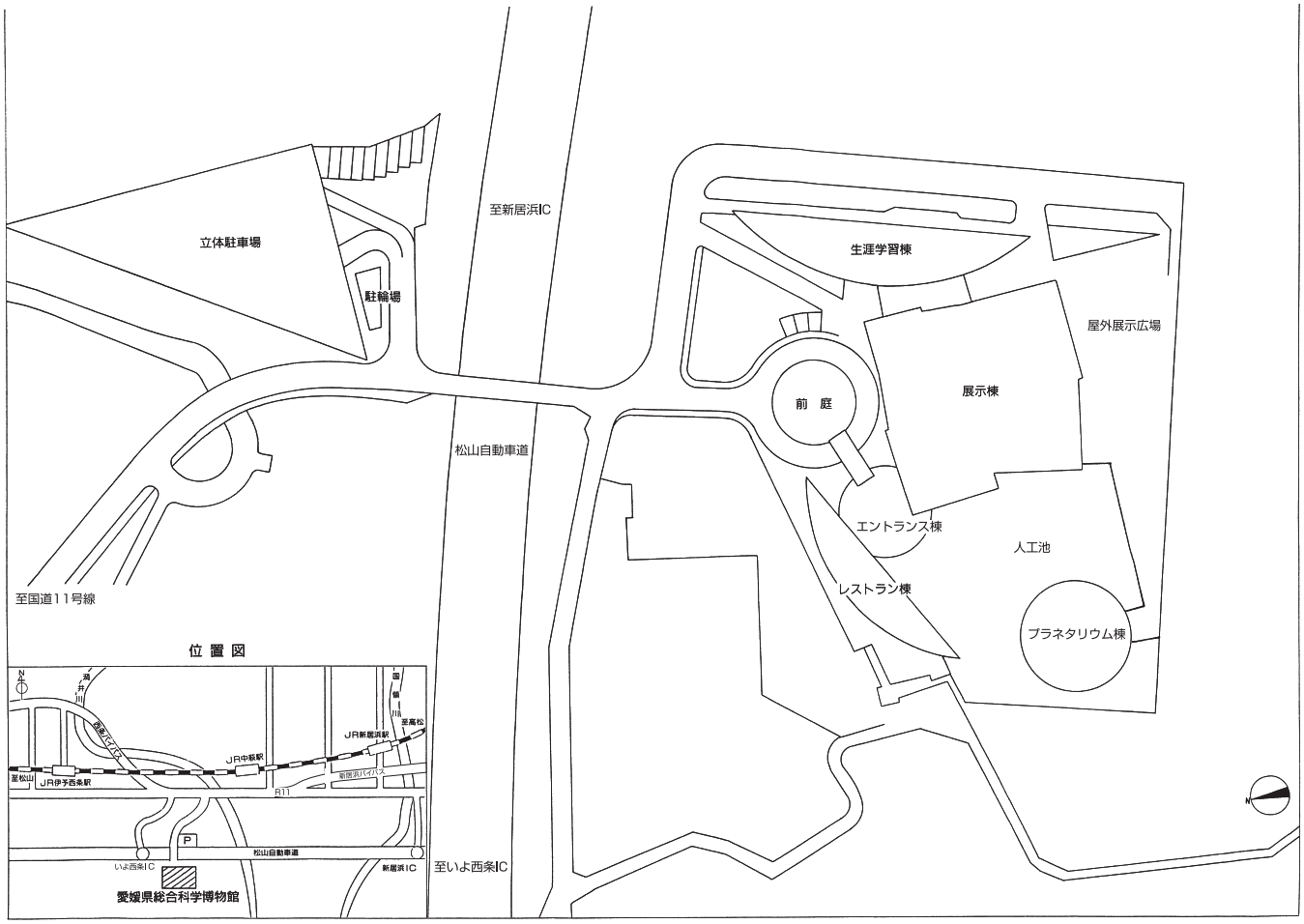
県民の生涯学習活動を促進・援助するため、インターネットのホームページを利用した生涯学習情報システムにより、各種の生涯学習に関する情報を提供するとともに、学習相談を行っている。また自宅で学べる１分間動画など、ＳＮＳを利用した学習情報の発信を行っている。

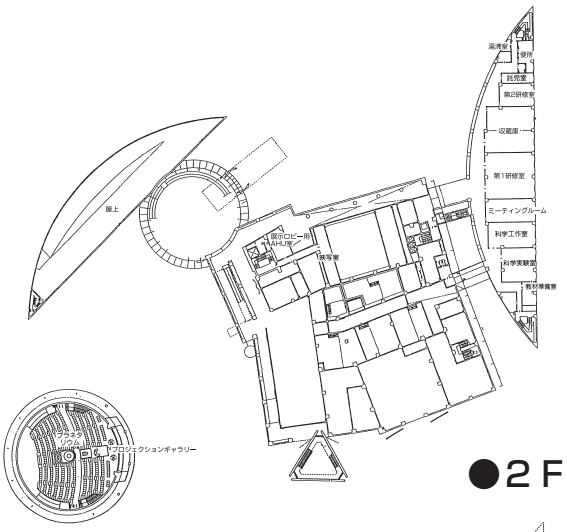
ウ　施設の開放

東予地域の生涯学習活動の拠点施設として、第１研修室、第２研修室、ミーティングルーム、多目的ホール、控室（２室）、企画展示室を有料で開放している。

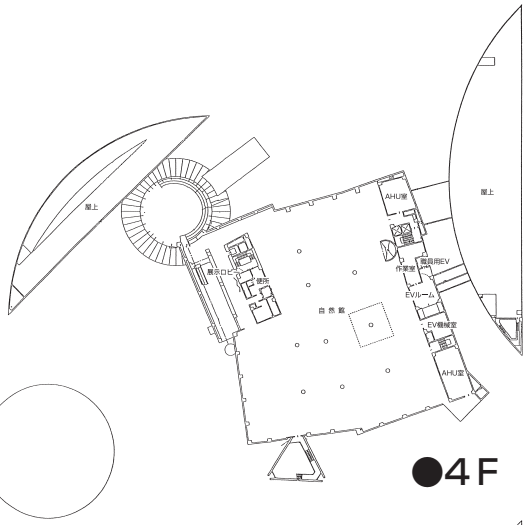
また、図書室には、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており、閲覧及び貸出を行っている。

愛媛県総合科学博物館配置図

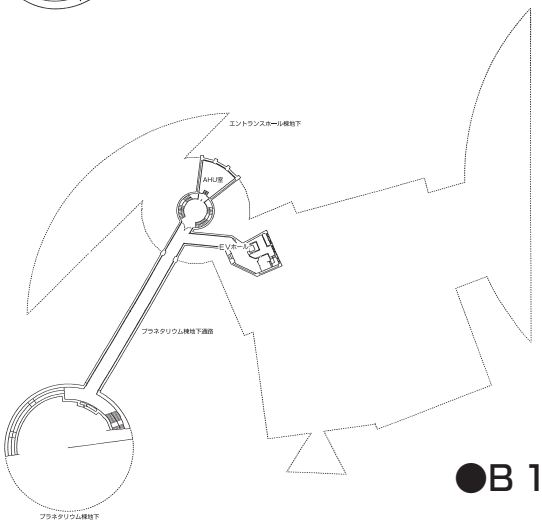




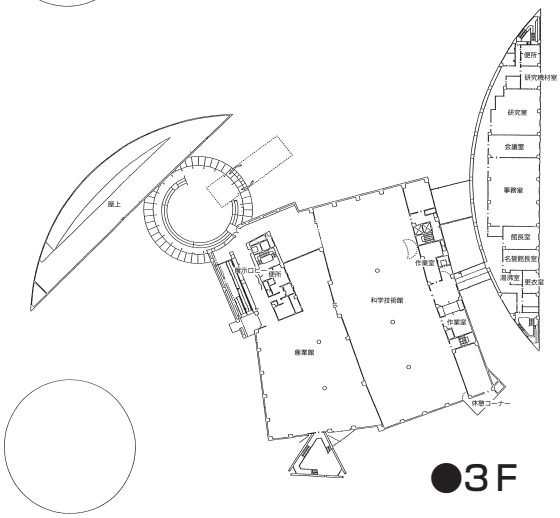
●2F



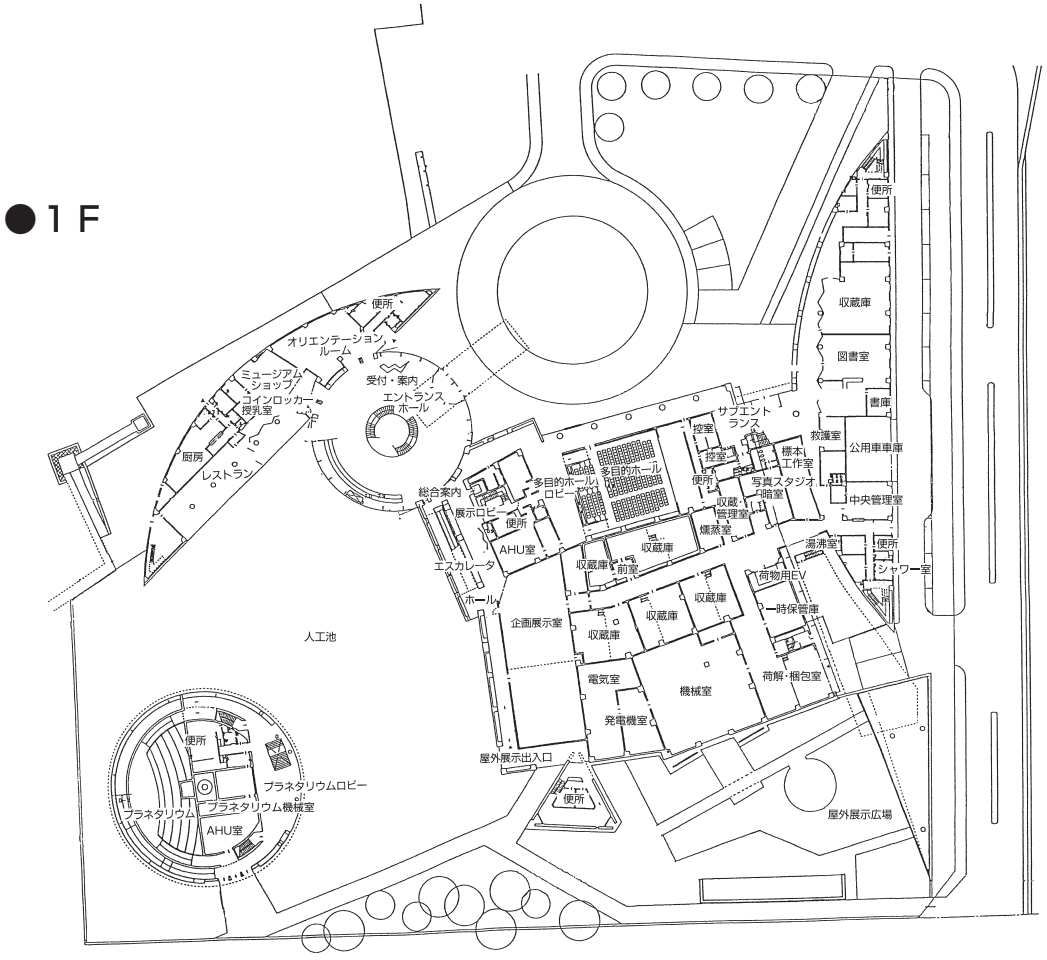
●4F



●B1F



●3F



●1F

5　建築施設の概要

⑴　**所在地**　　愛媛県新居浜市大生院2133番地の２

⑵　**敷地面積**　　25,800㎡（うち立体駐車場4,300㎡）

⑶　**建　築**

ア　本　体

(ア) 床面積　　（㎡）

区　　分	建築面積	延床面積
エントランスホール棟	665	940.29
展　示　棟	3,460	10,658.44
生涯学習棟	1,331	3,375.02
レストラン棟	703	719.65
プラネタリウム棟	852	903.11
合　計	7,011	16,596.51

(イ) 構造等　　鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根鋼板葺地下一階付五階建

(ウ) 特　徴

５つの棟が円錐形、正方形、三日月形、球形となっており、自然の成立ち、科学する心をイメージし、近未来を予感させる。また、人工池を介して自然の中に建つ他の棟を眺めることができる。

(エ) 施　設　　《別添図のとおり》

イ　立体駐車場

(ア) 延床面積　　6,258.88㎡

(イ) 構造等　　鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根二階建
地上２階３層
大型バス８台、普通車320台、駐輪70台

(ウ) 特　徴

博物館本体の純幾何学形態を踏襲し、三角形としている。また、外壁のデザインは、南米ペルーのナスカの地上絵のうち「滑走路」と呼ばれる部分を模写したものである。

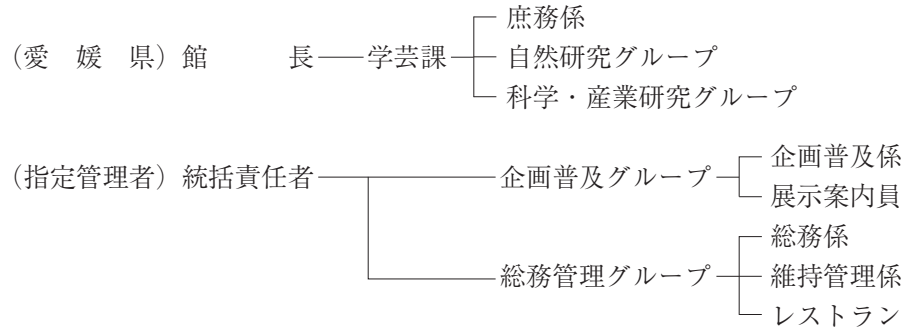
⑷　**整備費**　　（千円）

区　　分	平成３年度	平成４年度	平成５年度	平成６年度	事業費計
用　地　費	105,528	721,004	587,584	－	1,414,116
建　築　費	47,380	2,689,915	3,423,233	7,889,209	14,049,737
展　示　費	89,711	135,331	2,732,287	648,453	3,605,782
計	242,619	3,546,250	6,743,104	8,537,662	19,069,635

6 運営組織及び職員

⑴ 組織構成

名誉館長（山中俊治　※令和４年４月１日就任）



⑵ 職　員（令和７年４月１日現在）

指定管理者伊予鉄総合企画株式会社

館長	和田　英夫
学芸課	
学芸課長	久松　洋二
主　　事	井下　　悠
会計年度任用職員	山本　麻里
自然研究グループ	
担当係長	大西　　剛
担当係長	小林　真吾
担当係長	川又　明徳
専門学芸員	山根　勝枝
主任学芸員	鈴木　裕司
科学・産業研究グループ	
担当係長	藤本　光章
担当係長	進　　悦子
専門学芸員	篠原　功治
専門学芸員	安永　由浩
学芸員	三木　綾乃
（兼職）担当係長	吉村久美子

統括責任者	中西　真理
企画普及グループ	
リーダー	島瀬　光理
企画普及係	近藤菜美子
	高橋　智子
	青野美由紀
	山中　美依
展示案内員	灘　ゆかり
	村尾　真美
管理運営グループ	
リーダー	定松　　毅
総務係	佐伯　真紀
	松友　彩子
	眞鍋　和久
維持管理係	杉本　博文
レストラン	井上　健司
	岡田　幸治
	石村　裕美
	伊藤　和子
	近藤　風花

⑶ 指定管理者制度

指定管理者　伊予鉄総合企画株式会社（旧社名　イヨテツケーターサービス株式会社）

指定管理者の業務

博物館施設の維持管理業務、来館者サービス業務、生涯学習事業、施設等の利用許可、利用促進業務、プラネタリウムの運営及び学芸業務の一部（展示事業及び普及啓発事業に係る経費の支出）

県直営業務

学芸業務（博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する業務）

＊学芸業務の一部は指定管理者が経費を支出

名誉館長、博物館協議会に関する業務

維持管理業務の一部（火災共済への加入等）

7 博物館協議会

設　置　　平成12年４月１日
委員数　　10名
会　長　　愛媛大学名誉教授　宇野　英満
副会長　　愛光中学・高等学校文化会館館長　千葉　昇
開催日　　令和７年10月29日（水）

総合科学博物館協議会委員　　（令和７年10月１日現在）

選任部門		氏名	現職
学識経験者	自然(環境)	奥田　ゆう	岡山理科大学　獣医学部講師
	自然(地学)	千葉　昇	愛光中学高等学校文化会館館長
	科学技術(物理学)	小西　健介	愛媛大学大学院　理工学研究科准教授
	科学技術(化学)	宇野　英満	愛媛大学　名誉教授
	科学技術(生命)	加藤　英政	愛媛大学大学院　医学系研究科准教授
	産業(機械)	萩尾　広典	新居浜機械産業協同組合　理事長
	地域振興関係	柳川　あこ	株式会社ミカンワークス代表取締役
	観光関係	小林亜紀代	株式会社　旅tabi.info代表取締役
教育関係者	学校教育・社会教育関係	滝　恵美	新居浜市教育委員会教育委員
	一般公募	田村　美香	

愛媛県博物館協議会設置条例

制定：平成12年３月24日条例第31号
最終改正：令和５年３月24日条例第９号

愛媛県博物館協議会設置条例を次のように公布する。

愛媛県博物館協議会設置条例

（設置）

第１条　博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第１項の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館に、それぞれ同表の右欄に掲げる博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

愛媛県総合科学博物館	愛媛県総合科学博物館協議会
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館協議会
愛媛県美術館	愛媛県美術館協議会

一部改正〔令和５年条例９号〕

（任命の基準）

第２条　協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命する。

追加〔平成24年条例７号〕

（定数）

第３条　委員の定数は、それぞれ14人以内とする。

一部改正〔平成24年条例７号〕

（任期）

第４条　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

一部改正〔平成24年条例７号〕

（雑則）
第５条　この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。
一部改正〔平成24年条例７号・令和２年９号〕
附　則
この条例は、平成12年４月１日から施行する。
附　則（平成24年３月27日条例第７号）
この条例は、平成24年４月１日から施行する。
附　則（令和２年３月27日条例第９号抄）
（施行期日）
１　この条例は、令和２年４月１日から施行する。
附　則（令和５年３月24日条例第９号抄）
１　この条例は、令和５年４月１日から施行する。

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則

制定：令和２年３月27日規則第14号

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則を次のように定める。
愛媛県総合科学博物館協議会運営規則
（趣旨）
第１条　この規則は、愛媛県博物館協議会設置条例（平成12年愛媛県条例第31号）第５条の規定に基づき、愛媛県総合科学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。
（会長及び副会長）
第２条　協議会に会長及び副会長１人を置く。
２　会長及び副会長は、委員の互選により定める。
３　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
（招集）
第３条　協議会の会議（以下「会議」という。）は、愛媛県総合科学博物館長が招集する。
２　会議の日時、開催場所及び会議に付議する事項は、あらかじめ委員に通知しなければならない。
（会議）
第４条　会議は、会長が議長となる。
２　会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
３　会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（庶務）
第５条　協議会の庶務は、愛媛県総合科学博物館において処理する。
（委任）
第６条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。
附　則
この規則は、令和２年４月１日から施行する。

8 愛媛県総合科学博物館魅力向上戦略

⑴ 概要

開館から30年が経過し、人口減少など地方博物館を取り巻く環境が大きく変化する一方で、施設や設備の老朽化が進む中、中長期的な視点で果たすべき役割と方向性を定め、施設整備を中心とした取組みを推進する指針を作成するため、外部有識者等による検討会を立ち上げ、策定作業を進め、令和８年３月に策定した。

⑵ 検討会

設　　置　　令和７年６月27日
構成員数　　８名
会　　長　　愛媛大学教授　堀　利栄
開 催 日　　第１回検討会　令和７年８月４日（月）
　　先進地視察　　令和７年10月８日（水）～９日（木）
　　第２回検討会　令和７年12月19日（金）
　　第３回検討会　令和８年２月19日（木）
　　第４回検討会　令和８年３月６日（金）（書面開催）

総合科学博物館魅力向上戦略検討会構成員　（令和７年６月27日現在）

区　　分	氏　　名	所　　属　・　役　　職
学識経験者	堀　　利栄	愛媛大学大学院理工学研究科教授
博物館関係者（科学関係）	吉岡　克己	大阪市立科学館長
博物館関係者（自然関係）	茨木　　靖	徳島県立博物館自然担当課長
観光・地域連携関係	青野　　力	青野海運株式会社代表取締役社長 新居浜市ESD推進事業協議員
利用者（三世代利用）	坂井喜代己	総合科学博物館友の会科学クラブ部長
利用者（若年・女性）	渡邊　真菜	新居浜工業高等専門学校生（５年）
行政	吉岡奈津子	新居浜市企画部シティプロモーション推進課長
行政	村上　彰彦	西条市教育委員会学校教育課長

⑶ 魅力向上戦略の概要

博物館の理念や方針を実現するため、施設整備によるハード面の機能強化と併せて事業を展開していくことが不可欠である一方、施設整備には多額の予算を要するため、緊急性を踏まえ大型事業ごとに優先度を設定する。社会情勢の変化や財政状況等を勘案しながら、今後10年程度を目安にフェーズごとに段階的に実施する。戦略は３年ごとに進捗の評価等を行い、状況を踏まえ内容を見直す。

ア　戦略における基本プロセス・優先度

フェーズ１　緊急の危機回避と機能更新	
プラネタリウム・天文事業の充実	・世界最大級のドーム径を有する強みを生かすため、高精細投影が可能な機器に更新し、多彩なソフト事業を展開。 ・座席等を改修し、カップル・子育て世代等の多様なニーズや、ユニバーサルデザインを取り入れた快適な観覧環境を提供。
フェーズ２　早期の集客力向上	
展示室の更新１ （大型企画展示室の新設・ 産業資料の移設）	・中四国にはない国内最大級の巡回展を誘致できる大型企画展示室を設置し、新規来館者の獲得と交流人口増大を図る。 ・産業エリアに、新たな産業資料等の展示スペースを確保し、若者が県内企業を理解し交流を深める場所を提供。

フェーズ３　中核機能の本格的再構築		
	展示室の更新２ （常設展示の大規模更新） 収蔵庫拡充と新しい資料保存活動１ （常設展示内収蔵）	・自然から産業の創出・変遷までを融合し、愛媛県の魅力を体系的かつわかりやすく伝えるとともに、最新の科学的知見に基づく自然災害やエネルギー問題等に対応した内容へ展示を更新。 ・幼児から高齢者まで多様な利用者が楽しみ交流する場を創出。 ・新たな産業展示や企業連携による次世代人材育成の場の提供。 ・展示室内に来館者が収蔵状況や資料整理作業等を見学できるコレクショナリウム（魅せる収蔵庫）を整備。
	施設整備と機能向上・ 情報発信	・館内のWi-Fi環境や入館促進サービス（事前予約等）を充実。 ・物販等の強化を図るほか、ＳＮＳ等のデジタル技術を活用しソフト事業や施設情報などの各種取組みをきめ細かに情報発信。
フェーズ４　地域連携の深化と広域展開		
	収蔵庫拡充と新しい資料保存活動２ （地域へのサテライト収蔵）	・公共施設等の空きスペース等を活用した資料収蔵の検討・整備を進めるほか、資料の整理や活用を行う人材の育成を図る。 ・収蔵資料のＤＸ化を進め、一般利用しやすい形で公開。

イ　戦略の進展に応じた数値目標

県内外から多様な来館者を呼び込み、関係人口・交流人口を増加させることにより、今後30年にわたり現在の総入館者数の水準を維持することを目標に設定した。

目標総入館者数	年平均19万人維持（2055年頃まで）

Ⅱ 令和７年度事業報告

博物館機能

１　資料収集・整理・保存

総合科学博物館の調査研究・展示等の目的のため、自然・科学技術・産業等に関する資料を収集し、分類整理の上、適切に保存・管理を行った。

⑴ 資料の収集

ア　寄贈資料　　計16件　2,770点

	資料名	数量	寄贈者
自然	鉱物(ボトリオ石)他	100	個人
	アルマジロ剥製他	5	個人
	鉱物(石膏/砂漠のバラ)	2	個人
	マミズクラゲメデューサ	15	個人
	アオウミガメ剥製	5	個人
	タイマイ剥製他	4	個人
	化石(甲虫の翅 他)	13	個人
	タイマイ剥製他	3	個人
	化石(植物)	2,493	個人
	アオウミガメ剥製他	2	個人
	アオウミガメ剥製	1	個人
科学	ホログラム	21	個人
	PC iMac（G３)ボンダイブルーモデル	1	個人
	NECパーソナルコンピュータPC-9821Nb７/５ほか	6	個人
	光伸精測研究所文書資料	97	個人
	Busicom 166-DAほか	2	個人

イ　寄託資料返却　　計１件　１点

	資料名	数量	寄託者
産業	セルロースナノファイバー関連資料	4	丸住製紙株式会社

⑵ 資料の整理

平成６年の博物館開館以来、自然史部門は動物、植物、化石、岩石・鉱物、天文の５分野、科学技術部門は、工学、化学、物理、数理、生物・医学の５分野、産業部門は、農林水産、製紙、造船、鉱業、交通運輸、繊維、石油･化学、機械･金属、伝統産業の９分野に分けて、収蔵資料をパーソナルコンピュータのデータベースに登録し管理を行ってきた。平成27年３月、早稲田システム開発株式会社が運営する収蔵資料データ管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」へ収蔵資料データの移行を実施した。

平成20年度末に移管を受けた旧県立博物館の動物資料（約129,000点）・植物資料（約65,000点）・地学資料（約6,500点）について、引き続きデータ整理作業を行った。

⑶ 資料の保存管理

資料を保存している第１～第７収蔵庫及び標本工作室、３階作業室、４階作業室および企画展示室については、令和７年９月29日にエコミュアーFTドライによる燻蒸、令和８年３月にエキヒュームSを用いた燻蒸庫燻蒸を実施した。また、収蔵庫の環境を把握するため、令和７年７月30日及び令和７年９月29日に空中浮遊菌調査を実施した。

⑷ 収蔵資料データの公開

収蔵資料データ管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」に登録済みの収蔵資料データ（約14万点）について、令和３年４月27日からインターネット上での公開を開始した。また、資料の検索サービスアプリ「ポケット学芸員」により、展示室内において企画展示、常設展示の資料情報を提供している。

あわせて博物館が有する資料の利活用を促進するため、国立科学博物館が国内の各館が有する標本情報を横断的に検索可能なデータベースシステムとして構築したサイエンスミュージアムネット（http：//science-net.kahaku.go.jp/）内にて、収蔵資料や常設展示資料を公開している。

愛媛県総合科学博物館　収蔵資料点数（令和８年３月31日現在）

［単位：点］

	区分	分野	形態	個別点数	前年比（プラス）	小計	自然内訳	区分合計	備考
総合科学博物館 分野別収蔵資料	自然	化石	購入	314	0	3,211	76,735	306,638	
			寄贈	2,897	2,519				
		岩石・鉱物	購入	371	0	4,250			
			寄贈	3,879	92				
		動物	購入	590	0	10,140			
			寄贈	9,550	31				
		昆虫	購入	9,401	0	14,141			
			寄贈	4,740	1				
		植物	購入	114	5	35,657			
			寄贈	35,543	0				
		天文	購入	16	0	4,730			
			寄贈	4,714	0				
		その他	購入	0	0	4,606			
			寄贈	4,606	0				
		（参考）県博資料（H 20年度移管）	移管	岩石・鉱物		4,452	200,303		
				化石		2,118			
				脊椎動物		835			
				無脊椎動物		127,766			
				植物		65,132			
		※受入未処理	寄贈			約29,600	約29,600		
	科学		購入	762	328	5,954			
			寄贈	5,192	127				
	産業		購入	722	0	8,262			寄託資料返却４点
			寄贈	7,540	−4				
	前年比（プラス）					3,104			
	総資料点数							320,854	
	うち常設展示点数							4,660	

※寄贈には寄託・譲渡を含む

※寄贈品等で未登録の資料については資料点数にはカウントしない。

2 調査研究

博物館における学芸員の基幹的業務として、学芸員の専門分野を生かした調査研究を継続的に実施し、研究資料の蓄積を図るとともに、その研究成果を県民に周知するため研究報告を作成した。

⑴ 個別（分野別）研究

●久松　洋二（学芸課長）

（テーマ）　展示体験装置及び各種教材装置類の開発と製作
（概　要）　令和８年３月開催のロビー展において新規体験装置を製作、公開した。
（テーマ）　愛媛県における科学者技術者の調査
（概　要）　科学者小川正孝について、東北帝国大学理科大学長としての業績をまとめ、「愛媛県総合科学博物館研究報告第30号」にて報告した。

●小林　真吾（自然研究グループ）

（テーマ）　愛媛県の植物・藻類・菌類相
（概　要）　愛媛県レッドデータブックとともに改訂予定の県産種目録に反映させるため、藻類および菌類分野において愛媛県新産種等の情報収集を行った。
（テーマ）　希少野生動植物の保全
（概　要）　愛媛県レッドリスト掲載の藻類・菌類・海岸動物について、文献等による情報収集および野外調査を行い、絶滅リスクの変動等について検討した。
（テーマ）　愛媛県における水域生物相の追跡調査
（概　要）　過去に報告された愛媛県の水域の生物相等の報告・記録等の情報・文献収集・調査を行った。令和７年度は、宇和海沿岸における淡水貝類の新産地について情報収集等を行い、佐田岬半島ミュージアムの研究紀要に発表した。
（テーマ）　明治から昭和期に収集された愛媛の自然史資料
（概　要）　当館に収蔵されている明治～昭和初期の資料および新たに寄贈を受けた資料について調査を行った。令和７年度は、引き続き植物標本･貝類標本についての整理を進めるとともに、市井に存在する自然史標本について情報収集を行った。

●川又　明徳（自然研究グループ）

（テーマ）　愛媛県の植物・地衣類相
（概　要）　愛媛県内各所において植物・地衣類相の調査を行った。県内の植物、地衣類について、愛媛県野生動植物目録未記載種の調査を行った。
（テーマ）　寒冷地性地衣類に関する分類学的研究
（概　要）　南極昭和基地周辺で採集した地衣類について、標本調査を行った。

●山根　勝枝（自然研究グループ）

（テーマ）　愛媛県産化石に関する調査
（概　要）　愛媛県瀬戸内海産の食肉目化石について調査を行い、「愛媛県総合科学博物館研究報告第30号」にて報告した。
（テーマ）　館蔵鉱石標本に関する調査
（概　要）　旧四国通商産業局寄贈の鉱石コレクションについて調査を行った。

●鈴木　裕司（自然研究グループ）

（テーマ）　愛媛県内の天文に関する資料の調査
（概　要）　天文現象の映像記録を行った。
（テーマ）　愛媛県内の夜空の明るさの調査
（概　要）　愛媛県内の全市町にて夜空の明るさの測定を行った。

●藤本　光章（科学・産業研究グループ）
（テーマ）　サイエンスショーにおける実験装置の製作
（概　要）　実験装置の製作として、ゼンマイバネスケルトン、ゼンマイバネコプターを製作し、サイエンスショーで公開した。

●進　悦子（科学・産業研究グループ）
（テーマ）　科学教材の開発と製作
（概　要）　科学教材を開発し、その教材をサイエンスショーと博物館講座、令和7年度企画展にて公開した。また、令和6年度特別展「ドキドキ探検ミュージアム　スリラー博士の恐怖の実験室」とサイエンスショー実施報告「スライムのひみつ」を、「愛媛県総合科学博物館研究報告第30号」にて報告した。

●篠原　功治（科学・産業研究グループ）
（テーマ）　科学教育における実験と工作の開発研究
（概　要）　簡単に行える科学実験と工作についての調査を行った。その結果をサイエンスショーなどに取り入れた。
（テーマ）　電気通信技術に関する資料の調査
（概　要）　他館調査を実施するとともに､携帯電話･スマートフォンの実機やレプリカの収集を行った。

●安永　由浩（科学・産業研究グループ）
（テーマ）　愛媛の水産業や交通運輸に関する研究
（概　要）　水産業や水産業に関する古文献調査、海上交通に関する調査のほか、交通運輸に関する資料の整理を行った。

●三木　綾乃（科学・産業研究グループ）
（テーマ）　生命分野に係る展示や教育普及活動の内容検討
（概　要）　当館で初となる、分子生物学分野をテーマにした企画展を開催した。体験展示を複数新規作成する、画像生成AIを活用するといった取り組みを行った。

⑵　研究成果の公表

研究報告の発行、館外での発表等により研究成果を公表した。

ア　研究報告の発行

令和７年８月、「愛媛県総合科学博物館研究報告 第30号」（Ａ４判、75頁）を500部発行し、全国の博物館及び県内の高校・大学・図書館等へ配布した。報告に掲載した論文タイトルは次のとおり。（※印は、博物館外の研究者。）

原著論文

・久松　洋二：小川正孝の東北帝国大学理科大学長としての業績

短報

・荻野　慎諧※、山根　勝枝：愛媛県今治沖海底で発見されたオオカミ頭骨化石（共著）
・山岡　勇太※、榊山　匠※、船場　大輝※：愛媛県西予市の四万十帯法花津層から産出したスエヒロキヌタレガイ属（キヌタレガイ科二枚貝）化石（共著）
・猪野　椋太：四国未記録のオオスミコガネグモ *Argiope ocula* の愛媛県からの新記録

資料

・鈴木　裕司：愛媛県内における夜空の明るさ調査2024

事業報告

・進　　悦子：特別展「ドキドキ探検ミュージアム　スリラー博士の恐怖の実験室」実施報告
・進　　悦子：サイエンスショー「スライムのひみつ」実施報告

イ　館外での発表等

外部掲載

・久松　洋二：「化学者小川正孝の評判－同僚・学生・記者が見たその素顔－」徳島科学史雑誌
第44号　2025年12月

・小林　真吾：「愛媛県内におけるタケノコカワニナ *Stenomelania rufescens* の新産地について」
佐田岬半島ミュージアム研究紀要第１号

学会

・久松　洋二：明治の化学者小川正孝の評判
徳島科学史学会・日本科学史学会四国支部2025年合同年総会　2025年8月23日

・久松　洋二：科学博物館資料の地方性をどう捉えるか
第16回全国理工系学芸員展示研究大会　2025年11月27日～ 28日

・鈴木　裕司：「Digitized Sky Surveyのデータを用いた全天写真星図の制作」
全国プラネタリウム大会2025・大阪　2025年６月17日

3 展示活動

⑴　常設展示

ア　自然館

自然館は、宇宙・地球・愛媛の３つのゾーンに分かれており、マクロからミクロへズームアップしていく構成をとっている。展示にはジオラマをはじめ大型の模型や映像を使い、自然の素晴らしさを再認識できる場を提供している。

㋐　宇宙のゾーン

想像の世界の宇宙から、それを解き明かしていく過程をたどり、天文学の進歩に貢献した先人達の偉業や、最新の宇宙論を紹介している。「宇宙の始まり」のコーナーでは、宇宙の起源と進化を概説する映像とともに、天文の父たちとしてプトレマイオス、ガリレオ、ニュートンの像を展示している。「宇宙への夢と挑戦」のコーナーでは、巨大な亀や象の背中に世界があるとする古代インド人の宇宙観の模型、仏教の宇宙観を示した須弥山儀の模型、太陽系の惑星の軌道と運動を示したケプラーの惑星運動解説模型、ハーシェルの大反射望遠鏡の縮小模型、ダジック・アースなどを展示している。令和３年度にGaia衛星のデータを用いた全天星図を、令和６年度にDigitized Sky Surveyのデータを用いた全天写真星図を追加した。

「おもしろデータバンク」のコーナーでは、宇宙からの贈り物という内容で、実物の隕石やテクタイトを展示する他、宇宙クイズ及び太陽系たんけんすごろくソフトの体験や公開天文台ネットワーク（ＰＡＯＮＥＴ）から取得した天文に関する画像の検索などができるパソコンを４台設置している。

㋑　地球のゾーン

生物の誕生から進化というテーマを軸に、地球の移り変わりや現在の地球の自然環境を紹介している。「大地の科学」のエリアでは、鉱物を分類展示した鉱物ギャラリーなどを展示している。「生きものの進化」のエリアでは、アロサウルスとステゴサウルスの全身骨格（複製）やティラノサウルスとトリケラトプスの復元可動模型、ゾウの進化を示すメリテリウムとマンモスの模型、人類の進化を示す４体の模型などを展示している。「生きている地球」のエリアでは砂漠･サバンナ･極圏･熱帯雨林・海洋の自然を紹介したミニジオラマや、ライオンなど世界の動物、トドやタカアシガニなど海の生物の剥製を展示している。

㋒　愛媛のゾーン

自然に恵まれた豊かな環境のもと、特色ある動植物が分布している愛媛の自然を紹介している。「愛媛の特色ある自然」のエリアでは、絶滅の恐れがある生きものの剥製、ナウマンゾウ全身骨格（複製）や瀬戸内海産ナウマンゾウ化石を展示するとともに、「愛媛ライブシアター」として石鎚山の大自然を映しだす石鎚山の詩を上映している。「愛媛の野山」のエリアでは、石鎚山系のブナ林

を再現したジオラマ、県獣で国の特別天然記念物であるニホンカワウソのジオラマを中心に、県内に分布する動植物を展示している。「愛媛の海」のエリアでは、愛南町鹿島の海の自然を再現したジオラマを中心に、海にすむ生き物を展示している。

㈡ 自然館　展示内容

ゾーン	エリア	コーナー
宇宙のゾーン	宇宙のはじまり	宇宙誕生のドラマ
	宇宙への夢と挑戦	古代人の宇宙観
		太陽とともに生きる
		天空の向こうを捉える
		全天星図／全天写真星図
		ダジック・アース
		宇宙を解き明かす試み
		宇宙論の軌跡
	おもしろデータバンク	宇宙からの贈り物
		身近な宇宙
		宇宙情報アドバイス
地球のゾーン	生きものの進化	地球のはじまり
		太古の生きもの
		生きものたちのヒストリーロード
		進化のなりたち
		化石ギャラリー
		キッズディノ
	生きている地球	砂漠の自然
		サバンナの自然
		世界の動物
		極圏の自然
		熱帯雨林の自然
		海の勇者たち
		海洋の自然
	大地の科学	愛媛の鉱物
		さまざまな岩石・鉱物
愛媛のゾーン	愛媛の特色ある自然	絶滅の恐れがある生きもの
		愛媛の化石
		愛媛ライブシアター
		愛媛の大地をつくる岩石
	愛媛の野山	石鎚山系のよく似た樹木
		石鎚山の自然
		愛媛の昆虫
		愛媛の野鳥
		愛媛のほ乳類
		ニホンカワウソ
	愛媛の海	愛媛の海の生きもの

イ　科学技術館

科学技術館では、科学法則の体験装置と科学技術の歴史的実物資料を中心に展示することで、来館者が科学法則に親しみながら、科学と技術の成果について学習できる展示を行っている。展示室は「素」「生」「伝」「動」のゾーンと「サブゾーン」で構成され、物質とその起源、生命の不思議さ、光･

音・電磁気・力・熱の諸法則について展示している。展示物については、随時更新することで、常に新しい姿を来館者に提示する努力を行っている。令和７年度は２件５点の展示物を追加した。

㋐ 素のゾーン

物質の階層を中心に展示しているコーナーで、素粒子、元素、素材などを紹介している。特に、素粒子実験の実物資料（泡箱フィルム、原子核乾板など）を体験型で展示していることが特徴的である。また、その他体験装置も多く展示しているコーナーでもある。

㋑ 生のゾーン

生命の源であるＤＮＡ（遺伝子）や生命の誕生についてなどを分かりやすく紹介している。また、その他に東洋医学や血管の年齢など生命の不思議さについて興味を引くような参加型装置を展示している。

㋒ 伝のゾーン

人から人への情報の伝達。これらの伝える技術の基本的な性質、光・音・電磁気を中心に様々な体験装置を展示している。

㋓ 動のゾーン

力やエネルギーについて主に展示しており、動きや軌跡、バランスを理解できる体験装置を多く展示している。同時に幼児向けの展示コーナーも併設している。

㋔ サブゾーン

展示室の入り口と中央に設置された、ひとつのテーマで構成された展示スペースで、日本の宇宙開発技術を展示する「宇宙をめざして」、錯覚や虚像の楽しさを展示する「ふしぎアベニュー」、そして学芸員などが実験を実演する「実験ショーコーナー」がある。

㋕ 科学技術館　展示内容

ゾーン	展示物	内容
サブゾーン（宇宙をめざして）	宇宙の科学	体験装置
	LE-7A	模型
	宇宙服	模型
	若田光一宇宙飛行士サイン入り写真パネル	実物資料
	ジャイロスコープ	体験装置
	あの空の向こうに	映像
	宇宙技術に触れよう	実物資料
	宇宙日本食	実物資料・レプリカ
素のゾーン	宇宙線を見よう	実物資料
	ニュートリノ振動の発見	パネル
	素粒子を探せ	模型
	光電子増倍管	実物資料
	素粒子反応の写真	実物資料
	粒子が生まれた瞬間	実物資料
	立体周期表	実物資料
	新元素の発見	実物資料、パネル
	シリコンインゴット	体験装置
	元素の周期性	パネル
	三並義忠の発明と技術	実物資料
	磁力カッター	体験装置
	磁石くるり	体験装置
	弾性ボールと非弾性ボール	体験装置
	液晶シート	体験装置

ゾーン	展示物	内容
素のゾーン	制振鋼板	体験装置
	物の質	体験装置
	ツツの中には何がある？	体験装置
	磁石の力、比べてみよう	体験装置
	人間電池	体験装置
	落ちるの、おそくない？	体験装置
	磁石開発に携わった日本人科学者10人	パネル
	長岡半太郎の書	実物資料
	朝永振一郎の絵	実物資料
	周期表作家作品	実物資料
	転がるかたち	体験装置
	ゆれるスピード	体験装置
	落ちないボール	体験装置
	逆立ちのかたち	体験装置
	パイプで楽器	体験装置
	おもしろサイエンス研究室	体験装置
	ループのコツ	体験装置
	かたちでレース	体験装置
	早いコースは？	体験装置
	おなじ時間	体験装置
	ころがりエネルギー	体験装置
	映像で見る科学の世界	映像
	サイエンスアーカイブ －物質－	映像
生のゾーン	遺伝子の仕組み	模型
	生命の神秘	模型
	楕円ホッケー	体験装置
	パラボラの壁	体験装置
	全身反応時間チェック	体験装置
	垂直飛びチャレンジ	体験装置
	超指向性スピーカー	体験装置
	顕微鏡分光光度計	実物資料
	全身の骨	模型
	細胞拡大模型	模型
	染色体拡大模型	模型
	私の体のしくみ	体験装置
	息を吸う	体験装置
	じれったい手	体験装置
	鏡の迷路	体験装置
	モスキートーン	体験装置
	人体のバーチャルフォトギャラリー	体験装置
	どこまで見える？	体験装置
	血管の年齢	体験装置
	脳の年齢	体験装置
	血圧計	体験装置
	東洋医学	パネル
	くしゃみのひみつ	体験装置
	神経の伝わり方	体験装置
サブゾーン（ふしぎアベニュー）	逆遠近錯視	体験装置
	かげろう	体験装置
	さかさ立体	体験装置
	こっちを向いて	体験装置
	でこ？ぼこ？	体験装置
	顔ダンス	体験装置

ゾーン	展示物	内容
サブゾーン （ふしぎアベニュー）	錯視のふしぎ	体験装置
	錯覚を体験しよう	体験装置
	無重力ミラー	体験装置
	魔鏡	実物資料
	ゾートロープ	体験装置
	ピンスクリーン	体験装置
	ガラクタの紳士	体験装置
	サイコロ万華鏡	体験装置
	中は広い？	体験装置
	錯視	体験装置
	ゆれる窓枠	体験装置
	エイムズの窓	体験装置
	エイムズの部屋	体験装置
	無限音階	体験装置
	テーパードミラー万華鏡	体験装置
	座れる絵	体験装置
	へんな立体	体験装置
	光の魔法テーブル	体験装置
伝のゾーン	光のトンネル	体験装置
	LED信号機を点灯させよう	体験装置
	スーパーコンピュータ「京」	実物資料
	放電球	体験装置
	蛍光パウダー	体験装置
	不思議なホログラムギャラリー	体験装置
	ふしぎ写真館	体験装置
	人間万華鏡	体験装置
	とがり万華鏡	体験装置
	でこぼこミラー	体験装置
	ゴムゴムミラー　ふくらみ	体験装置
	ゴムゴムミラー　へこみ	体験装置
	ステンドグラス人間万華鏡	体験装置
	おもしろサイエンス研究室	体験装置
	歩いてくる恐竜	体験装置
	光の三原色	体験装置
	色と光	体験装置
	透明だったのに	体験装置
	光の成分	体験装置
	光ファイバー/ファイバーアニメ	体験装置
	音の波形と変化	体験装置
	弦のないハープ	体験装置
	気柱の共鳴	体験装置
	静電気	体験装置
	磁界	体験装置
	ビリビリマシーン	体験装置
	磁界を見よう	体験装置
	磁石とコイル	体験装置
	電気をつくろう	体験装置
	電磁波で遊ぶ	体験装置
伝のゾーン	マグネカタパルト	体験装置
	こんなところにブラックホール	体験装置
	顔の花	体験装置
	きまぐれミラー	体験装置
	にげられない	体験装置

ゾーン	展示物	内容
伝のゾーン	コンピュータ	映像
	LEDと残像	体験装置
	災害用伝言ダイヤル171訓練機	体験装置
サブゾーン	実験ショーコーナー	サイエンスショー
	サイエンス工房	科学体験イベント
	かはくサイエンススタジオ	映像
	公衆電話機	実物資料
動のゾーン	反射の法則	体験装置
	竜巻発生装置	体験装置
	空気で遊ぶ	体験装置
	ブロック	体験装置
	じしゃくあそび	体験装置
	かたちあそび	体験装置
	原子力発電の仕組み	映像
	エネルギー変換五種競技	体験装置
	パラボラ	体験装置
	コロコロレール	体験装置
	だんだん段ボール	体験装置
	輪軸	体験装置
	てこ	体験装置
	滑車	体験装置
	ソリとコロ	体験装置
	リニアモーターカー	映像
	ストロボの部屋	体験装置
	光でお絵かき	体験装置

ウ　産業館

産業館は、主に基幹産業と伝統産業の展示に分かれており、それぞれ実物、模型、グラフィック、映像、産業史年表などによる展示を行っている。

㋐　伝統産業ゾーン

愛媛県指定の伝統的特産品のうち「手すき和紙」「水引・水引製品」「桜井漆器」「菊間瓦」「伊予かすり」「竹工芸品」「砥部焼」「かまぼこ」の８業種を取り上げて展示している。伝統産業の製造工程を紹介する映像コーナーも設けている。

㋑　基幹産業ゾーン

「農林水産」「製紙」「造船」「鉱業」「交通運輸」「繊維」「石油・化学・電力」「機械・金属」の８コーナーに分けて展示している。愛媛の基幹産業のあゆみがわかる産業史年表、模型と映像を組み合わせたファンタビュー映像、実物などにより多角的な展示をしている。

「農林水産」コーナーでは、籾摺機などの農機具、真珠養殖、漁法についての模型、戦車こぎ網などの漁具、船舶用ディーゼルエンジン、枝打ちロボット、仙波式手回し選果機、みかん選果機などを展示している。「製紙」のコーナーでは、紙以前の書紙材料であるパピルス及びパーチメント、紙の伝搬経路図、和紙原料叩解機、回転式三角乾燥機、ツインワイヤー抄紙機の模型などを展示し、製紙技術及び歴史について解説している。「造船」のコーナーでは、自動車専用運搬船、オイルタンカー、冷凍船などの模型、プロペラ翼の傾きが変わる様子がわかる実物大の可変ピッチプロペラ、造船技術の進歩がわかるファンタビュー映像を展示し、造船の歴史及び技術について紹介している。「鉱業」のコーナーでは、別子銅山及び市之川鉱山について、別子１号機関車の模型、ダイナマイトの発破状況再現、輝安鉱などを展示紹介している。「交通運輸」のコーナーでは、愛媛県の交通運輸について紹介し、坊っちゃん列車、人力車、水中翼船、YS－11の模型の展示のほか、列車展望映像の上映もしている。「繊維」コーナーでは、ジャカード機とタオル自動織機、アキュムレーター、

タオル製品、化学繊維などを展示している。「石油・化学・電力」のコーナーでは、電力供給の移り変わりの解説、菊間地下石油備蓄基地の模型を展示している。「機械・金属」のコーナーでは、直立枝型ボール盤、ベルト掛け旋盤、ベローズ成型機などとともに、県内企業の先端技術が生かされたF3000レーシングカーを紹介している。愛媛県の来島海峡での「順中逆西」よばれる独特な航法について解説したジオラマ等を展示している。

㈣　産業館展示内容

ゾーン	テーマ	項目
オリエンテーションホール	産業の概要	愛媛産業マップ
伝統産業ゾーン	伝統産業	伝統産業
基幹産業ゾーン	農林水産	稲作 真珠養殖 漁業・漁法 林業 みかん栽培
	製紙	紙のまち 和紙 洋紙
	造船	造船
	鉱業	別子銅山 別子鉱山鉄道 市之川鉱山
	交通運輸	鉄道輸送 自動車輸送 海上輸送 航空輸送
基幹産業ゾーン	繊維	製糸 綿紡績 タオル 化学繊維
	石油・化学・電力	電力 石油 化学
	機械・金属	機械・金属

エ　屋外展示

転炉、水車と発電機などの大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

ゾーン	テーマ	項目
屋外	鉱業	グレイト・フォールズ型転炉 カラミ電車
	電力	水車と発電機 タービンローター タービンケーシング
	機械・金属	アンモニア圧縮機
	太陽光発電	太陽光発電装置

オ　令和７年度常設展示更新箇所

	展　示　物	展　示　場　所	区分
科学技術館	不思議ホログラムギャラリー	科学技術館・伝のゾーン	新規
	災害用伝言ダイヤル171訓練機	科学技術館・伝のゾーン	新規

カ　実験ショー

開始時間　土日祝日、ＧＷお盆（13：00 ～、15：00 ～）

タイトル・時期	開催回数	内　容
からくり機構と動きのヒミツ 令和７年４月19日～７月６日	土日祝２回 （実験回数54回） （総観客数1,733人）	普段使っている道具や機械は、いろいろな形をした部品が組み合わさってできている。これらの複雑な機構がどのようにして動いているのか、動力に使われているゼンマイや力を規則正しく伝達する調速の仕組みをからくり人形を使って紹介した。
みんなで予想！コロコロレース 令和７年７月12日～10月13日	土日祝２回 （実験回数74回） （総観客数2,700人）	ツナ缶と缶ジュース、ゆで卵と生卵などを坂から転がして、どちらがはやくゴールするかを予想してもらった。物体の位置エネルギーが、回転運動より、並進運動モーメントに分配される方が速く進むことを説明した。
化学発光（ケミルミネッセンス）～化学反応で生まれる光を見てみよう～ 令和７年10月18日～令和８年１月12日	土日祝２回 （実験回数48回） （総観客数1,140人）	化学反応によって生じたエネルギーが光として放出される現象「化学発光」をテーマに、過シュウ酸エステル化学発光、ルミノール反応、ウミホタルの発光の様子など、化学反応によって美しい光が生まれる様子を実演した。
水蒸気の科学 令和７年１月18日～４月13日	土日祝２回 （実験回数43回） （総観客数1,181人）	液体の水が気化／蒸発して気体になるときの体積変化を利用した水蒸気発電、水蒸気爆発等について紹介した。水蒸気が凝縮／液化（気象分野は凝結）するときにできる雲についての実験も行った。

実施回数合計　219回　　観覧者合計　6,754人

⑵　特別展示

ア　特別展「もっと知りたい！史上最大のニホンカウソ展」

期　間	令和７年７月12日（土）～９月23日（火祝）
会　場	企画展示室
観覧者数	29,023人
観　覧　料	大人（高校生以上）1,000円・65歳以上900円・小中学生700円
担　当	小林　真吾
趣　旨	日本各地に生息していたニホンカワウソは、1975年、宇和島市での保護を最後に県内での確実な記録が途絶え、2025年で50年となる。この特別展では、当館が所有するニホンカワウソの資料を中心に展示し、ニホンカワウソがどのような生き物だったのか理解を深め、どのような経緯で衰退していったのかを辿り、野生動物が絶滅することや人と野生動物の関わり方について考える機会を提供する。観覧者がニホンカワウソの最後の楽園であった四国西南部の豊かな自然環境を再確認し、地域の自然や歴史、それらが織りなす豊かな文化について理解を深めてもらえるような内容とする。
内　容	（１）ニホンカワウソ発見！ 　ニホンカワウソの発見ブームにつながった1954年（昭和29年）の愛媛県大洲市での捕獲事例について新聞記事などを交え紹介した。 （２）ニホンカワウソはどんな生き物だった？ 　はく製や骨格標本を用い他の中型哺乳類や近縁種などと比較し生物としての姿を解説したほか、つがいで行動していた個体、胎児の液浸標本、フンや食べかす、近縁種の動画などから生態を解説した。

内　　容	（3）言い伝えの中のカワウソ 　河童やエンコなどカワウソをモデルとした伝説上の生物を紹介し、人々とカワウソの歴史的な「関わり」について解説したほか、県内各地に伝わる伝承について紹介した。 （4）ニホンカワウソはなぜ減ったの？ 　全国でニホンカワウソが減った大きな要因である毛皮の利用、四国で減少の一途を辿る要因となった水産業との軋轢、最後まで個体群が残った要因としての自然環境とその喪失などについて解説した。 （5）もうニホンカワウソからわかる事はないの？ 　現在、残っている標本から調べられることとして、標本内部のCTスキャン撮像による骨格情報の利用のほか、標本から得られたサンプルを用いた安定同位体や分子生物学的な研究について紹介した。 （6）ニホンカワウソと私たちの今、これから 　ニホンカワウソと同様に絶滅に瀕した状況から個体数を増加したトキやコウノトリなどとの比較、二ホンカワウソをモデルにしたキャラクターを通じた自治体の取り組み、ニホンカワウソの保護に関わった人たちを紹介し、人と野生動物の関りについて解説した。
関連事業	・世界カワウソデー（5/28）前後のプレ展示 ・ワークショップ（推しカワウソ缶、カワウソひみつガーデン、カワウソアクリルキーホルダー、カワウソカボションマグネット） ・なーしくん&しんじょう君　グリーディングイベント（7/12・13、8/14・15） ・カワウソ幻ちゃん　グリーディングイベント（9/20） ・カワウソリレートークショー 　8/9（土）：富田幹次氏（高知大学）・奥田ゆう氏（岡山理科大学） 　8/23（土）：千葉昇氏（愛光学園）・谷地森秀二氏（横倉山自然の森博物館） ・カワウソで一句詠んでみる（7/13～8/24） 　選者：森川大和氏（俳人、愛媛新聞「青嵐俳談」選者） ・NKU43総選挙（7/13～8/31） ・3施設をめぐるスタンプラリー（当館・新居浜市美術館・面河山岳博物館）

イ　特別展「まんぷく！食品サンプル展」

期　　間	令和7年4月19日（土）～6月22日（日）
会　　場	企画展示室
観覧者数	30,503人
観　覧　料	大人（高校生以上）1,000円・65歳以上900円・小中学生700円
担　　当	指定管理者（伊予鉄総合企画（株））
内　　容	日本では、誰もが目にする”食品サンプル”。今では、Japanese Pop Cultureのひとつとして、海外からも注目を集めています。しかし”食品サンプル”は、誕生以来誰も気づかないうちに、少しずつ進化し、その製法や役割、並べ方など、驚くほど進化しています。 今回の特別展では、そんな”食品サンプル”の魅力や進化について、ただ展示品を見るだけではなく、実際に触れて、撮って、楽しみながら学ぶ展示となっています。
関連事業	・関連イベント「ロウで天ぷらをつくろう」（4/20、6/22） ・関連イベント「お好み焼きカーリング」（5/10～6/22） ・関連イベント「ねんドル岡田ひとみ　ねんど教室」（5/31） ・関連イベント「ねんドル岡田ひとみ　トークショー」（5/31） ・ワークショップ（ゼリー消臭剤をつくろう、ミニタルトキーホルダーをつくろう、フルーツサンデーをつくろう、クリームソーダをつくろう、ホールケーキキーホルダーをつくろう！）

⑶ 企画展示等

ア　パネル巡回展「家の中のおじゃま虫」

期　　間	令和７年７月26日(土)～９月23日(日)
会　　場	展示棟３階ロビー
観覧者数	48,123人
観 覧 料	常設展示観覧券が必要
担　　当	指定管理者(伊予鉄総合企画(株))
内　　容	「害虫」と言われる忌み嫌われている生き物も、世界になくてはならない大切な生き物です。本展示では、家の中に発生する害虫は、いったい何者なのか。屋内に潜む害虫の種類や特徴、人への影響について紹介します。また、害虫と呼ばれる虫たちも、生態系にとって、必要な生き物であることも紹介します。

イ　ロビー展「森に親しむ博物館」

期　　間	令和７年９月20日(土)～11月９日(日)
会　　場	展示棟１階　多目的ホール前ロビー
観覧者数	17,098人
観 覧 料	無料
担　　当	川又　明徳
内　　容	総合科学博物館を会場に、県産材を使用した展示ケース・パネルを備え、森林をテーマにした展示、ミュージアムツアー（展示解説)及び親子で森林に親しむ工作教室を開催した。これらの事業を通じて、森林を保全することによって維持される生物多様性や人と森林の共生の大切さについて、子供を中心とする幅広い世代の県民の森への理解を深め、森林と共生していく文化の創造や環境教育に貢献するものとした。（森林環境税充当事業）
関連事業	・ミュージアムツアー 当館学芸員による展示の解説を行った。（９月21日　参加者50人） ・工作イベント 科博において木の葉やドングリ等を材料にした工作イベントを開催した。 （５月４日「葉っぱで遊ぼう！」参加者 82人、11月２日「タネで遊ぼう！」参加者 132人、合計214人）

ウ　企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」

期　　間	令和７年10月18日(土)～令和８年１月12日(日)
会　　場	企画展示室
観覧者数	18,937人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担　　当	鈴木　裕司
内　　容	ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡(JWST)の観測開始から３年が経ち、観測画像と成果が蓄積されてきたことから、JWSTによって撮影された数々の深宇宙の姿を展示した。 JWSTの写真をケース全面に貼り、背面から照明を当てることで、天体写真を印象的に展示し、天体写真を楽しんでもらうとともに、そこから見えてきた宇宙の姿に関心を持ってもらうことを狙いとした。
関連事業	・関連イベント「熟睡プラ寝たリウム」 ・関連イベント「特別投影「宇宙望遠鏡が見た景色」」 ・関連イベント「星空写真撮影講座」 ・ワークショップ(星のレジンキーホルダー、宇宙ボトル、星のマーブルクレヨン)

エ　企画展「アメイジングホログラフィックワールド～おどろきのホログラムの世界」

期　　間	令和７年10月18日（土）～令和８年１月12日（日）
会　　場	企画展示室
観覧者数	18,937人
観　覧　料	常設展観覧券が必要
担　　当	進　悦子
内　　容	三次元画像を記録し立体的な画像を再生することができるホログラフィの技術と、その技術によって製作されたホログラム作品を展示した。本当にそこ存在しているかのように知覚できる驚きの再生像とその記録・再生の原理、ディスプレイはもちろん、セキュリティ、計測、医学など様々な分野で活用されていることを多数の作品とともに紹介した。また、関西大学光情報システム研究室の協力により、現在研究が進められている、実在しない物体の光を作り出し作製する計算機合成ホログラム（CGH）の最新技術を紹介した。
関連事業	・特別講演「高解像度コンピュータホログラムによる３次元空間映像の世界」（10/19） 関西大学光情報システム研究室の松島恭治氏による講演会を行った。 ・ワークショップ「世界で一つだけ！オリジナルホログラムをつくろう」（12/７） 元千葉大学工学部技術専門職員の酒井朋子氏を講師に、ホログラムの記録と現像を体験するワークショップを行った。 ・学芸員によるホログラムギャラリートーク（１/２、10、12） 展示の詳しい解説や見どころ、おすすめ作品や裏話を交えながら担当学芸員が展示室内をガイドした。 ・ワークショップ（キラキラ景色の万華鏡、ふしぎミラーボックス、琉球ガラスの万華鏡）

オ　巡回展「野辺山天文台展　～ウラ側まで徹底大公開！～」

期　　間	令和７年11月15日（土）～令和８年１月12日（月祝）
会　　場	展示棟４階ロビー
観覧者数	14,927人
観　覧　料	常設展観覧券が必要
担　　当	指定管理者（伊予鉄総合企画（株））
内　　容	野辺山宇宙電波観測所は、ミリ波電波天文学の国際拠点として世界第一線の研究を続けてきました。その秘訣は、観測環境の良さ、アンテナ性能の高さ、そして、継続的な受信機の更新です。本展示では、野辺山天文台でどのようなことを調べているのか、どのような装置がなぜ設置されているのかなど来場者の疑問を分かりやすく解説します。

カ　企画展「ようこそ！ゲノムワールドへ　～生命の設計図を調べて分かった驚きの発見～」

期　　間	令和８年２月14日（土）～４月５日（日）
会　　場	企画展示室
観覧者数	13,079人
観　覧　料	常設展観覧券が必要
担　　当	三木　綾乃
内　　容	ゲノム、DNA、遺伝子という言葉を近年よく耳にするようになったが、その具体的な姿や役割について深く知る機会は多くはないかもしれない。本企画展は、その基礎知識から最先端の解析技術、さらには、医療、農業、環境、生物の分類・進化など多岐にわたる分野の研究成果を楽しみながら学べる体験型企画展である。ゲノムがなぜ「生命の設計図」と呼ばれるのか体感できる展示や、研究で実際に使われている実験機器、最新の研究成果を分かりやすく解説する展示等を通じて、DNAやゲノムの秘める奥深さが感じられ、研究者の科学への探求心に対する関心が深まる内容とした。 【展示構成】 第一章「ゲノムってなんだ？ミクロの世界を探検しよう」 DNAの長さを体験できる展示、DNAの構造を体験できる展示等を通じて、遊びながらゲノムの基本を学ぶ。

内　　容	第二章「ゲノムをどうやって調べるの？」 肉眼では見えないDNAの情報をどうやって調べるのか、実験器具の展示を通じて実際の研究現場を紹介する。 第三章「ゲノムを調べて分かった驚きの発見」 近年のゲノム研究の成果を、標本や体験展示を用いて分かりやすく解説。
関連事業	・博物館講座「あなたはお酒に強い？DNAから調べよう」（3/7）（協力：公益財団法人かずさDNA研究所） 各参加者の口腔粘膜細胞からDNAを取り出し、アセトアルデヒドの分解に関わるALDH2遺伝子をPCR法とアガロースゲル電気泳動によって解析することで、各参加者がお酒に強い体質か弱い体質かを調べた。 ・博物館講座「身近な食べ物からDNAを取り出そう」（3/21） ブロッコリーを材料に用いて、DNA抽出実験を行った。抽出物がDNAであることを、ジフェニルアミン法によって確認した。 ・関連ミニ実験教室「マイクロピペットで実験してみよう」（2/21、3/1,15、4/2,5） 生命科学分野の実験に欠かせない道具であるマイクロピペットの扱い方を習得した後、マイクロピペットを用いて簡単な実験をした。 ・関連ミニ実験教室「自分の細胞を見てみよう」（3/26,29,4/4） 各参加者から採取した口腔粘膜細胞を用いてプレパラートを作成し、自分自身の口腔細胞を顕微鏡で観察した。 ・関連ミニ実験教室 「開花予測キットを使ってサクラの開花時期を予測しよう」（3/20）（協力：公益財団法人かずさDNA研究所） 公益財団法人かずさDNA研究所の白澤健太研究員らが開発した、ソメイヨシノのつぼみの中で開花に向けて働いている遺伝子の発現量を調べることで開花時期を予測するキットを用いて、博物館敷地内に生育しているソメイヨシノの開花時期の予測を行った。 ・ギャラリートーク（4/5） 企画展の企画制作を担当した学芸員が、展示解説を行った。 ・ワークショップ（DNAシルクプリントスクリーン、ふわふわ分子くん、二重らせんパラコードを編もう、蓄光スライム）

キ　ロビー展「昭和100年展　テレビ受像機の100年」

期　　間	令和7年12月1日(月)～令和8年3月19日(木)
会　　場	展示棟3階ロビー
観覧者数	20，996人
観　覧　料	常設展観覧券が必要
担　　当	久松　洋二
内　　容	令和8年は昭和元年から起算して満100年を迎えることを契機に、当館資料によって昭和時代に思いを馳せるきっかけになるリレー形式のロビー展を1年間開催する。その第1弾としてテレビ受像機をテーマにした展示。 テレビ受像機にまつわる発明と科学技術、製品としての機能やデザインの変遷、ユーザーニーズの変遷など、テレビ受像機の100年間を45点の実物資料で紹介した。

4　教育普及事業等

⑴　博物館講座の開催

自然、科学技術、愛媛県の産業等について理解を深める場として、次の博物館講座を開催した。
※全て「学び舎えひめ」の対象講座となります。

ア　自然観察会

実施状況　対象／小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／①⑤20名、②③⑥30名、④35名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ５月24日(土)	①初夏のツガザクラ群落トレッキング	10:00～16:00	銅山峰 (新居浜市別子山)	32	中止
６月14日(土)	②初夏の樹木ウォッチング	10:00～12:00	えひめ森林公園 (伊予市)	18	中止
７月26日(土)	③海辺の生き物ウォッチング	14:30～17:00	鴨池海岸公園 (今治市)	122	30
10月26日(日)	④関川の岩石・鉱物	10:30～12:30	関川河原 (四国中央市)	166	34
11月15日(土)	⑤道後温泉でジオ散歩	10:30～12:30	道後温泉周辺 (松山市)	54	20
令和８年 ３月28日(土)	⑥春をさがして野辺歩き	13:30～15:30	博物館周辺	14	11
合　計	６講座６回開催			406	95

イ　親子自然教室

実施状況　対象／①④小学生（３年生以上）とその保護者
②③小学生とその保護者
定員／①④各12組24名、②③各６組12名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ７月27日(日)	①岩石標本をつくろう	13:30～15:30	科学実験室	96	24
８月６日(水)	②葉っぱ図鑑をつくろう１	10:00～12:00 13:30～15:30	第１研修室 博物館敷地内	40	37
８月17日(日)	③葉っぱ図鑑をつくろう２	10:00～12:00 13:30～15:30	第１研修室 博物館敷地内	62	24
８月23日(土)	④化石をしらべよう！植物化石	13:30～15:30	科学実験室	88	24
合　計	４講座６回開催			286	109

ウ　天体観望会

実施状況　対象／①制限なし、②③④⑤⑥小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／①②⑤制限なし、③④⑥各15名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ５月３日(土祝)	①太陽と金星	11:00～12:00	屋外展示場	当日受付	139
８月30日(土)	②月と夏の星	20:00～21:30	立体駐車場	当日受付	26
10月25日(土)	③土星と秋の星	18:30～20:00	プラネタリウム	77	17
11月29日(土)	④環が消えた土星	18:30～20:00	プラネタリウム 立体駐車場	57	11

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
12月13日（土）	⑤土星と流れ星	18:30～20:00	立体駐車場	当日受付	中止
令和８年 １月24日（土）	⑥木星と冬の星	18:30～20:00	プラネタリウム	47	14
合計	６講座６回開催			160	168

エ　科学実験教室

実施状況　対象／①小学４年生～高校生とその保護者（小学生は保護者同伴）
②小学４年生～中学生
③小学４年生～中学生とその保護者（子供１人に対し保護者1人の申込みが必要）
④小学生～中学生（小学１年生～３年生は保護者同伴、保護者の申込みが必要）
⑤小学３年生～中学生（小学生は保護者同伴、保護者の申込みが必要）
定員／①40名、②④15名、③６組12名、⑤20名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ８月16日（土）	①身の回りの放射線測定体験教室	９:30～15:00	第１研修室 常設展示室	38	31
８月24日（日）	②サイエンスサバイバル術	13:30～15:30	科学実験室	39	9
11月８日（土）	③親子で実験！錬金術に挑戦しよう	13:30～16:00	科学実験室	28	12
11月22日（土）	④うんちを作ろう	13:30～15:30	科学実験室	51	13
令和８年 ３月21日（土）	⑤身近な食べ物からＤＮＡを取り出そう	13:30～15:30	科学実験室	57	22
合計	５講座５回開催			213	87

オ　科学工作教室

実施状況　対象／①③小学３年生～中学生、②⑤小学４年生～中学生
④小学生～中学生（小学１年生～３年生は保護者同伴、保護者の申込みも必要）
定員／①③⑤20名、②10名、④30名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ５月10日（土）	①ペットボトルロケットを作って飛ばそう！	10:30～15:00	第１研修室 臨時駐車場	10	6
５月17日（土）	②ジャラジャラ！電動メダルゲームの製作	13:30～16:30	科学実験室	35	10
６月７日（土）	③ゴム動力で動く！プルバック式レーシングカー	13:30～16:30	第１研修室	15	12
８月10日（日）	④楽しくおそうじ！電動ハンディークリーナーを作ろう	13:30～14:30	第１研修室	36	24
９月20日（土）	⑤電磁石で永久ゴマを作ろう（電子工作）	13:30～16:30	科学実験室	17	11
合計	５講座５回開催			102	63

カ　大人のための科学講座

実施状況　対象／高校生以上
定員／①⑥12名、②15名、③⑤20名、④10名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ６月15日（日）	①今だからこそ楽しい！中学高校の化学実験に再挑戦しよう	13:30～15:30	科学実験室	14	13
10月４日（土）	②植物の見分けポイント！	14:00～16:00	えひめこどもの城（松山市）	10	8

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
10月11日(土)	③万華鏡ワークショップ「オイル式ツーミラー万華鏡を作ろう」	13:30～15:30	科学実験室	9	6
11月16日(日)	④ピンホールカメラを作って撮影・現像しよう	13:30～16:30	科学実験室 屋外	9	6
令和８年 １月11日(日)	⑤ステンドグラス苔テラリウムを作ろう	13:30～15:30	科学実験室	24	21
３月７日(土)	⑥あなたはお酒に強い？ DNAから調べよう	12:30～16:00	科学実験室	26	12
合計	４講座４回開催			55	29

キ　産業講座

実施状況　対象／①小学４年生～高校生（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
②⑤小学生以上（小学１・２年生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
③⑥小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
④小学４年生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
⑦小学４年生以上
定員／①⑥40名、②各12名、③⑦20名、④25名、⑤15名

開講日	内容	時間	場所	応募（人）	受講者数（人）
令和７年 ７月19日(土)	①造船工場見学会	9:30～12:30	浅川造船株式会社 東予工場(西条市)	55	33
７月20日(日)	②手すき和紙とギルディングカードづくり	10:00～11:30 14:00～15:30	科学実験室	35	23
11月２日(日)	③宇和島九島でマダイ養殖について学ぼう	13:00～16:30	九島、九島沖 (宇和島市)	72	20
11月29日(土)	④製紙工場見学会	13:00～17:30	大王製紙株式会社 川之江工場・三島工場 (四国中央市)	60	25
12月14日(日)	⑤簡単な水引細工や水引でメッセージカードを作ろう	13:00～16:00	科学実験室	7	5
令和８年 ２月１日(日)	⑥来島海峡の海上交通を学ぼう	11:30～18:00	来島海峡海上交通センターほか(今治市)	25	9
３月14日(土)	⑦三津浜煉瓦のおはなし	11:00～12:00	第１研修室	16	7
合計	７講座８回開催			270	122

⑵　博物館資料の特別利用及び館外貸出

外部からの博物館資料の特別利用及び館外貸出の要望に対し、自然史、科学技術及び産業史に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められる場合、特別利用や館外貸出を許可している。令和７年度は、特別利用10件・館外貸出３件に対応した。

特別利用　計10件　65点

	資料名	数	利用の方法･目的	申請者	許可日
1	鉱物標本(輝安鉱)画像	3	第31回大阪ミネラルショーにて特別講演で投影	市之川公民館	令和７年 ４月４日
2	小川正孝大礼服着用画像	1	朝日新聞土曜版「be」とニュースサイトに掲載	(株)朝日新聞社	５月18日
3	太陽の日周運動の映像	3	企画展「太陽展 謎多き身近な天体」で上映	出雲科学館	５月21日
4	ハナゴンドウ骨格標本	1	観察・撮影・掲載	岡山理科大学獣医学部	６月４日

	資料名	数	利用の方法･目的	申請者	許可日
5	ニホンオオカミ頭骨写真	3	特別展案内チラシへの掲載および展示利用	面河山岳博物館	６月13日
6	ニホンカワウソ剥製写真	1	写真掲載	愛媛新聞社南予支社	６月13日
7	鉱物標本（輝安鉱）	20	閲覧	市之川公民館	６月14日
8	ニホンオオカミ頭骨	1	ウェブサイト、展示での掲載	日本狼之棲館	９月10日
9	ＧＦ型転炉画像	1	企画展「住友の銅精錬の歴史」の展示パネルに使用	日暮別邸記念館	10月２日
10	ニホンカモシカ画像	2	展示（文化財フェア 2025）	愛媛県教育委員会事務局 管理部文化財保護課	10月24日
11	ニホンカワウソ全身骨格標本	1	撮影・複製の製作・展示	四国水族館	12月26日
12	ニホンカワウソ剥製	39	肉球部からのサンプル採取・分析、論文への掲載	岡山理科大学獣医学部	令和８年２月４日
13	植物標本	11	標本の閲覧・計測・撮影	京都大学大学院 人間・環境学研究科	３月19日

館外貸出　計３件　53点

	資料名	点数	貸出し期間及び目的	申請者	許可日
1	愛媛県産外来生物標本	4	令和７年４月16日～令和７年６月29日企画展「えひめの外来生物」に展示	面河山岳博物館	令和７年４月15日
2	ハナゴンドウ全身骨格ほか	33	令和７年６月15日～令和７年８月３日教員研修で活用	愛媛県総合教育センター	６月８日
3	動植物標本	16	令和７年７月１日～令和７年12月３日特別展「絶滅危惧～標本が語る愛媛の自然～」にて展示	面河山岳博物館	６月24日

⑶　実験器具と標本セット貸出　計16件

学習支援活動の一環として、学校や児童館などに実験器具や実物標本の貸し出しを行った。貸出先の数の内訳は、小学校５件、中学校３件、高等学校１件、大学２件、その他５件である。

	資　料　名	貸出期間	利用目的	貸出先団体名
1	化石レプリカ製作セット	令和７年５月６日～５月18日	化学クラブの活動	松山市立荏原小学校
2	シャボン玉実験セット	令和７年７月４日～７月12日	生活科学習	西条市立小松小学校
3	化石標本A、化石レプリカ製作セット	令和７年７月11日～７月25日	オープンキャンパスの講義教材	兵庫教育大学
4	化石標本A	令和７年７月22日～７月29日	小学生の体験授業教職員の研修	川崎市教職員組合
5	化石標本A、化石レプリカ製作セット	令和７年７月30日～８月８日	企画展のワークッショップ	あかがねミュージアム
6	空気砲実験セット	令和７年８月17日～８月24日	児童クラブの活動	新居浜市立高津小学校たねっこクラブ
7	化石レプリカ製作セット	令和７年８月18日～８月31日	愛媛大学理学部サマースクール出展	四国型次世代科学技術チャレンジプログラム
8	化石レプリカ製作セット	令和７年10月19日～10月26日	科学の祭典	愛媛県立松山南高等学校
9	空気砲実験セット	令和７年10月29日～11月８日	文化祭イベント	西条市立東予東中学校

	資　料　名	貸出期間	利用目的	貸出先団体名
10	化石標本A、 化石レプリカ製作セット	令和７年11月８日～11月21日	授業	西条市立東予東中学校
11	化石レプリカ製作セット 空気砲実験セット	令和７年12月６日～12月11日	授業　理科クラブ	四国中央市立豊岡小学校
12	静電気実験セット	令和７年12月26日 ～令和８年１月18日	児童クラブの活動	新居浜市立高津小学校 たねっこくらぶ
13	静電気実験セット	令和８年１月10日～１月18日	科学実験講座	かわのえ理科クラブ
14	静電気実験セット	令和８年１月25日～２月８日	朝会での校長訓話	今治市立別宮小学校
15	化石レプリカ製作セット	令和８年２月７日～２月21日	科学実験講座	かわのえ理科クラブ
16	静電気実験セット	令和８年２月８日～２月21日	授業	愛媛県立 今治東中等教育学校
17	化石レプリカ製作セット	令和８年２月22日～２月28日	体験活動	放課後デイサービスキート松山南クラス

⑷　学校教育との連携

当館では、学校教育との連携という考えから、学校団体をスムーズに受け入れ、また博物館教育の効果を上げるため、下記の事柄を実施している。

ア　学校団体の受付及び管理

⑺　学校団体利用の手引の作成と送付

四国４県の学校や博物館等に対し、遠足などの来館計画及び予約がスムーズにできるよう、団体利用の手引を作成し送付した。

⑴　学校団体の受付

	県　内	県　外	計
小　学　校	29校　1,623人	36校　1,653人	65校　3,276人
中　学　校	11校　436人	６校　379人	17校　815人
中高一貫校	1校　146人	０校　０人	１校　146人
高等学校	17校　975人	４校　206人	21校　1,181人
高等専門学校	２校　217人	０校　０人	２校　217人
特別支援学校	10校　245人	３校　41人	13校　286人
そ　の　他	66校　2,461人	７校　477人	73校　2,938人
計	136校　6,103人	56校　2,756人	192校　8,859人

※その他は幼稚園・保育園等

⑼　入館料の減免措置

県内小中高および特殊の学校団体は、常設展示・プラネタリウムが無料。また、平成11年７月より学校団体以外の来館時でも、県内外の小中学生は常設展示室が無料となっている。

イ　印刷物の送付

当館各種事業への参加を促すため、学校現場への広報の一環として、各種事業のポスター・チラシ

等を四国内の小・中学校等に送付した。

学校への配付物
・博物館利用の手引き ・各種事業(講座、特別展・企画展、プラネタリウム等)のチラシ、ポスター ・博物館案内リーフレット、年間行事予定

ウ　職場体験・職場見学学習の受け入れ

学校教育との連携の一環として､インターンシップ(就業体験実習)指導及び職場見学学習を行った。

1）職場体験学習

㈠ 新居浜市立大生院中学校（２年生：３名）
　期　間：令和７年７月１日（火）～７月４日（金）
　内　容：博物館講座準備、プラネタリウム補助　等

㈡ 新居浜市立東中学校（２年生：２名）
　期　間：令和７年７月１日（火）～７月４日（金）
　内　容：博物館講座準備、プラネタリウム補助　等

㈢ 西条市立西条東中学校（３年生：３名）
　期　間：令和７年９月19日（金）
　内　容：動画作成、プラネタリウム補助　等

2）職場見学学習

㈠ 松山市立道後中学校（２年生：34名）
　期　間：令和７年10月24日（金）
　内　容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答

㈡ 大洲市立新谷中学校（１年生：34名）
　期　間：令和７年11月14日（金）
　内　容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答

㈢ 松山市立小野中学校（２年生：67名）
　期　間：令和７年12月１日（月）
　内　容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答

3）教員キャリアアップ研修Ⅰ（企業等研修）

新居浜工業高等専門学校（23名）
期　間：令和７年９月12日（金）
内　容：常設展示・特別展示の見学、教室の企画などの情報交換　等

エ　中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会

日　　程	令和７年８月３日(日)
会　　場	多目的ホール、第１研修室ほか
参加者数	出場校22校(高等学校21校、中学校１校)　参加者119名
内　　容	中高生を対象に科学研究・環境保全・産業に関する研究(啓発活動を含む)の発表大会を開催した。今年度は、県内外の22校からポスター部門28組、ステージ部門８組の参加があった。各部門から最優秀・有馬朗人賞１組、知事賞１組、県教育委員会教育長賞１組、ポスター部門では審査員特別賞１組を表彰した。

オ　教員のための博物館の日2025in愛媛県総合科学博物館

日　　程	令和７年８月21日(木)
会　　場	常設展示室、プラネタリウム、第一研修室、第二研修室、科学実験室、博物館入口
参加者数	21人(小学校９名、中学校５名、高等学校２名、中等教育学校１名、特別支援学校２名、学生２名)
内　　容	教育関係者に博物館を積極的に活用してもらうための研修会を開催した。プラネタリウムを用いた天体の授業例、常設展示ツアー、授業に役立つ科学実験・実習講座、学習用資料貸出キットの紹介及び講習を実施した。

カ　学校との連携協定

愛媛県総合科学博物館は学校法人愛光学園と連携協定を締結している。

締結日　令和５年２月１日（水）

目　　的　自然･科学技術･産業等について県民の理解増進と知識の普及を図り、次世代のリーダー育成に資するとともに、地域課題への対応、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与する。

連携事項　展示、教育イベントの連携と資料の貸借、人材育成と教育の充実、教材開発等の調査研究とその公表

キ　館外への派遣

学校（ＰＴＡを含む）からの依頼により、学芸員を派遣して出前講座等を実施した。

	派遣回数	資料貸出し
小	23回	５回
中	６回	３回
高	７回	１回
大	２回	２回
小　　計	38回	11回
そ の 他	20回	５回
合　　計	58回	16回

その他：幼稚園、保育園、公民館、児童館、その他団体等

⑸　外部機関・団体との交流事業

ア　派遣

博物館活動の一環として、館外からの依頼等を受けて学芸員等の派遣を行った。

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
令和７年４月16日	川又　明徳	国指定天然記念物銅山峰ツガザクラ群落の成り立ちとその保護活動について解説	愛媛県立新居浜南高等学校	11
４月27日	川又　明徳	講義「国指定天然記念物銅　山峰ツガザクラ群落」	別子記念図書館	49
５月29日	安永　由浩	来島海峡を通る船を導く光について	新居浜生涯学習大学	63
６月６日	三木　綾乃	入浴剤の説明・実験・工作	認定こども園かんべ幼稚園	55
６月７日	久松　洋二	公開講座「小川正孝アジア人初の新元素発見者」	公益財団法人日本技術士会四国本部	100
６月８日	進　悦子	二酸化炭素の実験と解説・発泡入浴剤作り	四国中央市立南小学校	53
６月10日	川又　明徳	南極観測隊生活体験を例に自然環境問題を解説	東温市立北吉井小学校	33
６月13日	久松　洋二	県立西条高等学校「令和７年度マルチサイエンスⅡ」研究成果発表会	愛媛県立西条高等学校	140
６月14日	進　悦子	科学おもしろマジックショー	松前町立岡田小学校	80
６月19日	藤本　光章	講座「からくり人形の動きと仕組み」	新居浜生涯学習大学	67
６月20日	藤本　光章	スライムの実験と製作	西条市立国安小学校５年学級ＰＴＡ	29

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
6月28日	藤本　光章	科学マジック実験ショーとプチ科学教室	愛媛県教育委員会事務局 南予教育事務所	50
7月4日	久松　洋二	「マルチサイエンスⅠ」研究経過報告会	愛媛県立西条高等学校	210
7月13日	安永　由浩	講義「愛媛の産業技術の発達」	愛媛大学　四国型次世代科学技術チャレンジプログラム事業（ＳＨＩＮ－ＧＳ）事務局	8
7月15日	鈴木　裕司	体験学習「望遠鏡の操作、太陽・月・夏の星の話」	東温市教育委員会 学校教育課　教育支援教室	8
7月28日	川又　明徳	研修「野外活動の安全管理と自然観察の視点」	愛媛県立新居浜南高等学校	32
7月30日	三木　綾乃	身近で活躍する酸とアルカリ	新居浜市大生院公民館	10
8月1日	鈴木　裕司	夏休みワークショップ　星座早見盤の制作、天体観望会	一広株式会社タオル美術館	41
8月6日	進　悦子	君にも出来る科学マジック	新居浜市立別子銅山記念図書館	32
8月6日	鈴木　裕司	星空教室「星についてのお話、天体観望会」	今治市城東公民館	32
8月6日	藤本　光章	授業に役立つおもちゃ作り（教員強化研修）	西条市教育委員会	35
8月8日	久松　洋二	東予コミュニティカレッジ「金（かね）にならない金（きん）のはなし」	愛媛県総合科学博物館	40
8月11日	山根　勝枝	講義「地質からみる石鎚山の成り立ち」	愛媛県美術館	20
8月20日	進　悦子	科学おもしろマジックショー	西条市　東予南地域交流センター	20
8月22日	久松　洋二	第13回科学の甲子園ジュニア愛媛大学　審査	愛媛県教育委員会　義務教育課	93
8月22日	進　悦子	みんなで予想！コロコロレース	新居浜市　惣開公民館	48
9月2日	山根　勝枝	講義「地質からみる石鎚山の成り立ち」	愛媛県生涯学習センター	20
9月3日	安永　由浩	ものづくり体験講座「四国中央市　地域産業を知る」	公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会、四国中央市（四国中央市立三島西中学校）	97
9月5日	安永　由浩	ものづくり体験講座「四国中央市　地域産業を知る」	公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会、四国中央市（四国中央市立三島南中学校）	66
9月6日	鈴木　裕司	星空観賞会「直近天文現象の土星の環・皆既月食」	四国中央市　中曽根公民館	93
9月10日	藤本　光章	科学マジックショーと紙飛行機工作	四国中央市立松柏小学校	100
9月12日	藤本　光章	ＣＯ2科学実験入浴剤作り	西条市立三芳小学校	25
9月16日	小林　真吾	今治市蒼社川の魚類･昆虫･植物の観察と解説	今治市立常盤小学校	89
9月18日	川又　明徳	南極の話	愛媛県総合教育センター	47
9月20日	篠原　功治	日本磁気学会2025年度第31回公開講演	公益社団法人日本磁気学会	50
9月26日	久松　洋二	プレゼンスキルアップ講座	愛媛県立西条高等学校	100
9月27日	三木　綾乃	空気の実験と入浴剤作り	新居浜市上部児童センター	48
9月28日	藤本　光章	スライムの実験と製作	四国中央市立小富士小学校	40
10月1日	安永　由浩	ものづくり体験講座「四国中央市　地域産業を知る」	公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会、四国中央市（四国中央市立三島東中学校）	115
10月2日	三木　綾乃	地震・防災に関する講義と実験	新居浜生涯学習大学	56
10月6日	安永　由浩	ものづくり企業講座「新居浜ものづくり産業の歴史」	一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会（新居浜市立船木中学校）	54

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
10月10日	安永　由浩	ものづくり企業講座「新居浜ものづくり産業の歴史」	一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会(新居浜市立東中学校)	107
10月15日	川又　明徳	アサギマダラとフジバカマについて	新居浜市立惣開小学校	71
10月18日	藤本　光章	カラフルな人工イクラを作ろう	第27回科学体験フェスティバルin大洲実行委員会	450
10月22日	川又　明徳	合同登山実習(登山のマナー、ケガの防止等解説)	愛媛県立新居浜東高等学校	63
10月25日	三木　綾乃	サイエンスショー 「酸・アルカリのカラフル色変化」	第31回青少年のための科学の祭典松山大会	100
10月26日	進　悦子	サイエンスショー 「おもしろマジカルサイエンスショー」	第31回青少年のための科学の祭典松山大会	100
11月１日	久松　洋二	博物館の企画展示に学んで楽しむ	愛媛大学ジュニアドクター育成塾	43
11月１日	藤本　光章	摩擦のサイエンスショー	高知みらい科学館	40
11月２日	藤本　光章	摩擦のサイエンスショー	高知みらい科学館	40
11月９日	進　悦子	スライムで遊ぼう	四国中央市立三島小学校	30
11月９日	鈴木　裕司	星の講演会　貴か雨天「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」をテーマにした講演	久万高原天体観測館	13
11月15日	久松　洋二	愛媛県高等学校総合文化祭　自然科学部門発表会	愛媛県高等学校総合文化祭実行委員会	170
11月18日	鈴木　裕司	企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」の解説	愛媛県立松山東高等学校	17
11月21日	進　悦子	もしもの時に役立つ！サイエンスサバイバル術	さぬきこどもの国	15
11月24日	藤本　光章	入浴剤の実験	松前総合文化センター	67
11月27日	鈴木　裕司	親子星座教室「プラネタリウムでの星空解説、天文についての話、天体観望会」	公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団	25
11月28日	鈴木　裕司	親子星座教室「プラネタリウムでの星空解説、天文についての話、天体観望会」	公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団	31
11月28日	山根　勝枝	中央構造線の成り立ちや活動の解説	愛媛県高等学校教育研究会理科部会地学部門研究会	20
12月５日	進　悦子	すごいぞ空気の力！空気砲を作ろう	西条市立大町小学校	85
12月６日	藤本　光章	オリジナル万華鏡を作ろう	四国中央市立土居小学校	27
12月６日、７日	山根　勝枝 鈴木　裕司	地層観察、化石採集ならびに化石クリーニング、企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」展示解説	高松第一高等学校	39
12月13日	進　悦子	科学おもしろマジックショー	神郷まちづくり委員会	30
12月14日	藤本　光章	風船ロケットの実験と工作	四国中央市立中曽根小学校	31
12月21日	藤本　光章	エネルギーのお話とゴム動力プロペラカーの工作	公益社団法人伊方原子力広報センター	18
令和８年１月10日	久松　洋二	新居浜市科学奨励賞発表会	新居浜市教育委員会	120
１月16日	川又　明徳	天然記念物 銅山峰のツガザクラ群落について	愛媛県立新居浜南高等学校	14
１月22日	進　悦子	発泡入浴剤を作ろう	西条市立神戸小学校ＰＴＡ	26
２月７日	進　悦子	スライムで遊ぼう	四国中央市立金生第一小学校	30
２月10日	久松　洋二	「マルチサイエンスⅠ」成果発表会	愛媛県立西条高等学校	540
２月14日	山根　勝枝	アンモナイトと三葉虫の観察とレプリカ製作	かわのえ理科クラブ	12
２月18日	進　悦子	スライムで遊ぼう	新居浜公民館	15
２月18日	川又　明徳	愛媛の博物館講座 「国の天然記念物になった銅山峰ツガザクラ群生」	愛媛県生涯学習センター	42
２月27日	小林　真吾	水辺の生物について解説	新居浜市立船木中学校	56

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
３月７日	小林　真吾	お仕事フェスタ　学芸員の仕事紹介	学校法人河原学園	50
３月８日	三木　綾乃	お仕事フェスタ　学芸員の仕事紹介、企画展「ようこそゲノムワールドへ」紹介	学校法人河原学園	50
３月13日	三木　綾乃	科学マジックショー	社会福祉法人　大井幼稚園	100
３月21日	小林　真吾	今治城堀に生息する生物を通した環境の講義	特定非営利活動法人今治ビックプライドセンター	50
３月22日	藤本　光章	プロペラカー工作と実験・説明・競技会	松山市荏原公民館	18

イ　外部機関・団体との交流事業

㈠　㈶日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、四国地区博物館協議会、愛媛県博物館協会等に加盟し、情報交換及び資料提供などを行った。

会　議　名	出席者	開　催　時　期	開催地
東予みらい人材活躍支援協議会　総会	和田　英夫	令和７年４月11日	西条市
全国科学館連携協議会総会・第１回国内研修会	久松　洋二	令和７年５月30日	東京都
全国プラネタリウム大会2025・大阪	鈴木　裕司	令和７年６月15日～18日	大阪府
日本博物館協会参与会	和田　英夫	令和７年７月１日	東京都
日本公開天文台協会第19回全国大会	鈴木　裕司	令和７年７月１日～３日	徳島県
全国博物館長会議	和田　英夫	令和７年７月２日	東京都
全国科学博物館協議会理事会・総会（第１回）・施設見学	和田　英夫	令和７年７月３日～４日	東京都 千葉県
愛媛県博物館協会理事会・総会	和田　英夫	令和７年７月15日	松山市
愛媛県博物館等関係職員研修会	久松　洋二 小林　真吾 山根　勝枝	令和７年８月９日	松山市
四国地区博物館協議会・ 日本博物館協会四国支部役員会	久松　洋二	令和７年９月17日～18日	徳島県
全国科学館連携協議会第２回国内研修会	久松　洋二 篠原　功治	令和７年９月４日～５日	大阪府 兵庫県
全国科学館連携協議会第３回国内研修会	久松　洋二 ほか	令和７年10月23日	オンライン
全国図書館大会愛媛大会	久松　洋二 井下　悠	令和７年10月30日～31日	松山市
日本プラネタリウム協議会中国四国プラネタリウムWG研修会inさじ	鈴木　裕司	令和７年11月11日	鳥取県
全国博物館大会	篠原　功治	令和７年11月19日～21日	大阪府
全国科学館連携協議会中四国ブロック会議	久松　洋二	令和７年12月10日～11日	兵庫県
日本プラネタリウム協議会中国四国プラネタリウムWG研修会in西条	鈴木　裕司	令和８年２月９日	西条市
全国科学博物館協議会総会（第２回）・研究発表大会	山根　勝枝 井下　悠	令和８年２月17日～18日	茨城県

あわせて各学芸員が加入している学会の大会等に参加し、情報の交換を行うとともに今後の研究の参考とした。

大会・集会名	出席者	開　催　日	場　所
第10回ホネホネサミット2025	小林　真吾	令和７年11月22日～23日	高知県
第16回全国理工系学芸員展示研究大会	久松　洋二	令和７年11月27日～28日	北海道
愛媛大学ジュニアドクター育成塾意見交換会	久松　洋二	令和７年７月９日 令和８年３月５日	松山市

⑷　愛媛自然科学教室

昭和34年４月に愛媛県立博物館（松山市堀之内）の開館にあわせて発足した。平成21年に愛媛県立博物館の閉館を受けて事務局を愛媛県総合科学博物館に移管した。発足当時から会誌「愛媛の自然」を毎月１回発行しており、令和８年３月現在で第67巻第12号（通巻789号）に達している。県下３ヵ所（今治・松山・宇和島）にある自然科学教室が開催している小学生を対象とした観察会のための資料として利用されている。令和７年度は６月27日に役員会を開催した。

⑸　来館困難者のための講師派遣

日常、博物館に来館することが困難な方を障がい・疾病を有する方々に向け、施設等に出向き、状況に応じて科学教室の講師派遣を行った。

実施日	派遣職員	内　　容	依　頼　機　関
令和７年 ７月10日	三木　綾乃	入浴剤にまつわる科学実験と入浴剤作り	新居浜市障がい者福祉センター
７月17日	藤本　光章	シャボン玉であそぼう	松山市立道後小学校特別支援学級
８月27日	藤本　光章	音を楽しむ不思議実験	Aile学舎 松山西教室
10月21日	藤本　光章	科学マジック実験ショー・シャボン玉のひみつ	愛媛県立今治特別支援学校
10月25日	藤本　光章	空気の力を体験しよう・空気砲を作って遊ぼう	放課後デイサービス　芽育らいふ
11月28日	藤本　光章	空気砲で遊ぼう	愛媛県立子ども療育センター
令和８年 ２月６日	藤本　光章	音のおもしろ実験と空気砲であそぼう	愛媛県立しげのぶ特別支援学校
３月26日	藤本　光章	鏡の不思議な実験とキラキラ万華鏡を作ろう	Aile学舎 松山南教室

⑹　「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」への参加

新居浜市内にある観光、学習９施設が連携し、割引や特典サービスを提供する「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」に参加し、施設間の周遊強化を図った。

ウ　調査への協力

⑺　委員会等への協力

協力職員	依　　頼　　内　　容	依頼機関
和田　英夫	四国型次世代科学技術チャレンジプログラム（SHIN－GS）コンソーシアム学外委員	愛媛大学
和田　英夫	新居浜市総合文化施設及び美術館協議会	新居浜市
和田　英夫	東予みらい人材活躍支援協議会委員	東予みらい人材活躍支援協議会
久松　洋二	新居浜市ＥＳＤ推進事業協議会	新居浜市
久松　洋二	西条高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	愛媛県立西条高校
久松　洋二	高知みらい科学館協議会委員	高知市
久松　洋二 山根　勝枝	四国西予ジオパーク推進協議会アドバイザー	四国西予ジオパーク推進協議会
小林　真吾	えひめの生物多様性保全推進委員会専門部会委員	愛媛県県民環境部
小林　真吾	松山市希少動植物保護対策専門委員	松山市
小林　真吾	今治環境パートナーシップ会議委員	今治市
川又　明徳	銅山峰のツガザクラ群落保存活用計画検討委員会副委員長	新居浜市
川又　明徳	愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会	愛媛県

⑷ 外部との合同調査・共同研究等

協力職員	依　頼　内　容	依頼機関
小林　真吾	自然共生サイトの所有・管理者への伴走支援・現地視察及びヒアリング	大王製紙株式会社
川又　明徳	昭和基地周辺地衣類の多様性について	国立極地研究所

⑷ その他の協力等

協力職員	依　頼　内　容	依頼機関
久松　洋二	新居浜市小・中学生ふるさと学習奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
久松　洋二	新居浜市小・中学生科学奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
久松　洋二	愛媛県高等学校総合文化祭自然科学専門部 講師	愛媛県高等学校総合文化祭実行委員会
久松　洋二	全国理工系学芸員会議副代表	全国理工系学芸員会議
久松　洋二	科学の甲子園ジュニア　愛媛大会　審査員	県教委義務教育課
小林　真吾	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省
小林　真吾	愛媛県環境マイスター	愛媛県県民環境部
小林　真吾	愛媛資料ネット委員	愛媛資料ネット
小林　真吾	愛媛県野生動植物保護推進員	愛媛県県民環境部
小林　真吾	高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク	高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク
小林　真吾	特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク　理事	特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク
川又　明徳	愛媛県野生動植物保護推進員	愛媛県県民環境部
川又　明徳	日本地衣学会 地域活性化委員、評議員	日本地衣学会
進　悦子	東予みらい人材活躍支援協議会 担当	東予みらい人材活躍支援協議会
進　悦子	電力アドバイザー	四国電力株式会社
鈴木　裕司	日本プラネタリウム協議会全国大会担当委員	日本プラネタリウム協議会
鈴木　裕司	日本プラネタリウム協議会プラネタリウム100周年記念事業実行委員	日本プラネタリウム協議会

⑹ 主催・共催事業

1） 企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」関連イベント　JAXA宇宙飛行士金井宣茂氏講演会

日　程	令和７年４月３日(木)　10:30～11:30
会　場	多目的ホール、第１研修室
参加者数	315人
内　容	2017年12月から2018年６月にかけて、ISS第54次/第55次フライトエンジニアとして宇宙に168日間滞在した金井宇宙飛行士に、宇宙での食事や生活、健康管理について、実際に経験された際の思い出やエピソードを交えた講演会を行った。

2） 企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」関連ワークショップ「宇宙ボール」

日　程	令和７年４月５日(土)、６日(日)　10:00～12:00／13:00～15:30
会　場	エントランスホール
参加者数	80人
内　容	樹脂粘土で惑星のようなボールを工作した。

3） ○○のDeepな世界vol. 11　名犬たち

日　　程	令和７年４月５日(土)、６日(日)　11:30～12:00／14:00～14:30
会　　場	科学技術館サイエンス工房
参加者数	30人
内　　容	「タロとジロ」「ラーゲリの犬 クロ」「災害救助犬 夢之丞」のお話を紹介した。

4） 恐竜イベント「恐竜テラリウム」

日　　程	令和７年４月５日(土)、６日(日)　10:00～12:00／13:00～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	62人
内　　容	ハイドロボールを入れたビンにコケと恐竜消しゴムを入れ、テラリウムを工作した。

5） 特別展「食品サンプル展」関連ワークショップ「ゼリー消臭剤をつくろう」

日　　程	令和７年４月19日(土)～４月29日(火祝)の土日祝　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	436人
内　　容	保冷剤と吸水ビーズで、ゼリーのような消臭剤を工作した。

6） 特別展「食品サンプル展」関連イベント「ロウで天ぷらをつくろう」

日　　程	令和７年４月20日(日)、６月22日(日)　10:00～15:00
会　　場	科学実験室
参加者数	90人
内　　容	講師を招いてロウを溶かして天ぷらの衣を作り、食品サンプル（カボチャ・エビ）に付けて昔ながらの食品サンプルを作った。

7） 特別展「食品サンプル展」関連ワークショップ「ミニタルトキーホルダーをつくろう」

日　　程	令和７年４月26日(土)、27日(日)、29日(火祝)　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	180人
内　　容	ホイップクリームに見立てたコーキング剤を絞り、フルーツやクッキーをのせてオリジナルのミニタルトの食品サンプルを工作した。

8） 特別展「食品サンプル展」関連ワークショップ「フルーツサンデーをつくろう」

日　　程	令和７年５月３日(土祝)～５月６日(火振休)　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	220人
内　　容	本物そっくりなホイップクリーム（コーキング剤）を絞り、フルーツやアイスクリームをトッピングしてフルーツサンデーを工作した。

9） 特別展「食品サンプル展」関連ワークショップ「クリームソーダをつくろう」

日　　程	令和７年５月３日(土祝)～６月１日(日)の土日祝　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	2,779人
内　　容	クリア粘土と紙粘土を使い、小さなクリームソーダの食品サンプルを工作した。

10) GWイベント　わくわくミュージアム2025

日　　程	令和７年５月３日(土祝)～５月５日(月祝)
会　　場	ロータリー、屋外展示場
参加者数	1,000人
内　　容	ゴールデンウィーク特別イベントとして、巨大実験ショーを実施した。 5/3「ソーラークッキング」 5/4「虹の大実験」 5/5「巨大シャボン玉実験」

11) GWイベント　ワークショップ「葉っぱであそぼう！」

日　　程	令和７年５月４日(日祝)　14:00～16:00
会　　場	企画展示室前ロビー
参加者数	100人
内　　容	ゴールデンウィーク特別イベントとして、自然に親しむワークショップを実施した。 葉っぱをラミネートし、今年の「みどりの日」の日付が入ったしおりを工作した。

12) 特別展「食品サンプル展」関連イベント「お好み焼きカーリング」

日　　程	令和７年５月10日(土)～６月22日(日)　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	790人
内　　容	食品サンプルのお好み焼きストーンを、鉄板の上にある得点が貼ってある具材をめがけて滑らせた。

13) プラネタリウム企画「オカシなナゾトキ　宇宙（コスモス）パフェをつくっちゃおう」

日　　程	令和７年５月17日(土)、18日(日)、31日(土)、６月１日(日)、７日(土)、８日(日) 13:30～14:15
会　　場	プラネタリウム
参加者数	379人
内　　容	星座や星をスイーツに見立てて、星空でパフェを完成させる投影を行った。

14) 特別展「食品サンプル展」関連イベント「ねんドル岡田ひとみ　ねんど教室」

日　　程	令和７年５月31日(土)　10:30～11:30／14:00～15:00
会　　場	第１研修室
参加者数	128人
内　　容	NHK Eテレにて「おねんどお姉さんひとみ」「コネル」として出演中のねんドル 岡田ひとみさんを招き、親子でミニチュアフーズの「ワッフル＆アイスクリーム」を工作した。

15) 特別展「食品サンプル展」関連イベント「ねんドル岡田ひとみ　トークショー」

日　　程	令和７年５月31日(土)　12:00～12:30
会　　場	多目的ホール
参加者数	212人
内　　容	NHK Eテレにて「おねんどお姉さんひとみ」「コネル」として出演中のねんドル 岡田ひとみさんを招き、作品作りのコツをお話いただいたり、ねんど作品製作の実演を行った。

16) 特別展「食品サンプル展」関連ワークショップ「ホールケーキキーホルダーをつくろう！」

日　　程	令和７年６月７日(土)～６月22日(日)の土日　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	647人
内　　容	ホイップクリームに見立てたコーキング剤や、スポンジに見立てたフェルトで、キーホルダーキットの中にホールケーキの食品サンプルを工作した。

17) 初夏イベント　プラネタリウム企画「キッズプラネ」

日　　程	令和７年７月５日(土)～７月６日(日)　10:30～11:15／12:00～12:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	169人
内　　容	小さなお子さまを対象とした星空解説を行った。また、翌週から始まる特別展「ニホンカワウソ展」の内容も交えた解説を行った。

18) 初夏イベント「射的でゲット」

日　　程	令和７年７月５日(土)～７月６日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	59人
内　　容	輪ゴム鉄砲で吊るした的を狙い、景品をプレゼントした。

19) 初夏イベント「ぴかぴかうちわ」

日　　程	令和７年７月５日(土)～７月６日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	96人
内　　容	ライトが内蔵されたうちわにアクリルマーカーで絵を描き、オリジナルのうちわを工作した。

20) 初夏イベント「スカイスクリュー」

日　　程	令和７年７月５日(土)～７月６日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	16人
内　　容	ゴム動力で回転するプロペラ付きの飛行機を工作した。

21) 初夏イベント「笹クイズ＆笹に願い事を吊るそう」

日　　程	令和７年７月５日(土)～７月６日(日)　9:00～17:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	100人
内　　容	エントランスホールに竹を設置し、七夕飾りやお客様に書いてもらった短冊を吊るして飾り付けを行った。

22) 特別展「ニホンカワウソ展」関連イベント「なーしくん＆しんじょう君グリーディングイベント」

日　　程	令和７年７月12日(土)、13日(日)、８月14日(木)、15日(金) 10:30～11:00／13:30～14:00／15:30～16:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	7,356人
内　　容	ニホンカワウソをモデルにしたキャラクター「なーしくん」と「しんじょう君」と一緒に写真を撮ったり触れ合えたりするイベントを開催した。

23) 特別展「ニホンカワウソ展」関連ワークショップ「推しカワウソ缶」

日　　程	令和７年７月12日(土)～８月３日(日)、９月６日(土)～９月23日(火祝)の土日祝 10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	394人
内　　容	ラミネートされたカワウソの写真を貼り付けた缶を工作した。

24) 特別展「ニホンカワウソ展」関連ワークショップ「カワウソひみつガーデン」

日　　程	令和７年７月12日(土)～７月27日(日)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	132人
内　　容	カワウソのフィギュアがのった多肉植物の寄せ植えを工作した。

25) 特別展「ニホンカワウソ展」関連イベント「カワウソで一句詠んでみる」

日　　程	令和７年７月12日(土)～８月24日(日)　9:00～17:30 ※集計後、９月23日(火祝)まで結果を掲示
会　　場	企画展示室
参加者数	318人
内　　容	展示されたニホンカワウソをテーマに、俳句を詠んだ。

26) 特別展「ニホンカワウソ展」関連イベントNKU（ニホンカワウソ）43総選挙

日　　程	令和７年７月12日(土)～８月31日(日)　9:00～17:30 ※集計後、９月23日(火祝)まで結果を掲示
会　　場	企画展示室
出 席 者	2,729人
内　　容	館内に展示された43体のニホンカワウソの中から、〝推しカワウソ〞を選んで投票した。

27) 特別展「ニホンカワウソ」関連事業「3施設をめぐるスタンプラリー」

日　　程	令和７年７月12日(土)～９月23日(火祝)
会　　場	企画展示室
参加者数	1,182人
内　　容	同時期に生物の絶滅をテーマとした特別展を開催していた県内の２施設（新居浜市美術館、面河山岳博物館）と連携し、３施設をめぐる各施設の誘客促進と施設間連携の周知、県内交流人口の増加を目的としたスタンプラリーを開催した。

28) 電波教室　FMラジオをつくろう

日　　程	令和７年７月24日(木)　13:30～16:00
会　　場	第１研修室
参加者数	42人
内　　容	愛媛県電波適正利用推進員協議会の主催のイベント。手軽に作れるラジオの作成を通じて、電波や無線通信に親しみ、電波の正しい利用について学んだ。

29) 南極イベント

日　　程	令和７年７月26日(土)　13:15～16:00
会　　場	多目的ホール
参加者数	85人
内　　容	講演会「雪と氷の世界の、温かいはなし」 第57次南極地域観測隊 越冬隊の福田真人氏を招き、講演会を行った。 南極・昭和基地ライブトーク 国立極地研究所主催のイベントに参加。昭和基地と極地研、国内の連携機関をZoomでつないで、越冬中の隊員が南極を紹介し、各連携機関の参加者からの質問も募った。

30) プラネタリウム特別投影「タロとジロと南極探検」

日　　程	令和７年７月26日(土)、27日(日)　10:30～11:15／12:00～12:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	412人
内　　容	国立極地研究所のイベントに併せて開催。カラフト犬のタロとジロが、南極の星座や自然現象、生き物を紹介し、クイズを織り交ぜ幼児から楽しんで参加できるプログラムを組んだ。国立極地研究所より資料を借用し、実際の南極の映像を投影した。

31) 夏休み限定イベント「トリケラトプスに乗ろう」

日　　程	令和７年８月１日(金)～31日(日)　9:30～12:00／13:00～16:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	2,632人
内　　容	夏休み限定のイベントとして、動くトリケラトプスに乗るイベントを開催した。

32) プラネタリウム企画　「星空スタディ」

日　　程	令和７年８月１日(金)～３日(日)、８日(金)～11日(月祝)、21日(木) 14:00～14:45／15:00～15:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	933人
内　　容	夏休み限定のプラネタリウム企画として、小学校4年生の理科で習う星や月について、プラネタリウムならではの大迫力の演出で紹介した。

33) 夏休み限定イベント「恐竜を釣ってゲット」

日　　程	令和７年８月２日(土)～31日(日)の土日祝　10:00～12:00／13:30～15:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	2,124人
内　　容	夏休み限定のイベントとして、恐竜のフィギュアが入った袋にクリップをつけ、マグネットの付いた釣り竿で釣った。

34) 第11回中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会

日　　程	令和７年８月３日(日)　10:00～15:45
会　　場	多目的ホール、第１研修室、第２研修室
参加者数	119人
内　　容	中高生を対象に科学研究・環境保全・産業に関する研究（啓発活動を含む）の発表大会を開催した。愛媛県を中心に中四国から、ポスター部門52組、ステージ部門19組の発表枠を上回る応募があったため、事前審査を行い、22校からポスター部門27組、ステージ部門８組が発表を行った。各部門において最優秀・有馬朗人賞１組、知事賞１組・県教育委員会教育長賞１組、加えてポスター部門では、審査員特別賞１組を表彰した。

35) 夏休み自由研究相談所

日　　程	令和７年８月７日(木)、８日(金)　10:00～12:00／14:00～16:00
会　　場	図書室
参加者数	14人
内　　容	夏休み特別イベントとして､自由研究に悩んでいる小中学生に学芸員たちが科学工作、実験、岩石、化石、動物、植物、愛媛の産業の分野のアドバイスをした。

36) 特別展「ニホンカワウソ展」関連イベント「カワウソリレートークショー」

日　　程	令和７年８月９日(土)、23日(土)　13:00～16:00
会　　場	第１研修室
参加者数	81人
内　　容	今回の展示にご協力いただいた、奥田ゆう氏・舞田幹次氏・谷地森秀二氏・千葉昇氏を講師に招き、講演を行った。

37) 特別展「ニホンカワウソ展」関連ワークショップ「カワウソアクリルキーホルダー」

日　　程	令和７年８月９日(土)～８月30日(土)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	351人
内　　容	展示されているニホンカワウソの写真をアクリルケースにはさみ、オリジナルのアクリルキーホルダーを工作した。

38) 夏だ！おもしろ実験まつり

日　　程	令和７年８月13日(水)～15日(金)　11:00～11:40
会　　場	多目的ホール
参加者数	600人
内　　容	多目的ホールで参加無料の巨大実験ショーを行った。 8/13（水）　世界最強！永久磁石の大実験 8/14（木）　スーパー CO_2実験ショー 8/15（金）　めざせ！発電王　～みんなで楽しく発電実験～

39) 教員のための博物館の日2025　in愛媛県総合科学博物館

日　　程	令和７年８月21日(木)　13:30～17:30
会　　場	常設展示棟、プラネタリウム、第１研修室、第２研修室、科学実験室、サブエントランス
参加者数	21人
内　　容	教員を対象にした授業や校外学習に役立つ研修を実施した。体験プログラムは、プラネタリウム天体授業、博物館見どころ紹介展示ツアー、授業に役立つ科学実験・実習講座、学習用貸出キット紹介の４つを実施した。プラネタリウム天体授業では、天文の授業で活用できる、スタッフの生解説による学習番組を投影した。プラネタリウムならではの迫力のある演出で、夏の星や月などを紹介した。展示ツアーでは、自然館、科学技術館、産業館において、各専門の学芸員が見どころを分かりやすく解説した。授業に役立つ科学実験･実習講座は、Aコース「望遠鏡の操作練習と宇宙の天体紹介」、Bコース「みんなで予想！コロコロレース」、Cコース「災害に強い通信の実習」に分かれて実施した。Aコースでは望遠鏡を操作して太陽を観察する体験、Bコースでは回転の慣性やエネルギー保存の法則について楽しく学べる実験の体験、Cコースでは災害伝言ダイヤル171の操作体験を提供した。また、博物館から貸し出している学習用貸出キットの紹介を行った。

40) 特別展「ニホンカワウソ展」関連ワークショップ「カワウソカボションマグネット」

日　　程	令和７年９月６日(土)～９月23日(火祝)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	193人
内　　容	展示されているニホンカワウソの写真を、カボションカットした樹脂の下に入れ、そこにマグネットを貼り付けた。

41) 特別展「ニホンカワウソ展」関連イベント〝幻ちゃん〟グリーディングイベント

日　　程	令和７年９月20日(土)　10:30～11:00／13:30～14:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	801人
内　　容	ニホンカワウソをモデルにしたキャラクター「幻ちゃん」と一緒に写真を撮ったり触れ合えたりするイベントを開催した。

42) ロビー展「森に親しむ博物館」展示解説会

日　　程	令和７年９月21日(日)　12:00～14:00
会　　場	多目的ホール前ロビー
参加者数	50人
内　　容	ロビー展「森に親しむ博物館」を企画・担当した学芸員による解説を行った。

43) プラネタリウム企画「ほしぞらパレット」

日　　程	令和７年９月27日(土)～28日(日)、10月３日(金)～５日(日)、11日(土)～13日(月祝) 15:00～15:45／16:00～16:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	296人
内　　容	「土星」をテーマに、今年「消える」といわれている土星の特徴ともいえる環について解説した。

44) ３連休ワークショップ「もこデコボールペン」

日　　程	令和７年10月11日(土)～13日(月祝)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	36人
内　　容	ボールペンにグルーガンで毛糸を巻きつけ、ビーズで飾り付けを行い、オリジナルのペンを工作した。

45) ３連休ワークショップ「ななないろライト」

日　　程	令和７年10月11日(土)～13日(月祝)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	54人
内　　容	様々なパターンで光るペンライトにカバーを被せ、飾り付けを行った。

46) 企画展「ホログラム」関連ワークショップ「キラキラ景色の万華鏡」

日　　程	令和７年10月18日(土)～11月９日(日)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	118人
内　　容	3枚の鏡とビー玉で筒を組み、筒をのぞくとビー玉を通して筒の外の景色がキラキラと輝くテレイドスコープを工作した。

47) 企画展「宇宙望遠鏡」関連ワークショップ「星のレジンキーホルダー」

日　　程	令和７年10月18日(土)～26日(日)の土日　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	48人
内　　容	UVレジンを星型のフレームに流し込み、オリジナルのキーホルダーを工作した。

48) 企画展「ホログラム」関連イベント「ホログラフィ特別講演会」

日　　程	令和７年10月19日(日)　14:00～16:00
会　　場	第１研修室
参加者数	28人
内　　容	展示にご協力いただいた関西大学システム理工学部の松島恭治氏を講師に招き、超高解像度コンピュータホログラフィについて、講演を行った。

49) 開館記念イベント「紙粘土でアンモナイト」

日　　程	令和７年11月１日(土)～３日(月祝)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	129人
内　　容	2色の紙粘土こねて、本物のアンモナイトでつくった型に入れてアンモナイト型マグネットを工作した。

50) 企画展「宇宙望遠鏡」関連イベント「手作り望遠鏡で月を見よう」

日　　程	令和７年11月１日(土)　16:00～18:00
会　　場	オリエンテーションルーム・ロータリー
参加者数	20人
内　　容	16倍の手作り望遠鏡キットで望遠鏡を作成し、月を観察した。望遠鏡の仕組みや使い方、直近で見られる天文現象についての話も紹介した。

51) 科学技術館新展示物「災害用伝言ダイヤル171訓練機で体験しよう！」設置記念イベント

日　　程	令和７年11月１日(土)　13:00～16:00
会　　場	サイエンス工房
参加者数	50人
内　　容	災害用伝言ダイヤル171訓練機を利用して伝言の録音・再生を行った。 協力：公益財団法人　日本公衆電話会

52) 開館記念イベント　常設展無料開放

日　　程	令和７年11月２日(日)　9:00～17:30
会　　場	常設展示室
参加者数	1,382人
内　　容	博物館の開館31周年を記念して、常設展示室を無料開放した。

53) 開館記念イベント「ジュズダマストラップづくり」

日　　程	令和７年11月２日(日)　14:00～16:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	102人
内　　容	ジュズダマを使ったストラップを工作した。

54) 開館記念イベント　講演会「生物がすむ果てはどこだ？」

日　　程	令和７年11月３日(月祝)　10:30～12:00
会　　場	第１研修室
参加者数	70人
内　　容	国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)高知コア研究所の上席研究員である諸野祐樹氏を講師に招き、諸野氏がされている研究について貴重な研究資料や実験を通して講演会を行った。

55) 企画展「宇宙望遠鏡」関連ワークショップ「宇宙ボトル」

日　　程	令和７年11月15日(土)～30日(日)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	140人
内　　容	ボトルにラメを混ぜこんだクリア粘土を入れ､宇宙空間に見立てたボトルを工作した。

56) 企画展「ホログラム」関連ワークショップ「ふしぎミラーボックス」

日　　程	令和７年11月15日(土)～30日(日)の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	36人
内　　容	アクリルボックスとハーフミラーを使用して、ボックス上部から光を当てると中に置いたオブジェクトが増えて見える無限鏡を工作した。

57) プラネタリウム企画「全国一斉！熟睡プラ寝たリウム」

日　　程	令和７年11月15日(土)～24日(月振休)の土日祝　15:00～15:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	266人
内　　容	プラネタリウムで寝てもらうことを目的として、勤労感謝の日に全国で開催されるイベント。勤労感謝の日の前後の土日と併せて６日間開催した。

58) 企画展「宇宙望遠鏡」関連プラネタリウム特別投影「宇宙望遠鏡が見た景色」

日　　程	令和７年12月６日(土)～７日(日)、令和８年１月10日(土)～12日(月祝) 15:00～15:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	313人
内　　容	開催中の企画展について、展示担当の学芸員がプラネタリウムで解説を行った。

59) 企画展「ホログラム」関連イベント「オリジナルホログラムをつくろう」

日　　程	令和７年12月７日(日)　13:00～16:00
会　　場	科学実験室、科学工作室
参加者数	９人
内　　容	元千葉大学工学部技術専門職員の酒井朋子氏を講師に招き、レーザー光を使い、オリジナルのホログラムを記録・現像した。

60) クリスマスイベント関連ワークショップ「光るお城を作ろう」

日　　程	令和７年12月６日(土)～14日(日)の土日　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	18人
内　　容	プラスチックダンボールを成形し中にほんわかライトを入れたランタンを工作した。

61) クリスマスイベント関連ワークショップ「恐竜のクリスマスオーナメント」

日　　程	令和７年12月６日(土)～21日(日)の土日　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	202人
内　　容	透明なカプセルに、恐竜の消しゴムを配置し、クリスマスの装飾を行ってツリーに飾るオーナメントを工作した。

62) プラネタリウム年末特別投影「Flowy Night　時つむぐ星のかけら」

日　　程	令和７年12月13日(土)～28日(日)の土日　15:00～15:45
会　　場	プラネタリウム
参加者数	317人
内　　容	「時間」をテーマに、冬の星空や流星群、惑星、宇宙について紹介した。

63) クリスマスイベント関連ワークショップ「もこもこクリスマスリース」

日　　程	令和７年12月20日(土)～21日(日)の土日　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	43人
内　　容	モールドール用モールを使ってリースを作り、グルーガンでクリスマス装飾を行った。

64) 企画展「宇宙望遠鏡」関連イベント「星空写真撮影講座」

日　　程	令和７年12月20日(土)　17:30～19:00
会　　場	第１研修室、ロータリー
参加者数	６人
内　　容	企画展「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」担当学芸員が、星空を撮影するコツについて解説し、実際にカメラやスマートフォンを使用して実践した。

65) クリスマス関連イベント「黒川遼 マジックショー」

日　　程	令和７年12月20日(土)　11:00～12:00／14:00～15:00
会　　場	多目的ホール
参加者数	198人
内　　容	新居浜市出身のプロマジシャン黒川遼氏による「変面」と「マジックショー」を開催した。

66) 企画展「宇宙望遠鏡」関連ワークショップ「星のマーブルクレヨン」

日　　程	令和７年12月27日(土)～28日(日)、令和８年１月10日(土)～12日(月祝) 10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	49人
内　　容	湯煎で溶かしたクレヨンを星の型に流し込み、星型のマーブルクレヨンを工作した。

67) 企画展「ホログラム」関連ワークショップ「琉球ガラスの万華鏡」

日　　程	令和７年12月27日(土)～28日(日)、令和８年１月10日(土)～12日(月祝) 10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	96人
内　　容	琉球ガラスの入ったテストチューブに、三枚の鏡を組んだ鏡筒を合わせた万華鏡を工作した。

68) 企画展「ホログラム」関連イベント「ギャラリートーク」

日　　程	令和８年１月２日(金)、10日(土)、12日(月祝)　15:30～16:00
会　　場	企画展示室
参加者数	41人
内　　容	企画展を担当した専門学芸員による展示解説を行った。参加者には、ホログラムシールをプレゼントした。

69) お正月関連イベント「福袋を釣ってゲット」

日　　程	令和８年１月２日(金)、３日(土)　9:00～10:30
会　　場	エントランスホール
参加者数	155人
内　　容	お正月を楽しめるグッズが入った福袋を釣ってもらった。

70) お正月関連イベント「ジオード割で運試し」

日　　程	令和８年１月２日(金)～４日(日)　9:00～11:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	95人
内　　容	ジオード(晶洞)を割って、中にある水晶を見るイベントを行った。

71) お正月関連ワークショップ「開運アイテム 蹄鉄ストラップ」

日　　程	令和８年１月２日(金)～12日(月祝)の土日祝　13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	182人
内　　容	蹄鉄のチャームに、ビーズを飾り付け、オリジナルの開運アイテムを制作した。

72) お正月関連イベント「さがしてみよう　化石発掘体験」

日　　程	令和８年１月２日(金)～12日(月祝)の土日祝　9:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	510人
内　　容	砂の中に埋まった化石をシャベルで発掘するイベントを行った。

73) お正月関連イベント「黒川遼マジックショー」

日　　程	令和８年１月３日(土)　11:00～12:00／14:00～15:00
会　　場	多目的ホール
参加者数	367人
内　　容	新居浜市出身のプロマジシャン黒川遼氏による「変面」と「マジックショー」を開催した。

74) お正月関連イベント「マシュマロを焼こう」

日　　程	令和８年１月６日(火)　12:00～13:30
会　　場	ロータリー
参加者数	34人
内　　容	博物館ロータリーに焚き火台を設置し、マシュマロを焼いた。

75) ○○のDeepな世界vol. 9「四国に残る狸のお話」

日　　程	令和８年１月10日(土)～12日(月祝)　11:30～12:00／14:00～14:30
会　　場	展示棟４階 自然館 愛媛の自然コーナー
参加者数	82人
内　　容	愛媛県を中心とした、四国に残る狸のお話を紹介し、野生動物との付き合い方を考えてもらった。祀られた神社や祠に出向いて写真を撮り、地元とのつながりを感じられる内容とした。

76) 企画展「ゲノム」関連ワークショップ「DNAシルクプリントスクリーン」

日　　程	令和８年２月14日(土)～15日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	17人
内　　容	シルクスクリーンでオリジナルキャラクターをプリントした巾着袋を工作した。

77) 企画展「ゲノム」関連ミニ実験教室「マイクロピペットで実験しよう」

日　　程	令和８年２月21日(土)、３月１日(日)、15日(日)　11:30～12:00
会　　場	企画展示室
参加者数	15人
内　　容	マイクロピペットを使って、簡単な実験を行った。

78) 企画展「ゲノム」関連ワークショップ「ふわふわ分子くん」

日　　程	令和８年２月21日(土)～３月15日(日) の土日祝　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	132人
内　　容	フェルトのボールで分子モデル(水、アンモニア、二酸化炭素)を工作した。

79) 2月連休イベント「マシュマロを焼こう」

日　　程	令和８年２月21日(土)、23日(月祝)　10:00～12:30
会　　場	ロータリー
参加者数	124人
内　　容	博物館ロータリーに焚き火台を設置し、マシュマロを焼いた。

80) 企画展「ゲノム」関連ワークショップ「二重らせんパラコードを編もう」

日　　程	令和８年２月22日(日)　13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	17人
内　　容	２色のパラコードを２重らせん状に編んで、キーホルダーを工作した。

81) 2月３連休関連イベント「手作り望遠鏡で月を見よう」

日　　程	令和８年２月22日(日)　16:00～18:00
会　　場	オリエンテーションルーム、ロータリー
参加者数	４人
内　　容	16倍の手作り望遠鏡キットで望遠鏡を作成し、月を観察した。望遠鏡の仕組みや使い方、３月３日に見られる皆既月食についても紹介した。

82) 企画展「ゲノム」関連イベント「開花予測キットを使ってサクラの開花時期を予測しよう」

日　　程	令和８年３月20日(金祝)　11:00～12:00
会　　場	科学実験室
参加者数	10人
内　　容	博物館周辺のサクラ(ソメイヨシノ)について、かずさDNA研究所らが開発したキットを使ってDNAの分析をすることによりいつ咲くのかを予測した。

83) 春の特別イベント「発見！チリメンモンスター」

日　　程	令和８年３月20日(金祝)～22日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	79人
内　　容	ちりめんじゃこの中に隠れた"チリモン"を見つけ、シートに分類してオリジナルの"チリモン図鑑"を制作した。身近なものから、生物の多様性について学べるイベントとなった。

84) 春の特別イベント「怪盗Xからの挑戦状」

日　　程	令和８年３月20日(金祝)～22日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール、常設展示室
参加者数	109人
内　　容	博物館内に隠されたキーワードをヒントに、謎解きに挑戦した。正解者には、景品としてガチャガチャを回してもらった。

85) 春の特別イベント「間近で観察　身近な生き物」

日　　程	令和８年３月20日(金祝)～22日(日)　11:00～12:00
会　　場	第１研修室
参加者数	65人
内　　容	今治西高校の白川忠興氏を講師に招き、ダンゴムシやカエルといった身近な生き物の観察を行った。

86) 春の特別イベント「ホネホネ教室」

日　　程	令和８年３月21日(土)～22日(日)　11:00～12:00
会　　場	第１研修室
参加者数	50人
内　　容	岡山理科大学の奥田ゆう氏を講師に招き、動物の骨をテーマにクイズや骨パズルを通じて、動物への興味関心を高める教室を開催した。

87) 企画展「ゲノム」関連ミニ実験教室「自分の細胞を見てみよう」

日　　程	令和８年３月26日(木)、29日(日)　11:30～12:00
会　　場	企画展示室
参加者数	10人
内　　容	顕微鏡を使って、簡単な実験を行った。

88) 企画展「ゲノム」関連ワークショップ「蓄光スライム」

日　　程	令和８年３月28日(土)、29日(日)　10:00～11:30／13:30～15:00
会　　場	エントランスホール
参加者数	95人
内　　容	蓄光パウダーを入れた暗闇で光るスライムを工作した。

(7) 子育てサポート事業

家族で参加できる体験プログラム事業を実施することにより、自然科学に関する子どもの学習意欲の育成や、家族間の交流を図ることで、安全かつ健全な子育て支援を行った。

＜みんなで一緒に恐竜体操＞

毎週日曜日の11：00に実施（49回3,563人）

※ 団体対応プログラム（10月25日、３月７日）

(8) 印刷物の刊行

発行年月	名　称	仕　様	発行部数
令和７年９月	年　報	Ａ４ 99頁	500

(9) 博物館実習の実施

博物館法に定められた学芸員資格の取得に必要な実習を、大学より要請のあった学生を受け入れて実施した。

1) 館務実習

ア　受入実習生：４名

愛媛大学(２名)

高知大学(１名)

京都府立大学大学院(１名)

イ　受入期間：令和７年８月21日(木)～９月１日(月)　合計12日間
※休みが２日間(８月26日・８月27日)

ウ　カリキュラム

８月21日（木）	開講式、挨拶、自己紹介と抱負 オリエンテーション、博物館概要説明 接遇研修、課題説明 館内・プラネタリウム見学	８月28日（木）	企画展設計のための特別展見学 サイエンスショー
８月22日（金）	プラネタリウム原稿作成 調査・研究について 資料収集整理	８月29日（金）	自然系展示について 資料整理・調査研究 キャプション作成
８月23日（土）	安全管理 科学系展示について	８月30日（土）	産業資料の収集・保管について 調査研究
８月24日（日）	科学実験教室「サイエンスサバイバル術」事前研修と補助	８月31日（日）	課題作成「動物」
８月25日（月）	プラネタリウム投影実習 課題作成「動物」	９月１日（月）	課題作成「企画展の基本設計」 課題発表、課題の意見交換 実習を終えての感想交換 閉講式、実習録のまとめ

2)　見学実習

ア　受入実習生　19名（愛媛大学）

イ　受　入　日　令和７年10月25日(土)

ウ　実習内容　常設展、企画展、収蔵庫等の見学

⑽　友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的とする愛媛県総合科学博物館友の会を平成７年10月１日に設置し、その活動について育成支援を行った。

ア　友の会講座

開講日	開講時間	場所	テーマ・内容	講師	受講者数(人)
令和７年５月３日（土祝）	11:00～12:00	屋外展示場	天体観望会「太陽と金星」	天文クラブ	受講者・一般含め139
６月１日（日）	10:00～14:00	科学実験室	科学教室「パネル型ソーラークッカーを作って太陽でお料理しよう」	科学クラブ	7
６月21日（土）	13:30～14:30	科学実験室	科学教室「カンタンオルゴールを作ろう」	科学クラブ	13
８月11日（月祝）	13:00～15:00	科学実験室	科学教室「お家でキラキラ万華鏡プロジェクター」	科学クラブ	21
８月30日（土）	20:00～21:30	立体駐車場	天体観望会「月と夏の星」	天文クラブ	20
９月23日（火祝）	13:30～15:30	科学実験室	科学教室「うそ発見器を作って楽しもう」	科学クラブ	15
10月25日（土）	18:30～20:00	プラネタリウム	天体観望会「土星と秋の星」	天文クラブ	7
10月26日（日）	10:00～12:00	博物館うら山	自然教室「博物館 うら山探検隊」	自然クラブ	14
11月29日（土）	18:30～20:00	プラネタリウム 立体駐車場	天体観望会「環が消えた土星」	天文クラブ	14
12月13日（土）	18:30～20:00	立体駐車場	天体観望会「土星と流れ星」	天文クラブ	中止

開講日	開講時間	場所	テーマ・内容	講師	受講者数(人)
令和８年 １月24日 (土)	18:30～ 20:00	プラネタリウム	天体観望会「木星と冬の星」	天文クラブ	14

イ　特別展見学会

開講日	開講時間	場所	テーマ・内容	講師	受講者数(人)
令和７年 ７月19日(土)	11:00～11:30 13:30～14:00	企画展示室	特別展「もっと知りたい!史上最大のニホンカワウソ展」見学会	自然研究グループ学芸員	9

ウ　研修旅行

開講日	開講時間	内容（場所）	受講者数(人)
令和８年 １月25日(日)	13:00～15:00	伯方の塩工場見学（今治市）	16

エ　夏休み自由研究相談所

開講日	開講時間	場所	講師	相談数(件)
令和７年 ８月７日(木)・８日(金)	10:00～12:00 14:00～16:00	図書室	博物館職員・友の会会員	14

オ　クラブ活動

天文クラブ：天文に興味を持っている会員が集まり、月１回の例会や友の会天体観望会の企画・運営等の活動を行っている。

例会開催日	内容	参加者(人)
令和７年４月12日	令和７年度の年間活動計画について　他	6
５月３日	令和７年度の年間活動計画について、天体観望会について、塩塚高原キャンプについて 他	8
６月14日	７月の例会について、塩塚高原キャンプについて 他	7
７月12日	８月の天体観望会について、天体観望会について、塩塚高原キャンプについて 他	8
８月９日	９月の例会について、天体観望会について	9
９月27日	10月の例会について、天体観望会について 他	5
10月25日	11月の例会について、天体観望会について	4
11月29日	12月の例会について、天体観望会について	3
12月13日	１月の例会について、天体観望会について	6
令和８年１月24日	２月の例会について、天体観望会について	8
２月14日	３月の例会について、室戸キャンプについて	6
３月14日	４月の例会について、次年度活動計画について 他	8

科学クラブ：工作や実験に興味を持っている会員が集まり、月１回の例会や友の会工作教室等の企画・運営等の活動を行っている。

例　会　開　催　日	内　　容	参加者(人)
令和７年４月13日	レジンでキーホルダーを作ろう	50
５月11日	ペットボトルロケットを作って飛ばそう	32
６月８日	人工イクラを作ろう ６年度活動報告、収支決算、７年度活動計画	45
７月13日	輪ゴム鉄砲を作ろう	38
８月17日	風船スライム・磁性スライムを作ろう	42
９月21日	缶コプターを作ろう　パート４	40
10月12日	第17回友の会科学クラブ 紙飛行機競技大会	27
11月９日	ピョコピョコカプセルで迷路に挑戦！	34
11月22日	「石鎚ふれあいの里」懇親会	42
12月20日	凧を作って飛ばそう	25
令和８年１月11日	コトコトきつつきを作ろう	14
２月14日	たき火(自然クラブ合同例会)	22
３月14日	水引でアクセサリーを作ろう	37

自然クラブ：野鳥や植物等、自然に興味を持っている会員が集まり、月１回博物館周辺等で自然観察会を行っている。

例　会　開　催　日	内　　容	参加者(人)
令和８年２月14日	たき火(科学クラブ合同例会)	82

カ　令和７年度友の会会員数

小･中学生会員(人)	高校生会員(人)	大人会員(人)	家族会員(組)	賛助会員(口)	総　　計
10	0	46	344	24	424

キ　令和７年度友の会役員

(ｱ) 理　事

区　　分	氏　　名	経　　歴
会　　長	立石　　康	元松山市生石小学校　校長
副　会　長	伊藤　文雄	元新居浜市立船木中学校ひびき分校 教諭
理　　事	越智　　学	(公財)えひめ東予産業創造センター専務理事
〃	近藤　俊彰	元今治北高等学校 教頭
〃	渡辺　浩志	新居浜西高等学校（理科）
〃	和田　英夫	総合科学博物館 館長

(イ) 監　事

氏　　名	経　　歴
高橋　正明	高橋正明法律事務所弁護士
橋田　直久	(一社)えひめ産業資源循環協会　専務理事

(ウ) 顧　問

氏　　名	経　　歴
西山　慶尚	元県総合教育センター科学教育部長

⑾ 博物館の情報化

当館の施設・事業・利用案内等を紹介することを目的として、平成12年４月に独自のホームページを開設した。(http：//www.sci-museum.niihama.ehime.jp)。その後、平成21年４月から、指定管理者制度導入によりアドレスを変更、令和２年11月にはホームページをリニューアルした。(https：//www.i-kahaku.jp/)

ホームページ（Facebook、Twitter、Instagram）では、特別展や企画展、科学イベントなどについての最新情報を掲載や各種講座、イベント等の募集を行い、You Tubeでは「おうちでやってみよう！おもしろサイエンス」などの動画を定期的に配信した。

⑿ マスメディアへの対応

施設概要や特別展、企画展、科学イベント等について、放送局、新聞社・出版社等の取材対応を行った。また、各種事業の実施及び展示物入れ替え等の際には、随時県庁及び新居浜市の記者クラブ、西条市、四国中央市の定期広報、その他各種情報誌等を通じ広くＰＲを行った。

⒀ ボランティアへの対応

博物館イベント補助などとして、一般市民のボランティア参加を受け入れた。

登録人数　　118名
のべ活動時間　　223時間

⒁ 外部団体からの助成

なし

⒂ NPO団体等との連携

募集を行ったが、応募団体がなく実施せず。

5　プラネタリウムの運営

前半約20分は「季節の星座」生解説を行い、後半25分は「宇宙・天文」、「恐竜」などに関する番組（フルオート）を投影した。

⑴ 投影回数・時間

	１回目	２回目	３回目	４回目	５回目
平日	10:30 ※1	12:00	14:00	16:00	－
休日(土日祝) ＧＷ期間 夏休み(お盆)期間	10:30	12:00	13:30	15:00	16:30

※１　平日の1回目は団体専用（団体予約が入っている場合のみ行う）

⑵ 番組・投影期間

通年	忍たま乱太郎の宇宙大冒険withコズミックフロント	令和６年４月20日～令和７年５月６日
通年	ディノ・ダナ	令和６年７月20日～令和７年７月18日
通年	クジラが星に還る海	令和６年10月１日～令和７年12月26日
通年	3-2-1 Liftoff！ ハムスターのスペースアドベンチャー！	令和７年４月22日～令和８年４月17日
通年	発見！南極に恐竜がいた！	令和７年７月19日～令和８年７月17日
通年	スターリースカイ	令和７年10月１日～令和８年９月30日
通年	南極大陸　宇宙に開かれた窓	団体専用
通年	むしむし星空大行進	団体専用
通年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通年	スター・オブ・ファラオ　～ファラオの星～	団体専用
通年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた　たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ４４４ －空のフシギをさぐれ！－	団体専用

⑶ メンテナンスによる投影休止期間

令和７年６月24日（火）、25日（水）
令和７年９月25日（木）、26日（金）
令和８年２月17日（火）、18日（水）

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

⑴ 東予コミュニティ・カレッジの開催支援

東予地域の人々を対象に、心の豊かさや教養を高め、実社会において必要な知識や技術の習得をしていただく為、県生涯学習センターが主催する「東予コミュニティ・カレッジ」の会場を提供した。

区　　分	内　　容	実施日	参加人数
東予コミカレ１ 現代教養講座 （放送県民大学）	記紀で読む日本神話	9／7	32人
	異国で学びそして思ったこと―韓国と日本の交流を通して― 学び舎えひめ 対象講座	10/26	33人
	「満州国」の日本語教育―抵抗する教師たち― 学び舎えひめ 対象講座	12/7	31人

区　　分	内　　容	実施日	参加人数
東予コミカレ２ 健康･福祉･介護講座	リハビリレクリエーションによる認知症予防 学び舎えひめ 対象講座	7／16	44人
	大腸がんについて 学び舎えひめ 対象講座	9／3	44人
	介護から学んだ老い方・死に方 学び舎えひめ 対象講座	10/22	34人
	睡眠と健康・認知症の関係 学び舎えひめ 対象講座	11/5	34人
	乳がんについて 学び舎えひめ 対象講座	12/10	23人

区　　分	内　　容	実施日	参加人数
東予コミカレ３ ふるさと おもしろ講座	えひめ、女性の生活誌 学び舎えひめ 対象講座	9／11	25人
	昭和の松野町のくらしと産業② 学び舎えひめ 対象講座	9／18	27人
	昭和の松野町のくらしと産業③ 学び舎えひめ 対象講座	10/9	28人
	現地学習会（松山市コース） 学び舎えひめ 対象講座	10/23	20人

区　　分	内　　容	実施日	参加人数
東予コミカレ４ 歴史講座	正倉院文章と伊予国―写経師久米熊鷹を中心に― 学び舎えひめ 対象講座	7／27	55人
	過去の南海トラフ地震―東予地方の被害を知る― 学び舎えひめ 対象講座	8／31	63人
	古地図で歩く愛媛の歴史 学び舎えひめ 対象講座	10/5	52人
	唐招提寺の創建―鑑真と如宝―	12/14	46人

区　　分	内　　容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ５ 現代社会講座	豊かな老後のために知っておきたいお金の話 学び舎えひめ 対象講座	7/ 23	53人
	100分で理解する「金利」の知識―悪徳ローンを見抜く― 学び舎えひめ 対象講座	8/ 27	48人
	遺言書の種類と作り方 学び舎えひめ 対象講座	11/ 19	42人
	不動産相続におけるトラブルの解決方法や回避策 学び舎えひめ 対象講座	12/ 17	41人

区　　分	内　　容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ６ 愛媛の博物館・ 研究機関講座	杉浦非水と写真 学び舎えひめ 対象講座	7 / 11	32人
	金にならない金の話 学び舎えひめ 対象講座	8 / 8	31人
	水野広徳～非戦の論陣を張った軍事評論家～ 学び舎えひめ 対象講座	10/ 31	24人
	四国への新幹線導入に向けた取組みについて 学び舎えひめ 対象講座	12/ 12	24人

区　　分	内　　容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ７ オンライン講座	シニア世代の食事のコツ 学び舎えひめ 対象講座	7 / 25	16人
	ペット防災はペットを真持だけじゃない？～ペット防災からみんなが助かる防災について考える～ 学び舎えひめ 対象講座	11/ 18	6人

⑵ 生涯学習情報の提供

東予地区における生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用して、生涯学習に関する情報の提供を行うとともに、生涯学習に関する相談（愛媛県全域）に応じた。

生涯学習相談件数　37件

⑶ 施設の提供

生涯学習活動の拠点施設として、多目的ホール、第１研修室、第2研修室、多目的ホールなどの施設を有料で開放した。

利用状況

区　　分	件　数(件)	人　数(人)	利　用　内　容
多目的ホール、控室、 第１研修室、第２研修室、 オリエンテーションルーム、 会議室、企画展示室	229	8,666	ピアノ発表会、講演会、 会議、研修会、講習会等

⑷ 図書室の開放

館内の図書室に、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており閲覧、貸出を行っている。

利用状況

図書室入室者数(人)	図書貸出冊数(冊)
1,168人	0冊

Ⅲ 予　　算

令和７年度及び８年度予算（当初予算）
平成21年度から指定管理者制度導入に伴い、県直営部門と指定管理者に分けて執行される。
令和７年度における指定管理委託料には、改修工事費用が加算された。

（令和７年度）　　（千円）

区　　分			当初予算額
指定管理者		委託料	298,174
	内訳	博物館維持管理費	192,040
		展示事業費	13,169
		普及啓発事業費	14,561
		収集整理保存・調査研究補助事業費	2,614
		空調設備分解整備委託料	60,500
		非常放送設備更新修繕委託料	13,365
		電話設備更新修繕委託料	1,925
県		博物館管理運営費	11,119
	内訳	博物館管理費	6,110
		展示事業費	15
		普及啓発事業費	255
		資料収集・整理・調査研究事業費	4,091
		魅力向上事業費	648
	「森に親しむ博物館」開催事業費		4,015
県　　合　　計			15,134
総　　計			313,308

（令和８年度）　　（千円）

区　　分			当初予算額
指定管理者		委託料	228,886
	内訳	博物館維持管理費	192,388
		展示事業費	19,400
		普及啓発事業費	14,100
		収集整理保存・調査研究補助事業費	3,000
県		博物館管理運営費	10,639
	内訳	博物館管理費	6,973
		展示事業費	15
		普及啓発事業費	255
		資料収集・整理・調査研究事業費	3,396
		魅力向上事業費	648
	「森に親しむ博物館」開催事業費		4,015
	産業館エネルギー展示事業費		1,595
県　　合　　計			16,249
総　　計			245,135

Ⅳ 令和８年度事業計画 （2026年4月1日時点）

博物館機能

1 資料収集・整理・保存

⑴ 資料の収集
自然史（動物、植物、地学）、科学技術、愛媛の産業に関する資料等を広く総合的に収集する。

⑵ 資料の整理
資料のデータ整理・管理に導入したクラウド型データ管理システムを随時更新する。

⑶ 資料の保存管理
収集した資料は、それぞれの特性に応じた適切な方法を用いて処理し、恒久的な保存を図る。

2 調査研究

自然史、科学技術、愛媛の産業に関して、部門別に学術的な調査研究を行い、その成果を、展示を主とする教育普及活動に反映させるとともに、「愛媛県総合科学博物館研究報告」により公表する。

学芸課令和８年度研究テーマ

学芸課長
・久松　洋二：展示体験装置及び各種教材装置類の開発と製作
愛媛県における科学者技術者の調査

自然研究グループ
・小林　真吾：愛媛県の植物・藻類・菌類相
希少野生動植物の保全
愛媛県における水域生物相の追跡調査
明治から昭和期に収集された愛媛の自然史資料
・川又　明徳：愛媛県の植物・地衣類相
寒冷地性地衣類に関する分類学的研究
・山根　勝枝：愛媛県産化石に関する調査
鉱石資料（館蔵）に関する調査
・尾﨑　一天：愛媛県の昆虫相
日本産幼生生殖タマバエの分類学的研究
外来種や各種節足動物の分布調査

科学・産業研究グループ
・藤本　光章：サイエンスショー等の教材開発
・進　悦子：科学教材の開発と製作
「花火」に関する調査
・篠原　功治：科学教育における実験と工作の開発研究
電気通信技術に関する資料の調査
・安永　由浩：愛媛の水産業や交通運輸に関する調査研究
・三木　綾乃：科学教材の開発と製作
化学・生物学を中心とした科学技術分野の展示企画制作

3 展示活動

⑴ **常設展示**
既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。

ア 自然館
既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。

イ　科学技術館

科学技術の歴史資料や体験装置のメンテナンスを行うとともに、新規展示装置の設計、製作を行い、常設展示の更新を努める。

実験ショーについては、年に４回の頻度で実験内容を更新する。

ウ　産業館

定期メンテナンスを実施するとともに、資料の入れ替えを逐次行う。

エ　屋外展示

屋外展示物について常時点検を行い、整備に努める。

オ　実験ショー

会　　場		３Ｆ　実験ショーコーナー
内　　容		さまざまな科学現象について実験をとおして紹介するとともに、来館者とのコミュニケーションをはかりながら科学を体験してもらう。
時　　間	休　日 GW･お盆期間	13：00 ～　　15：00 ～

⑵　特別展示

常設展示だけでは展示できない自然や最新の科学技術などに関する項目の中から、話題性があり新鮮な興味を提供するテーマを選び実施する。

タイトル	「学研『科学と学習』ふろく展　百聞は実験にしかず！」
期　　間	令和８年４月18日（土）～６月21日（日）
会　　場	企画展示室
内　　容	大人気学習誌／学研の『科学と学習』の最大の魅力は毎号の「ふろく」。 世代を超えた多くの子どもたちの好奇心を育んだ「学研『科学と学習』のふろく」をテーマに、体験展示を通して子どもたちには科学や学びの魅力を伝え、大人たちには、編集者の思いや誕生秘話とともに懐かしく楽しんでもらえる展示となっています。

タイトル	「はたらく乗り物ワンダーランド」
期　　間	令和８年７月11日（土）～９月23日（水祝）
会　　場	企画展示室・屋外展示場
趣　　旨	建設・消防・運輸・物流・農業・鉄道・船舶・航空など、私たちの生活を支える“はたらく乗り物”を題材に乗り物が持つ役割や優れた性能、動く仕組みを、実物車両や模型、体験展示を通じて親子で楽しみながら学べる展示を行います。また、地元企業と連携し、乗り物に関わる多様な仕事を知り、「将来なりたい職業」と出会うきっかけを創出します。
内　　容	展示コーナー （１）あなたの街のはたらく乗り物 （２）陸のしごとゾーン （３）海のしごとゾーン （４）空のしごとゾーン （５）近未来のテクノロジーゾーン （６）あなたのはたらく乗り物物語 （７）建設機械大集合！！ （８）１日限定わくわく体験イベント

タイトル	「WHO ARE WE　観察と発見の生物学 国立科学博物館収蔵庫コレクション｜Vol.01 哺乳類」
期　　間	令和８年10月３日(土)～11月23日(月祝)
会　　場	企画展示室
内　　容	国立科学博物館が誇る世界屈指の動物標本コレクション「ヨシモトコレクション」を中心に、選りすぐりの哺乳類などの標本を紹介します。本展のテーマは「観察の眼、発見の芽」です。標本をじっくり見つめる「観察の眼」と、そこから新たな気づきを得る「発見の眼」を育み、動物たちの意外な共通点や、私たちの日常とのつながりなど、標本にまつわる学びや問いを発見することができる展示です。

⑶ 企画展示等

学芸員の調査研究の成果発表や資料収集の公開等を行うため、企画展示室及びロビーを使用して展示を行う。

期　　間	タ　イ　ト　ル	内　　容
令和７年12月１日(月) ～令和８年12月25日(金)	ロビー展 「昭和100年展」	令和８年は昭和元年から起算して満100年を迎えることを契機に、当館資料により昭和時代に思いを馳せるきっかけになるロビー展をリレー形式で１年間開催する。 第１弾は「テレビ受像機の100年」(R 7. 12. 1～R 8. 3. 19)第２弾は「カメラ技術の100年」(R 8. 3. 31～6. 21)第３弾以降のテーマは未定。
令和８年４月18日(土) ～令和８年６月21日(日)	第76回全国植樹祭えひめ2026開催記念拡大版ロビー展「森に親しむ博物館」	新規製作する生きた姿を再現した植物レプリカや植物標本等を展示し、森林環境の大切さについて紹介します。今年度は植樹祭開催を記念し、昆虫標本や鳥類剥製も加え、拡大版として開始します。(森林環境税充当事業)
令和８年12月５日(土) ～令和９年１月24日(日)	企画展 「HANABI ～魅惑の花火～（仮)」	夜空に美しく花開く打ち上げ花火、手に持って楽しむおもちゃ花火。花火はどのように作られるのか？赤や緑の炎の色を出す仕組みは？どうやって打ち上げるのか？科学の視点で花火の秘密に迫ります。
令和９年２月20日(土) ～令和９年４月11日(日)	企画展 「骨」	様々な動物の体内に存在し、日夜、体を支えている骨。私たちの体の中にもあるのに、日頃考えることは少ないのではないでしょうか。この展示では、大学や博物館が所有する標本を用いて、不思議と秘密でいっぱいの骨の世界に迫ります。

4 教育普及事業

⑴ 博物館講座の開催

応募方法　　博物館ＨＰで受け付ける。
　　博物館ＨＰを利用できない場合は、返信用110円切手を添えて封書にて応募していただく。

募集締切り　　開催日の３週間前（博物館必着）までとする。応募者数が定員に満たない場合は、引き続き募集を継続する。

受講者の決定　　応募者が定員を超えた場合、抽選により受講者を決定する。

	内　　容
自然観察会	内容：①活断層を歩く～岡村断層～　②初夏のツガザクラ群落トレッキング ③海辺の生き物ウォッチング１　④海辺の生き物ウォッチング２ ⑤初夏の樹木ウォッチング　⑥夜の海辺の生き物ウォッチング ⑦関川の岩石・鉱物　⑧春をさがして野辺歩き 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申込みも必要） 定員：①②･･･20 名　③④⑤⑥⑧ ･･･30 名　⑦ ･･･35 名 回数：８講座（８回開催） 概要：生き物や地質を観察する。保険料・テキスト代を徴収する。
親子自然教室	内容：①葉っぱ図鑑をつくろう１　②顕微鏡でさがそう！砂の中の宝石 ③化石をしらべよう！植物化石　④葉っぱ図鑑をつくろう２ 対象：①④小学生とその保護者 ②③小学生（３年生以上）とその保護者 定員：①④ ･･･ 各６組 12 名　②③ ･･･ 各 12 組 24 名 回数：４講座（６回開催） 概要：標本等を作成する。材料費・保険料・テキスト代を徴収する。
天体観望会	内容：①月と木星・金星　②夏の星　③太陽と昼間の金星　④月と土星 ⑤土星と秋の星　⑥木星と冬の星 対象：①②④⑤⑥小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申込みも必要） ③制限なし 定員：①②④⑤⑥ ･･･ 各 15 名　③ ･･･ 制限なし 回数：６講座（６回開催） 概要：惑星や星座を観察する。①②④⑤⑥は保険料を徴収する。③は無料。
科学実験教室	内容：①身の回りの放射線測定体験教室　②キラキラ芳香剤を作ろう ③チャレンジ！アマチュア無線体験 ④はじめての科学実験～触ると温かい！魔法の氷を作ろう～ ⑤まるでマジック！赤ワインから「透明な液体」を取り出そう ⑥身近な食べ物から DNA を取り出そう 対象：①小学４年生～高校生と保護者（小学生は保護者同伴） ②③小学生～中学生（小学生は保護者同伴、保護者の申込みも必要） ④小学生～中学生とその保護者(子ども１人に対し保護者1人の申込が必要) ⑤小学４年生～中学生とその保護者（子ども１人に対し保護者１人の申込が必要） ⑥小学３年生～中学生 定員：①･･･40名　②･･･15名　③･･･各回５名　④⑤･･･６組12名　⑥･･･12名 回数：６講座（７回開催） 概要：科学実験をおこなう。 ②③④⑤⑥は内容により材料費・保険料・テキスト代を徴収する。 ①は無料。
科学工作教室	内容：①さわるとビリッ！電子びっくり箱をつくろう（電子工作） ②モールス電信機と電磁石（電子工作） ③充電式ソーラーカーを作って競争しよう（電子工作） ④無限クリスマスツリーの工作、⑤発電楽器を作ろう（電子工作） ⑥電磁石で永久ゴマを作ろう（電子工作） 対象：①小学３年生～中学生　②③④⑤⑥小学４年生～中学生 定員：①② ･･･10 名　③④⑤⑥ ･･･15 名 回数：６講座（６回開催） 概要：科学工作をおこなう。材料費・保険料・テキスト代を徴収する。

	内　　容
大人のための科学講座	内容：①大人のための化学実験・医薬品の合成に挑戦しよう ②大人のための化学実験・赤ワインの蒸留に挑戦しよう ③秋の野辺歩き～植物のおぼえ方～ ④忘れちゃいけない！災害時の通信手段～災害用伝言ダイヤル 171 をマスターしよう！～ ⑤万華鏡ワークショップ「珍しい！４ミラーのオイル式万華鏡を作ろう」 ⑥ピンホールカメラを作って撮影・現像しよう 対象：高校生以上 定員：①･･･12 名　②･･･ ６組（１組４名まで）　③･･･15 名　④⑥･･･10 名 ⑤･･･20 名 回数：６講座（６回開催） 概要：科学について、より高度な解説や実験等をおこなう。 材料費・保険料・テキスト代を徴収。
産業講座	内容：①造船工場見学会　②製紙工場見学会 ③宇和島九島でマダイ養殖について学ぼう ④水引細工でクリスマスカード＆ニューイヤーカードを作ろう 対象：①小学４年生～大学生（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ②③小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ④小学生以上（小学 1･2 年生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） 定員：①･･･40 名　②･･･25 名　③･･･20 名　④･･･15 名 回数：４講座（４回開催） 概要：愛媛の産業についての現地見学又は体験。 内容により教材費・保険料・テキスト代を徴収。

⑵ 印刷物の刊行

研究報告・年報・博物館だよりを発行する。

刊行物名	内　　容
研究報告	原著論文、総説、短報、資料、事業報告、技術報告（年１回）
年報	施設概要、事業概要、利用状況、予算概要等（年１回）

⑶ 友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的として友の会活動について育成・支援する。

5　プラネタリウムの運営

前半約20分は「季節の星座」生解説を行い、後半25分は「宇宙･天文」､「恐竜」などに関する番組（フルオート）を投影する。

⑴ 投影回数・時間

	１回目	２回目	３回目	４回目	５回目
平　　日	10：30 （団体専用）	12：00	14：00	16：00	－
土日祝 ＧＷ期間 お盆期間	10：30	12：00	13：30	15：00	16：30

※ 平日の１回目投影は、団体予約が入っている場合のみ行う。

⑵　番組名・投影期間

通　　年	3-2-1 Liftoff！　ハムスターのスペースアドベンチャー！	令和８年４月１日～令和８年４月17日
通　　年	発見！南極に恐竜がいた！	令和８年４月１日～令和８年７月17日
通　　年	スターリースカイ	令和８年４月１日～令和８年９月30日
通　　年	イナズマデリバリー　バイザウェイの地球探査?!－オーロラとの遭遇－	令和８年４月18日～令和９年３月31日
通　　年	海竜王　モササウルス	令和８年７月18日～令和９年３月31日
通　　年	チ。	令和８年10月１日～令和９年３月31日
通　　年	南極大陸　宇宙に開かれた窓	団体専用
通　　年	むしむし星空大行進	団体専用
通　　年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通　　年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通　　年	スター・オブ・ファラオ　～ファラオの星～	団体専用
通　　年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた　たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ４４４　－空のフシギをさぐれ！－	団体専用

⑶　メンテナンスによる投影休止期間

令和８年６月23日(火)～24日(水)
令和８年９月29日(火)～30日(水)
令和９年２月16日(火)～17日(水)

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

東予コミュニティ・カレッジの開催支援

県生涯学習センターが企画する「東予コミュニティ・カレッジ」について、会場の提供をするなど、その支援を行う。。

ア　東予コミカレ１

講　座　名	現代教養講座(放送県民大学)	概要	愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただきます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。
時　間　帯	13：30　～　15：30		
会　　場	愛媛県総合科学博物館		
定　　員	60名		
回　　数	３回		

イ　東予コミカレ２

講　座　名	健康・福祉・介護講座	概要	健やかで心豊かに生活するため、心と体の健康や社会福祉、介護について、幅広く学びます。
時　間　帯	13：30　～　15：00 13：30　～　15：30		
会　　場	愛媛県総合科学博物館		
定　　員	60名		
回　　数	５回		

ウ　東予コミカレ３

講座名	ふるさとおもしろ講座	概要	だれもが地域学に気軽に取り組めるように、地域学の魅力や調査方法をわかりやすく解説するとともに調査研究の成果を紹介します。
時間帯	13：30　～　15：30 ８：30　～　16：00		
会場	愛媛県総合科学博物館		
定員	60名		
回数	４回		

エ　東予コミカレ４

講座名	歴史講座	概要	日本史上活躍した著名な人物や出来事を題材にして、その時代の特質を学びます。
時間帯	13：30　～　15：00 13：30　～　15：30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
定員	60名		
回数	４回		

オ　東予コミカレ５

講座名	くらしの安全・安心講座	概要	日頃のくらしの中で起こる様々な事柄について学習することで、いざという時に活用できる知識、力を身につけることができます。
時間帯	13：30　～　15：00		
会場	愛媛県総合科学博物館		
定員	60名		
回数	４回		

カ　東予コミカレ６

講座名	愛媛の博物館・研究機関講座	概要	博物館・研究機関の専門分野を中心とした調査研究の内容を、詳しく分かりやすい解説により学び、博物館・研究機関ならではの視点から、ふるさと愛媛の魅力を探ります。
時間帯	13：30　～　15：00		
会場	愛媛県総合科学博物館		
定員	60名		
回数	４回		

キ　東予コミカレ７

講座名	オンライン講座	概要	※中予コミュニティ・カレッジで実施する講座を、会場にて同時ライブ中継します。
時間帯	13：30　～　15：00 13：30　～　15：30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
定員	60名		
回数	２回		

V 令和７年度の利用状況

1 施設利用データ

(1) 利用状況

(ｱ) 常設展示

〈指定管理者制度導入前（～平成21年３月31日）〉

※（　　）は、小・中学生無料化後の人数で、観覧料免除者数の内書である。

		a	a′	c	c′	①	②	③
年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	小･中学生	小･中学生（団体）	有料観覧者小　計	観覧料免除者	観覧者計
６年度計	170,727	79,203	5,247	27,697	2,612	114,759	15,494	130,253
７年度計	359,915	141,289	28,168	49,159	10,551	229,167	34,630	263,797
８年度計	257,341	85,742	18,517	28,761	10,711	143,731	47,337	191,068
９年度計	218,487	70,549	12,881	22,088	7,973	113,491	40,281	153,772
10年度計	221,161	62,145	12,940	21,742	7,931	104,758	36,445	141,203
11年度計	199,470	56,044	12,618	5,086	2,193	75,941	63,238	139,179
				(20,344)	(10,305)			
12年度計	166,483	48,864	8,433	(19,446)	(14,088)	57,297	62,765	120,062
13年度計	187,566	45,976	7,578	(27,331)	(13,074)	53,554	70,107	123,661
14年度計	176,477	43,087	7,212	(24,521)	(10,302)	50,299	61,705	112,004
15年度計	172,808	32,002	19,309	(22,945)	(13,273)	51,311	63,650	114,961
16年度計	174,730	41,555	6,226	(28,140)	(7,744)	47,781	66,037	113,818
17年度計	178,961	43,752	6,940	(28,565)	(8,122)	50,692	63,073	113,765
18年度計	179,482	45,202	6,914	(23,467)	(7,567)	52,116	62,376	114,492
19年度計	178,701	47,612	6,372	(24,248)	(7,230)	53,984	65,458	119,442
20年度計	169,171	40,665	6,442	(30,179)	(6,825)	47,107	63,457	110,564
累計	3,011,480	883,687	165,797	154,533	41,971	1,245,988	816,053	2,062,041
				(249,186)	(98,530)			

〈指定管理者制度導入後（平成21年4月1日～）〉

※ 平成21年4月1日より、65歳以上有料化後の人数である。

		a	a′	b	b′	①	c	c′	②	③
年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	65歳以上	65歳以上（団体）	有料観覧者小　計	小･中学生	小･中学生（団体）	観覧料免除者	観覧者計
21年度計	236,017	67,113	4,424	4,550	875	76,962	(38,433)	(9,814)	87,726	164,688
22年度計	208,833	56,637	7,134	4,298	1,080	69,149	(26,279)	(14,508)	77,748	146,897
23年度計	208,998	58,702	5,079	4,585	807	69,173	(31,191)	(11,547)	77,859	147,032
24年度計	245,607	68,775	3,931	5,909	718	79,333	(42,014)	(13,848)	94,925	174,258
25年度計	213,887	58,904	3,353	5,292	752	68,301	(27,607)	(13,310)	75,648	143,949
26年度計	241,985	62,435	3,216	5,138	548	71,337	(27,647)	(11,788)	89,478	160,815
27年度計	245,698	65,634	2,921	5,895	759	75,209	(32,447)	(11,825)	88,802	164,011
28年度計	206,891	53,791	2,558	4,680	593	61,622	(22,743)	(11,703)	75,253	136,875
29年度計	200,213	49,890	2,602	4,604	357	57,453	(23,076)	(10,690)	65,688	123,141
30年度計	225,905	59,595	2,272	5,159	567	67,593	(26,826)	(26,826)	80,179	147,772
令和元年度計	212,484	61,198	2,322	5,905	501	69,926	(27,523)	(8,334)	82,781	152,707
２年度計	115,141	39,725	360	2,469	11	42,565	(13,248)	(7,193)	51,362	93,927
３年度計	116,950	38,269	270	2,456	80	41,075	(13,501)	(8,187)	49,944	91,019
４年度計	174,452	59,137	571	4,719	41	64,468	(21,883)	(4,313)	75,769	140,237
５年度計	179,973	58,018	951	5,446	289	64,704	(23,080)	(4,113)	75,172	139,876
６年度計	174,979	58,456	1352	5,859	257	65,924	(23,574)	(3,196)	71,525	137,449
７年度計	188,325	62,063	1,296	6,015	150	69,524	(23,143)	(3,081)	70,720	140,244
総累計	6,407,818	1,862,029	210,409	82,979	8,385	2,360,306	154,533	41,971	2,106,632	4,466,938
							(693,401)	(250,143)		

〈令和７年度月別人数〉

年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	65歳以上	65歳以上（団体）	有料観覧者小　計	小・中学生	小・中学生（団体）	観覧料免除者	観覧者計
令和７年４月	13,855	3,819	34	413	0	4,266	(1,795)	(165)	4,922	9,188
５月	30,446	9,060	186	804	1	10,051	(3,824)	(235)	9,719	19,770
６月	17,712	5,652	217	366	0	6,235	(1,963)	(246)	5,998	12,233
７月	15,792	5,314	117	530	22	5,983	(2,011)	(386)	6,311	12,294
８月	44,840	16,071	173	1,830	38	18,112	(7,227)	(757)	16,909	35,021
９月	13,986	5,101	43	380	17	5,541	(1,416)	(268)	5,159	10,700
10月	8,422	2,909	142	252	0	3,303	(692)	(589)	3,627	6,930
11月	11,129	3,078	185	308	67	3,638	(827)	(250)	5,007	8,645
12月	7,277	2,473	51	285	1	2,810	(702)	(47)	2,758	5,568
令和８年１月	6,860	2,459	4	300	0	2,763	(865)	(0)	2,593	5,356
２月	6,927	2,360	20	166	0	2,546	(628)	(0)	3,194	5,740
３月	11,079	3,767	124	381	4	4,276	(1,193)	(138)	4,523	8,799
年度計	188,325	62,063	1,296	6,015	150	69,524	(23,143)	(3,081)	70,720	140,244

(ｲ) プラネタリウム

〈指定管理者制度導入前（～平成21年3月31日）〉

		d	d′	f	f′	④	⑤	⑥
年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	小・中学生	小・中学生（団体）	小　計	観覧料免除者	観覧者計
６年度計	170,727	26,234	2,397	10,407	1,864	40,902	10,557	51,459
７年度計	359,915	73,345	14,212	25,167	8,162	120,886	20,838	141,724
８年度計	257,341	56,383	11,507	18,016	8,646	94,552	32,719	127,271
９年度計	218,487	45,856	7,550	13,527	6,427	73,360	28,361	101,721
10年度計	221,161	39,976	7,643	12,635	6,351	66,605	22,012	88,617
11年度計	199,470	34,354	6,902	12,229	7,018	60,503	22,928	83,431
12年度計	166,483	30,459	4,356	11,026	6,488	52,329	18,983	71,312
13年度計	187,566	28,390	3,861	11,170	5,830	49,251	25,292	74,543
14年度計	176,477	24,962	3,335	9,965	4,707	42,969	21,172	64,141
15年度計	172,808	20,663	2,996	8,994	4,403	37,056	24,246	61,302
16年度計	174,730	19,409	3,116	8,461	3,465	34,451	22,904	57,355
17年度計	178,961	24,400	3,513	9,676	4,059	41,648	16,095	57,743
18年度計	179,482	22,415	3,674	9,115	4,228	39,432	17,674	57,106
19年度計	178,701	21,435	2,336	9,081	3,593	36,445	12,751	49,196
20年度計	169,171	19,155	2,114	7,753	2,915	31,937	14,629	46,566
累計	3,011,480	487,436	79,512	177,222	78,156	822,326	311,161	1,133,487

〈指定管理者制度導入後（平成21年４月１日～）〉

		d	d′	e	e′	f	f′	④	⑤	⑥
年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	65歳以上	65歳以上（団体）	小・中学生	小・中学生（団体）	小　計	観覧料免除者	観覧者計
21年度計	236,017	19,986	1,352	1,525	197	9,503	1,587	34,150	10,967	45,117
22年度計	208,833	44,703	4,020	3,255	1,002	15,004	5,592	73,576	26,544	100,120
23年度計	208,998	36,218	3,560	2,569	687	13,363	3,733	60,130	23,805	83,935
24年度計	245,607	35,308	2,628	2,736	712	14,732	5,332	61,448	28,147	89,595
25年度計	213,887	33,247	2,640	2,700	586	12,367	5,322	56,862	23,804	80,666
26年度計	241,985	34,342	1,883	2,576	495	14,342	3,414	57,052	27,353	84,405
27年度計	245,698	31,503	1,316	2,733	455	13,371	3,779	53,157	27,738	80,895
28年度計	206,891	28,833	1,342	2,286	281	12,437	3,748	48,927	27,148	76,075
29年度計	200,213	24,190	1,683	2,298	314	8,908	2,834	40,227	26,353	66,580
30年度計	225,905	25,658	1,398	2,273	347	10,901	3,552	44,129	27,450	71,579
令和元年度計	212,484	24,822	1,042	2,396	235	10,122	3,878	42,495	25,766	68,261
２年度計	115,141	12,076	65	851	12	4,121	1,392	18,517	13,629	32,146
３年度計	116,950	15,526	84	1,054	12	5,976	1,539	24,191	14,954	39,145
４年度計	174,452	21,064	359	1,778	27	9,148	2,293	34,669	18,659	53,328
５年度計	179,973	21,486	569	2,280	198	9,443	2,673	36,649	18,002	54,651
６年度計	174,979	14,564	565	1,553	84	6,691	2,165	25,622	12,232	37,854

		d	d′	e	e′	f	f′	④	⑤	⑥
年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	65歳以上	65歳以上（団体）	小･中学生	小･中学生（団体）	小　計	観覧料免除者	観覧者計
7年度計	188,325	20,893	791	2,296	93	8,492	2,238	34,803	16,858	51,661
総累計	6,407,818	931,855	104,809	37,159	5,737	356,143	133,227	1,568,930	680,570	2,249,500

〈令和７年度月別人数〉

年　月	総入館者	大　人	大　人（団体）	65歳以上	65歳以上（団体）	小･中学生	小･中学生（団体）	小　計	観覧料免除者	観覧者計
7年4月	13,855	1.118	21	118	0	486	110	1,853	1,372	3,225
5月	30,446	2,435	39	199	0	994	174	3,841	1,986	5,827
6月	17,712	1,445	205	130	4	524	183	2,491	1,514	4,005
7月	15,792	1,964	112	246	21	902	326	3,571	1,674	5,245
8月	44,840	5,589	71	745	18	3,084	545	10,052	3,028	13,080
9月	13,986	1,881	33	141	17	574	186	2,832	1,236	4,068
10月	8,422	1,162	33	115	18	282	456	2,066	1,038	3,104
11月	11,129	1,364	150	152	14	393	140	2,213	1,113	3,326
12月	7,277	930	50	136	1	273	7	1,397	754	2,151
8年1月	6,860	810	0	110	0	311	0	1,231	542	1,773
2月	6,927	830	2	69	0	233	0	1,134	1,301	2,435
3月	11,079	1,365	75	135	0	436	111	2,122	1,300	3,422
年度計	188,325	20,893	791	2,296	93	8,492	2,238	34,803	16,858	51,661

⑵　団体利用状況

区　分	団体数	人　数
小　学　校	65	3,276
中　学　校	17	815
小　中　合　同	0	0
中　高　一　貫　校	1	146
高　等　学　校	21	1,181
高等専門学校	2	217
特別支援学校	13	286
幼稚園・保育園	73	2,938
少　年　団　体	18	1,278
高　齢　者　団　体	1	53
福　祉　介　護　施　設	27	865
そ　の　他	21	702
合　計	259	11,757

（注）　少年団体：子供会、愛護班、少年野球チーム等
福祉介護施設：福祉や介護の施設・団体
高齢者団体：高齢者の施設・団体
そ　の　他：婦人会、自治会、民間企業、県主催事業等

2　貸館利用データ

部屋名	件数	人数
多目的ホール	61	5,784
控　室　1	31	—
控　室　2	40	—
第1研修室	64	2,462
第2研修室	33	420
合　計	229	8,666

＊控室１及び２の利用人数については、主たる貸館に含む。

3　臨時休館日

令和７年６月24日（火）・25日（水）…… プラネタリウム メンテナンス
令和７年９月25日（木）・26日（金）…… 常設展示・プラネタリウムメンテナンス
令和８年２月17日（火）・18日（水）……　〃

Ⅵ 関係法規

博物館の登録に関する規則

制　　定：昭和27年８月15日教育委員会規則第11号
最終改正：令和５年３月31日教育委員会規則第３号

博物館の登録に関する規則を次のように定める。

博物館の登録に関する規則

（登録）

第１条　博物館法（昭和26年法律第285号）（以下「法」という。）第11条の規定による登録を受けようとするものは、様式第１号による登録申請書を愛媛県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に提出しなければならない。

（登録の審査）

第２条　教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつたときは、当該申請に係る書類等の審査及び必要に応じて行う実地調査により、その内容を審査しなければならない。

（登録原簿）

第３条　教育委員会は、登録をしたときは遅滞なく様式第２号による博物館登録原簿に記載しなければならない。

（記載事項の変更）

第４条　登録申請書の記載事項を変更するときは、あらかじめ様式第３号により教育委員会に届け出なければならない。

（運営状況の定期報告）

第５条　博物館の設置者は、当該博物館の運営状況について、毎事業年度終了後３月以内に、様式第４号により教育委員会に報告しなければならない。

（博物館の廃止）

第６条　博物館を廃止したときは、その理由の生じた日から20日以内に様式第５号によつて教育委員会に届け出なければならない。

（公表）

第７条　教育委員会は、次に掲げる事項については、インターネットを利用して公表しなければならない。

⑴　法第11条の規定による登録をしたとき
⑵　法第15条第２項の規定による変更登録をしたとき
⑶　法第19条第１項の規定による登録の取消しをしたとき
⑷　法第20条第２項の規定による登録を抹消したとき

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（昭和38年５月31日教育委員会規則第11号）

１　この規則は、昭和38年６月１日から施行する。

２　この規則施行前に、この規則による改正前の関係規則の規定により提出された申請書その他の書類は、この規則による改正後の規則の相当規定により提出されたものとみなす。

附　則（平成６年９月30日教育委員会規則第７号抄）

（施行期日）

１　この規則は、平成６年10月１日から施行する。

附　則（平成18年９月１日教育委員会規則第11号）

（施行期日）

１　この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

２　この規則施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、

改正後のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

3　この規則施行の際現にある改正前のそれぞれの規則の様式の規定による書類の用紙は、平成18年度に限り使用することができる。

附　則（令和５年３月31日教育委員会規則第３号）

1　この規則は、令和５年４月１日から施行する。

2　この規則の施行前に発生した事項につき博物館法の一部を改正する法律（令和４年法律第24号）による改正前の博物館法（昭和26年法律第285号）第13条第１項又は第15条第１項の規定により届け出なければならないこととされている事項の届出については、なお従前の例による。

様式第１号（第１条関係）博物館登録申請書
様式第２号（第３条関係）博物館登録原簿
様式第３号（第４条関係）博物館登録申請事項変更届
様式第４号（第５条関係）博物館運営状況報告書
様式第５号（第６条関係）博物館廃止届

愛媛県県立博物館設置条例

制　　定：昭和45年３月20日条例第７号
最終改正：令和５年３月24日条例第９号

愛媛県県立博物館設置条例を次のように公布する。

愛媛県県立博物館設置条例

（設置）

第１条　博物館法（昭和26年法律第285号）第２条第１項に規定する博物館として、県立博物館を別表第１のとおり設置する。

一部改正〔平成20年条例24号〕

（分館）

第２条　県立博物館に、必要に応じて分館を設置することができる。

追加〔昭和54年条例19号〕

（指定管理者に管理を行わせることができる県立博物館）

第３条　地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項の規定に基づき知事が指定する法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に管理を行わせることができる県立博物館は、別表第２のとおりとする。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和２年条例９号〕

（指定管理者の指定）

第４条　指定管理者の指定を受けようとする法人その他の団体は、その指定を受けて管理を行おうとする県立博物館ごとに、申請書に管理計画書その他知事が定める書類を添えて、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

２　知事は、前項の申請の手続について、あらかじめ、公表しなければならない。

３　知事は、第１項の規定による申請があつたときは、当該申請に係る県立博物館の管理を適正かつ確実に行うことができると認められる法人その他の団体でああって、当該県立博物館の設置の目的を最も効果的かつ効率的に達成することができると認められるものを選定し、議会の議決を経て、指定管理者として指定するものとする。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和２年条例９号〕

（指定の公示等）

第５条　知事は、指定管理者の指定をしたとき、又はその指定を取り消し、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、当該指定管理者の名称、住所その他の知事が定める事項を公示しなければならない。

２　指定管理者は、その名称、住所その他の知事が定める事項を変更しようとするときは、変更しようとする日の２週間前までに、その旨を知事に届け出なければならない。

３　知事は、前項の規定による届出があつたときは、その旨を公示しなければならない。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和２年条例９号〕

（指定管理者の原状回復義務等）

第６条　指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消されたときは、その管理をしなくなった県立博物館を直ちに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

２　知事は、指定管理者が故意又は過失により県立博物館を損傷し、又は滅失した場合は、原状回復又は損害賠償を命ずることができる。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和２年条例９号〕

（雑則）

第７条　県立博物館の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔昭和54年条例19号・平成20年24号・令和２年９月〕

附　則

１　この条例は、昭和45年４月１日から施行する。

2　愛媛県立博物館設置条例（昭和36年愛媛県条例第26号）は、廃止する。

附　則（昭和50年12月23日条例第36号）

この条例は、昭和51年１月１日から施行する。

附　則（昭和54年３月16日条例第19号）

1　この条例は、昭和54年４月１日から施行する。

2　愛媛県立美術館使用料条例（昭和45年愛媛県条例第９号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則（平成10年３月24日条例第15号抄）

（施行期日）

1　この条例中、第２条（中略）の規定は平成10年４月１日から（中略）施行する。

附　則（平成12年３月24日条例第30号）

この条例は、平成12年４月１日から施行する。

附　則（平成16年３月26日条例第10号）

この条例は、平成16年４月１日から施行する。

附　則（平成17年３月25日条例第37号）

この条例は、平成17年４月１日から施行する。

附　則（平成20年３月28日条例第24号）

この条例は、平成21年４月１日から施行する。ただし、第２条中愛媛県県立博物館設置条例第３条を同条例第７条とし、同条例第２条の次に４条を加える改正規定（同条例第４条及び第５条に係る部分に限る。）は公布の日から（中略）施行する。

附　則（平成20年10月17日条例第60号）

この条例中、（中略）第２条の規定は平成21年４月１日から施行する。

附　則（令和２年３月27日条例第９号抄）

（施行期日）

1　この条例は、令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和５年３月24日条例第９号抄）

1　この条例は、令和５年４月１日から施行する。

別表第１（第１条関係）

名　　称	位　　置
愛媛県総合科学博物館	新居浜市
愛媛県歴史文化博物館	西予市
愛媛県美術館	松山市

一部改正〔昭和50年条例36号・平成10年15号・12年30号・16年10号・17年37号・20年24号・60号〕

別表第２（第３条関係）

愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館

追加〔平成20年条例24号〕

愛媛県総合科学博物館管理条例

制　　定：平成20年３月28日条例第26号
最終改正：令和７年３月25日条例第８号

愛媛県総合科学博物館管理条例を次のように公布する。

愛媛県総合科学博物館管理条例

（趣旨）

第１条　この条例は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務）

第２条　博物館は、博物館法（昭和26年法律第285号）第３条に規定する事業に係る業務を行う。

２　前項に定めるもののほか、博物館は、次に掲げる業務を行う。

⑴　プラネタリウムの運営に関すること。

⑵　生涯学習の促進及び援助に関すること。

⑶　施設の提供に関すること。

⑷　その他必要な業務

（指定管理者が行う業務）

第３条　博物館の指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項　の規定に基づき、知事が指定する法人その他の団体をいう。以下「指定管理者」という。）は、次に掲げる業務を行わなければならない。

⑴　前条第１項に規定する業務のうち知事が定める業務の実施に関すること。

⑵　前条第２項各号に掲げる業務の実施に関すること。

⑶　博物館の利用の許可に関すること。

⑷　博物館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の収受に関すること。

⑸　博物館の利用の促進に関すること。

⑹　博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関すること。

⑺　その他知事が定める業務

一部改正［令和２年条例９号］

（開館時間等）

第４条　博物館の開館時間は、午前９時から午後５時30分までとする。

２　前項の規定にかかわらず、別表第１の１の項から６の項までに掲げる施設は、午前９時から午後10時まで利用することができる。

３　前２項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、第１項の開館時間及び前項の利用時間を変更することができる。

一部改正［平成26年条例９号・令和２年９号］

（休館日）

第５条　博物館の休館日は、次のとおりとする。

⑴　毎月の第１月曜日以外の月曜日及び当該第１月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第３条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）

⑵　１月１日から３日まで及び12月29日から31日まで

２　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日に博物館を利用させることができる。

３　第１項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、同項の休館日を変更することができる。

一部改正［令和２年条例９号］

（禁止行為）

第６条　博物館を利用する者は、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、知事の許可を受けた場合は、この限りでない。

⑴　寄附の募集
⑵　爆発物その他の危険物の持込み
⑶　行商その他これに類する行為
⑷　宣伝その他これに類する行為
⑸　広告物の表示若しくは配布又は広告物を掲出する物件の設置

2　前項の規定は、第８条第１項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）の当該許可に係る行為については、適用しない。

一部改正［令和２年条例９号］

（入館の制限等）

第7条　指定管理者は、博物館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

⑴　前条第１項の規定に違反し、又は違反するおそれがあるとき。
⑵　博物館の秩序を乱し、又は乱すおそれがあるとき。
⑶　博物館の施設等又は博物館が収集し、保管し、若しくは展示する資料（以下「博物館資料」という。）を滅失し若しくは損傷し、又は滅失し若しくは損傷するおそれがあるとき。
⑷　指定管理者の職員の指示に従わないとき。

（利用の許可）

第8条　博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び次に掲げる施設等を利用しようとする者は、指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

⑴　別表第１に掲げる施設
⑵　指定管理者が定める附属設備及び備品

2　指定管理者は、前項の許可をする場合において、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

（許可の基準）

第9条　指定管理者は、博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び前条第１項各号に掲げる施設等を利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、同項の許可をしないものとする。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

⑴　博物館の秩序を乱すおそれがあるとき。
⑵　博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷するおそれがあるとき。

（許可の取消し等）

第10条　指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その許可を取り消し、又は利用を制限し､若しくは停止することができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

⑴　この条例に違反し、又は指定管理者の職員の指示に従わないとき。
⑵　偽りその他不正な手段により第８条第１項の許可を受けたとき。
⑶　風俗を乱すおそれがあるとき。
⑷　第８条第２項の規定により付された条件に違反したとき。

（利用料金の納付）

第11条　利用者は、利用料金を指定管理者に納付しなければならない。

2　利用料金は、博物館の利用の前に納付しなければならない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、後納させ、又は分納させることができる。

3　利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の額）

第12条　利用料金の額は、別表第１及び別表第２に定める額の範囲内で指定管理者が定める額とする。

2　前項の規定にかかわらず、特別の展示に係る利用料金の額は、当該特別の展示に要する費用を勘案して指定管理者がその都度定める額とする。

3　前２項に定めるもののほか、指定管理者が定める附属設備及び備品の利用料金の額は、実費を勘案して

指定管理者が定める額とする。
4　指定管理者は、利用料金の額を定めようとするときは、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。その額を変更しようとするときも、同様とする。
5　指定管理者は、前項の承認を受けたときは、利用料金の額を公表しなければならない。
一部改正［令和２年条例９号］
（利用料金の減免）
第13条　指定管理者は、次に掲げる者に対しては、別表第２に掲げる利用料金を免除しなければならない。
⑴　教育課程に基づく学習活動として、プラネタリウムを観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒及びこれらの引率者、展示室又はプラネタリウムを観覧する県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の生徒及びその引率者並びに展示室を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒の引率者
⑵　身体に障害を有する者で、本人又はその保護者が身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの及びその介護者
⑶　療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）の交付を受けている者及びその介護者
⑷　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者
2　前項各号に掲げる者が同項の利用料金の免除を受けようとする場合は、同項各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
3　指定管理者は、第１項に掲げるもののほか、次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金を減免することができる。
⑴　県又は指定管理者が博物館の目的を達成するために利用するとき。
⑵　知事が特に必要があると認めて指示するとき。
⑶　指定管理者が博物館の施設等を利用する者の間の均衡を失しない範囲内において適当と認めるとき。
一部改正［平成26年条例９号・令和２年９号］
（利用料金の不還付）
第14条　指定管理者が既に収受した利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。
⑴　天災その他利用者の責めに帰することができない理由により利用が不能となったとき。
⑵　前号に掲げるもののほか、指定管理者がやむを得ないと認めたとき。
（博物館資料の特別利用）
第15条　博物館資料の閲覧、撮影、複写、模写、模造等又はこれらにより得たものの展示若しくは刊行物への掲載（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。
2　知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。
一部改正［令和２年条例９号］
（特別利用料の納付）
第16条　営利を目的として博物館資料の特別利用をしようとする者で前条第１項の許可を受けたもの（以下「特別利用者」という。）は、当該特別利用に係る使用料（以下「特別利用料」という。）を納付しなければならない。
2　特別利用料は、博物館資料の特別利用の前に納付しなければならない。ただし、知事が必要と認めるときは、後納させることができる。
一部改正［令和２年条例９号］
（特別利用料の額）
第17条　特別利用料の額は、博物館資料１点の特別利用１回につき、5,800円の範囲内で知事が定める額とする。
一部改正［平成26年条例９号・令和元年３号・２年９号・３年４号・７年８号］

（特別利用料の減免）

第18条　知事は、特に必要と認める者に対しては、その特別利用料を減免することができる。

（特別利用料の不還付）

第19条　既に納付した特別利用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

⑴　天災その他特別利用者の責めに帰することができない理由により特別利用が不能となったとき。

⑵　特別利用者が知事が定める日までに特別利用の取消しを申し出て、知事がやむを得ないと認めたとき。

一部改正［令和２年条例９号］

（博物館資料の館外貸出し）

第20条　知事は、博物館の業務に支障がない場合で、自然史等に関する学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められ、かつ、博物館資料の取扱い上の安全が確認できるときは、博物館資料の館外貸出しを行うことができる。

２　前項の規定により館外貸出しを受けようとする者は、知事の許可を受けなければならない。当該館外貸出しの許可を受けた者がその期間を延長しようとするときも、同様とする。

３　知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

４　知事は、館外貸出期間中であっても、館外貸出しを許可した博物館資料の返還を求めることができる。

一部改正［令和２年条例９号］

（損害賠償等）

第21条　自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

（知事による管理）

第22条　博物館の管理を指定管理者が行うことができないときは、知事は、博物館の管理に係る業務を行うものとする。

２　第11条第１項及び第２項、第12条第１項から第３項まで、第13条（第３項第１号及び第３号を除く。）並びに第14条の規定は、前項の場合に準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

読み替える規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第11条の見出し	利用料金	使用料
第11条第１項	利用者	博物館を利用する者（以下「利用者」という。）
	利用料金	使用料
	指定管理者に納付しなければ	納付しなければ
第11条第２項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
	後納させ、又は分納させる	後納させる
第12条の見出し	利用料金	使用料
第12条第１項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第２項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第３項	指定管理者が定める附属設備	博物館の附属設備
	利用料金	使用料
	指定管理者が定める額	知事が定める額
第13条の見出し	利用料金	使用料
第13条第１項各号列記以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
	免除しなければならない	免除するものとする

第13条第２項	利用料金	使用料
第13条第３項各号列記以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
第13条第３項第２号	認めて指示する	認める
第14条の見出し	利用料金	使用料
第14条各号列記以外の部分	指定管理者が既に収受した利用料金	既に納付した使用料
第14条第２号	前号に掲げるもののほか、指定管理者	別表第１に掲げる施設の利用者が知事の定める日までに利用の取消しを申し出て、知事

一部改正［令和２年条例９号］

（補則）

第23条　この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

一部改正［令和２年条例９号］

附　則

１　この条例は、平成21年４月１日から施行する。

附　則（平成26年３月28日条例第９号抄）

この条例は、平成26年４月１日から施行する。（後略）

附　則（平成28年３月29日条例第29号）

この条例は、平成28年４月１日から施行する。

附　則（令和元年７月９日条例第３号抄）

１　この条例は、令和元年10月１日から施行する。

附　則（令和２年３月27日条例第９号抄）

この条例は、令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和３年３月26日条例第４号抄）

１　この条例は、令和３年４月１日から施行する。（後略）

規　則（令和７年３月25条例第８号抄）

１　この条例は、令和７年４月１日から施行する。（後略）

別表第１（第４条、第８条、第12条関係）

区　　分	単　　位	金　　額
１　多目的ホール	１時間につき	3,270円
２　控室	１室１時間につき	240円
３　研修室	１室１時間につき	1,720円
４　ミーティングルーム	１時間につき	950円
５　会議室	１時間につき	880円
６　オリエンテーションルーム	１時間につき	1,520円
７　企画展示室	１時間につき	3,350円

備考１　利用時間に１時間未満の端数があるときは、その端数を１時間として計算する。

２　利用時間が１時間未満のときは、１時間として計算する。

一部改正［平成26年条例９号・令和元年３号・７年８号］

別表第２（第12条、第13条関係）

１　展示室観覧料

区分	単位	金額
15歳以上の者（中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。）	１人１回につき	840円

2　プラネタリウム観覧料

区分	単位	金額
15歳以上の者（中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。）	１人１回につき	840円
小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒	１人１回につき	550円

一部改正［平成26年条例９号・28年29号・令和元年３号・３年４号・７年８号］

愛媛県総合科学博物館管理規則

制定：令和２年３月27日規則第13号
改正：令和７年３月25日規則第５号

愛媛県総合科学博物館管理規則を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館管理規則

（趣旨）

第１条　この規則は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（特別利用の許可の申請等）

第２条　愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第15条第１項の規定による博物館資料の特別利用の許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書（様式第１号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

２　館長は、前項の規定による特別利用の許可の申請があった場合において、特別利用が適当であると認めるときは、特別利用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書（様式第２号）を交付するものとする。

（特別利用料の額）

第３条　条例第17条に規定する知事が定める特別利用料の額は、別表に掲げるとおりとする。

（特別利用料の減免）

第４条　知事は、条例第18条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、特別利用料を免除する。

⑴　自然史、科学技術及び産業史に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする者で、知事が必要と認めるもの

⑵　博物館の広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的として特別利用をする者

２　知事は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第18条の規定に基づき、特別利用料を免除し、又はその一部を減額することがある。

（特別利用料の還付）

第５条　条例第19条第２号に規定する知事が定める日は、利用日の前日とする。

第６条　条例第19条ただし書の規定により、知事は、次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に定める額を還付する。

⑴　条例第19条第１号に該当する場合　特別利用料の全額

⑵　条例第19条第２号に該当する場合　特別利用料の50パーセントに相当する額

２　前項の規定により特別利用料の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用料還付申請書（様式第３号）を知事に提出しなければならない。

（館外貸出しの許可の申請等）

第７条　条例第20条第２項の規定による博物館資料の館外貸出しの許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書（様式第４号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

２　館長は、前項の規定による館外貸出しの許可の申請があった場合において、館外貸出しが適当であると認めるときは、館外貸出しの許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書（様式第５号）を交付するものとする。

３　博物館資料の館外貸出期間は、50日以内とする。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

４　博物館資料の館外貸出しを受けた者は、その館外貸出期間を延長しようとするときは、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書（様式第６号）を館長に提出しなければならない。

５　館長は、前項の規定による館外貸出期間の延長の申請があった場合において、やむを得ない理由があると認めるときは、館外貸出期間の延長を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館

外貸出期間延長決定書（様式第７号）を交付するものとする。

（資料の寄贈又は寄託）

第８条　博物館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

２　博物館に資料を寄贈しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書（様式第８号）を、資料を寄託しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書（様式第９号）を館長に提出しなければならない。

３　館長は、前項の規定による寄贈の申出又は寄託の申請があった場合において、当該寄贈の申出又は寄託の申請に係る資料の受入れが適当であると認め、当該資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に対し、愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証（様式第10号）又は愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証（様式第11号）を交付しなければならない。

４　寄託を受ける資料の取扱いについては、館長が寄託しようとする者と協議して定める。

５　県及び指定管理者は、寄託を受けた資料の不可抗力による損害に対しては、その責めを負わないものとする。

（補則）

第９条　この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附　則

この規則は、令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和３年３月26日規則第14号抄）

１　この規則は、令和３年４月１日から施行する。

附　則（令和７年３月25日規則第５号抄）

１　この規則は、令和７年４月１日から施行する。（後略）

別表（第３条関係）

特別利用料

区分	単位	金額
閲覧	１点１回につき	580円
模写・模造	１点１回につき	5,800円
撮影・複写	１点１回につき	5,800円
原版使用	１点１回につき	5,800円

注１　小型の物で１組又は１箱となっているものは、１組又は１箱を１点とする。

２　多数の物で１そろい又は１具となっているものは、数量に応じて数点に分けるものとする。

３　その他の資料は、各個を１点とする。

一部改正〔令和３年規則14号・令和７年規則５号〕

様式第１号（第２条関係）　愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書
様式第２号（第２条関係）　愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書
様式第３号（第６条関係）　愛媛県総合科学博物館特別利用料還付申請書
様式第４号（第７条関係）　愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書
様式第５号（第７条関係）　愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書
様式第６号（第７条関係）　愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書
様式第７号（第７条関係）　愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長決定書
様式第８号（第８条関係）　愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書
様式第９号（第８条関係）　愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書
様式第10号（第８条関係）　愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証
様式第11号（第８条関係）　愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証

愛媛県総合科学博物館処務規程

制　　定：平成30年４月１日訓令第９号
最終改正：令和６年４月１日訓令第５号
スポーツ・文化部
東予地方局
総合科学博物館

愛媛県総合科学博物館処務規程を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館処務規程

（趣旨）

第１条　この訓令は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の処務に関し必要な事項を定めるものとする。

（職務）

第２条　館長は、知事の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

２　副参事は、上司の命を受け、重要な事務を処理する。

３　課長は、上司の命を受け、課務を掌理し、部下職員を指揮監督する。

４　副主幹は、上司を補佐するとともに、上司の名を受け、特定の事務を管理し、当該事務を担当する職員の指導及び育成を行う。

５　専門幹は、上司の名を受け、特に高度の知識又は経験を必要とする専門事項を処理し、当該専門事項に係る事務を分担する職員の指導及び育成を行う。

６　専門員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、当該専門事項に係る事務を分担する職員を指導し、かつ、高度の専門事項を自ら処理する。

７　専門学芸員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、特に高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

８　担当係長は、上司の命を受け、担当事務を管理する。

９　主任は、上司の命を受け、特定の事務を処理する。

10　主任学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

11　学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

12　主事及びその他の職員は、上司の命を受け、館務に従事する。

（専決事項）

第３条　館長の専決処理すべき事項は、次のとおりとする。ただし、異例又は重要と認められるものについては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。

⑴　)　文書の管理に関すること。

⑵　館務に関し職名又は館名で文書を施行すること。

⑶　公文書の公開に関すること（公文書の公開の請求（申請を含む。）に対する決定又は当該請求に係る不作為についての審査請求（不服の申出を含む。）に関するものを除く。）。

⑷　個人情報取扱事務の登録に関すること。

⑸　個人情報の開示、訂正及び利用停止に関すること（個人情報の開示、訂正及び利用停止の請求に対する決定又はこれらの請求に係る不作為についての審査請求に関するものを除く。）。

⑹　個人情報ファイル簿の作成及び公表に関すること。

⑺　行政機関等匿名加工情報の作成に関すること。

⑻　所属職員の休暇、育児休業等その他服務に関すること。

⑼　所属職員の出張（館長の海外出張を除く。）に関すること。

⑽　所属職員の事務分掌に関すること。

⑾　1,000万円未満の税外収入の決定（寄附の受入れの決定を除く。）に関すること。

⑿　１件500万円未満の支出を伴う事件（工事を除く。）の決定及びその執行に関すること。

⑬　博物館の使用料の徴収、減免及び還付に関すること。
⑭　その他軽易又は常例に属する事務の執行に関すること。
（代決）
第４条　館長が不在のときは、学芸課長が代決する。
２　前項の規定により代決した事務で重要なものは、後閲を受けなければならない。
（簿冊の整備）
第５条　博物館は、必要な簿冊を備え付けて、整理しておかなければならない。
（他の規程の準用）
第６条　この訓令に定めるもののほか、博物館の処務については、愛媛県処務細則（昭和29年愛媛県訓令第５号）の例による。

附　則（令和２年３月27日訓令第２号）
この訓令は、令和２年４月１日から施行する。
附　則（令和５年３月31日訓令第２号）
この訓令は、令和５年４月１日から施行する。
附　則（令和６年４月１日訓令第５号）
この訓令は、公布の日から施行する。

愛媛県総合科学博物館管理運営規程

伊予鉄総合企画株式会社

（趣旨）

第１条　この規程は、伊予鉄総合企画株式会社（以下、当社という。）が愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）を管理運営するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間等）

第２条　博物館の開館時間は、次の通りとする。

⑴　午前９時から午後５時30分まで

⑵　夜間イベント（午後５時30分から午後９時30分までの間に、当社が来館者を対象に実施する博物館の事業をいう。）を実施する日については、実施に要する時間として当社が決定した時間。

２　前項各号の規定にかかわらず、別表第１の１の項から３の項までに掲げる施設並びに別表第２に掲げる附属設備及び備品は、午前９時から午後10時まで利用することができる。

（休館日）

第３条　博物館の休館日は、次のとおりとする。

⑴　毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第３条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）

⑵　１月１日及び12月29日から同月31日まで（以下「年末年始」という。）

⑶　第１号にかかわらず、学校長期休業期間（春期、夏期に小学校及び中学校が長期的に休業する期間で、年末年始を除き、標準的な休業期間を勘案して当社が決定する期間）及びゴールデンウィーク期間（４月下旬から５月上旬に掛けて祝日及び日曜日が集中する期間で、日程を勘案して当社が決定する期間）に含まれる毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日は休館日としない。

⑷　事前に愛媛県と協議の上、博物館の管理運営上必要であると認められる場合は、休館日を変更することができる。

（禁止行為）

第４条　博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第６条に定めるもののほか、次に掲げる行為をしてはならない。

⑴　所定の場所以外で飲食し、または喫煙すること。

⑵　所定の場所以外で焚き火をすること。

⑶　所定の場所以外に車両を乗り入れること。

⑷　立入が禁止されている区域に立ち入ること。

⑸　他人に危害を及ぼし、又は迷惑となるおそれがある物品又は動物の類を携帯すること。

⑹　承認を得ないで、博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）に特別の設備をし、又はその原状を変更すること。

⑺　みだりに共用の場所に物品を放置すること。

⑻　前各号に定めるもののほか、博物館の秩序を乱すような行為をすること。

（入館等の制限）

第５条　当社は、利用者が条例第７条に定めるもののほか、前条の規定に違反し、又は違反するおそれがあると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることが出来る。

（利用又は観覧の許可を要する施設等）

第６条　条例８条第１項の規定に基づき、利用又は観覧に当たり当社の許可を要する施設等は、別表第１、別表第２及び別表第３に掲げる施設等とする。

（施設の利用の許可）

第７条　前条の規定に基づき、別表第１及び別表第２に掲げる施設等の利用の許可を受けようとする者は、それぞれ次の各号に定める期間内に、愛媛県総合科学博物館施設利用許可申請書（様式第１号。以下「利用許可申請書」という。）を当社に提出し、その許可を受けなければならない。

⑴　別表第１に掲げる施設のうち、多目的ホール、控室　利用日の１年前から７日前まで

⑵　別表第１に掲げる施設のうち、研修室、オリエンテーションルーム　利用日の６月前から２日前まで

２　前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、所定の期間外に利用許可申請書の提出を認めるものとする。

⑴　国又は地方公共団体が利用する場合

⑵　大規模な行事等のため、所定の期間前から準備を始める必要があると認められる場合

⑶　その他当社が特に理由があると認める場合

３　当社は、利用許可申請書の受付を、開館日（第３条に規定する休館日以外の日をいう。以下同じ。）の開館時間の間に行うものとする。

４　受付は、原則として利用許可申請書が提出された順序により行うものとし、同一時期の利用許可申請書が同時に２人以上の者から提出されたときは、抽選により、その順序を決定する。

５　当社は、利用許可申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、条例第９条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、当該申請書を受理するものとする。

６　当社は、前項の規定により受理した利用許可申請書について、原則として利用許可申請書を受理した順序により、利用の許可を決定するものとする。

７　当社は、利用の許可に当たり、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。

８　当社は、第6項の規定により利用の許可を決定したときには、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館利用許可書（様式第２号。以下「利用許可書」という。）を交付する。

なお、利用許可書は、利用料金の納付があったときに交付するものとするが、第12条に基づき、利用料金を後納させ、又は分納させる場合にあっては、この限りではない。

９　前各項の規定にかかわらず、当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために施設等を利用するとき、又は当社が主催若しくは共催して博物館の目的を達成するために必要な事業を行う者が施設等を利用するときは、当社における事業の実施の決定をもって、前各項に定める利用の申請及び許可があったものとみなす。

10　利用許可書を交付された者（以下「施設等利用者」という。）は、施設等の利用に当たり、当社の求めに応じて利用許可書を提示しなければならない。

11　施設等利用者は、許可を受けた施設等の利用に係る権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（展示室等の観覧の許可）

第８条　第６条の規定に基づき、別表第３に掲げる博物館の展示室又はプラネタリウム（以下「展示室等」という。）の観覧の許可を受けようとする者は、観覧する前に、第13条に定める観覧しようとする展示室等の観覧料金を当社に納付しなければならない。

２　当社は、観覧料金納付の受付を、開館日の開館時間の間に行うものとする。

３　受付は、原則として観覧料金が提出された順序により行うものとし、当社は、条例９条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、提出された観覧料金を受理し、受理をもって観覧の許可を決定したものとし、展示観覧券を交付する。

（利用許可の変更及び取消し）

第９条　施設等利用者は、利用日時、利用目的、入場料徴収の有無その他当社が定める事項を変更しようとするとき、若しくは許可の取消しを求めるときは、あらかじめ愛媛県総合科学博物館利用変更（取消し）許可申請書（様式第３号）に利用許可書を添えて当社に提出し、その許可を受けなければならない。

２　前項の許可に当たっては、第７条の規定を準用するものとする。

（利用許可の取消し等）

第10条　当社は、第７条から第９条までの規定に基づく利用の許可を受けた者が、条例第10条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合のほか、この規程に違反すると認めるときは、その利用の許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することがある。

２　前項の規定に基づき取消し等を行う場合は、当社は愛媛県総合科学博物館利用許可取消し等命令書（様式第４号）を交付するものとする。ただし、当社が必要と認めるときは、口頭で命令できるものとする。

（利用料金の納付）

第11条　当社は、第７条の規定により施設等の利用の許可を決定したとき、当該申請者に対し、それぞれの利用にかかる利用料金の納付の通知を行うものとする。

２　申請者は、前項の利用料金の納付の通知を受けたときは、直ちに利用料金を当社に納付し、利用許可書の交付を受けるものとする。

（利用料金の後納等）

第12条　条例11条第２項に基づき、次の各号に掲げる場合にあっては、利用料金を後納させ、又は分納させることがある。

⑴　国又は地方公共団体が利用する場合

⑵　許可された利用時間を超えて利用した場合

⑶　その他当社がやむを得ないと認める場合

（利用料金の額）

第13条　条例第12条に基づき、当社が定める利用料金の額は、別表第１、別表第２及び別表第３に掲げるとおりとする。

（施設等利用料金の減免）

第14条　別表第１及び別表第２に掲げる施設等の利用料金については、条例第13条の規定に基づき、当社では、次の各号に該当すると認める場合、それぞれ当該各号に定める額を減免する。

⑴　愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために利用する場合　施設利用料金の全額

⑵　愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が利用する場合　施設利用料金の全額

⑶　愛媛県が特に必要があると認めて利用する場合　施設利用料金の全額

⑷　その他当社が利用者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合　個別の事例ごとに教育委員会と協議して、当社が決定する額

２　前項の規定により施設等利用料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料金減免申請書（様式第５号）及び当社が必要と認める資料を、利用許可申請書に添えて当社に提出するものとする。

３　当社は、施設等利用料金の減免を決定したときは、利用許可書にその旨を記載するものとする。

４　前２項の規定にかかわらず、第１項第１号及び同項第２号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前２項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。

（展示室等観覧料金の減免）

第15条　別表第３に掲げる展示室等の観覧料金については、条例第13条第１項に基づく免除を行うほか、同条第３項の規定に基づき、当社では、次の各号に掲げるものに対し、それぞれ当該各号に定める額を減免する。

⑴　友の会の会員　観覧料金の全額

⑵　愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために観覧する場合　観覧料金の全額

⑶　愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が観覧する場合　観覧料金の全額

⑷　教育委員会が施設の利用促進上、特に必要と認める場合　観覧料金の全額
⑸　その他当社が展示室等の観覧者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合　個別の事例ごとに教育委員会と協議して、当社が決定する額

2　条例第13条第１項第１号の規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとするときは、あらかじめ、学校長が愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書(様式第６号)を当社に提出しなければならない。

3　条例第13条第１項第２号から第４号までの各規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとする者は、当該各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。

4　第１項第１号に掲げる者が展示室等の観覧料金の減免を受けようとする場合は、同号に該当することを証する書類を提示しなければならない。

5　第１項第２号から第５号の規定により展示室等の観覧料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書（様式第６号）及び当社が必要と認める資料を、当社に提出するものとする。

6　前項の規定にかかわらず、第１項第３号及び同項第４号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。

7　観覧料の免除又は減免対象と確認できた場合は、利用者に無料観覧券を発行する。

（いーよポイントによる減免）

第16条　第14条及び第15条の規定にかかわらず、「ボランティア活動を促進するための教育委員会所管の教育機関の使用料減免規則」（平成15年愛媛県教育委員会規則第9号）第２条第２項に規定する「いーよポイント」との引換えにより、別表第１及び別表第２に掲げる施設等の利用料金及び、別表第３に掲げる展示室等の観覧料金を減免するものとする。

2　その他「いーよポイント」による減免に関し必要な事項は、別途定める。

（利用料金の還付）

第17条　当社は、次の各号のいずれかに該当するときは、既に収受した利用料金のうち、それぞれ当該各号に定める額を還付するものとする。

⑴　条例第14条第1項第1号に該当すると認める場合　利用料金の全額
⑵　別表第４に掲げる施設の利用の許可を受けた者が、それぞれ同表に掲げる日までに、第９条の規定に基づき、利用の許可の変更又は取消しの許可を受けた場合　それぞれ同表に掲げる額
⑶　その他当社がやむを得ないと認める場合　当社が適当と認める額

2　前項の規定により利用料金の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料還付申請書（様式第７号）を当社に提出しなければならない。

（参加料金の徴収）

第18条　当社は、博物館の目的を達成するために必要な事業を実施するに当たり、必要と認めるときは、事業に参加する者から参加に係る料金（以下「参加料金」という。）を徴収することがある。

2　参加料金を徴収する事業及びその額は、当社が事業の実施計画を決定する際に、事業内容を勘案して定める。

3　参加料金を徴収する事業に参加しようとする者は、参加する前に参加料金を納付しなければならない。なお、当社が適当と認めるときは、参加料金を後納させ、又は分納させることがある。

4　当社は、参加料金の納付が確認できたときに、当該納付をした者に対し、事業の参加を認めるものとする。

5　事業の参加料金を減免することを目的に当社が発行した証票（以下「事業参加料金減免券」という。）を提示又は納付した者に対しては、それぞれ証票に記載した額を減免するものとする。

6　当社は、やむを得ない理由があると認めるときは、既に徴収した参加料金のうち、適当と認める額を還付することがある。

（施設等損傷の届出及び損害賠償等）

第19条　博物館の施設等を損傷した者は、直ちにその旨を当社に届け出なければならない。

2　自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又は

それによって生じた損害を賠償しなければならない。

（原状回復義務）

第20条　利用者は、博物館の施設等の利用が終ったとき又は利用の許可を取り消されたときは、博物館の職員の指示に従い、速やかに附属設備及び備品を所定の場所に整理し、現状に回復しなければならない。

（当社の指示及び調査）

第21条　当社は、博物館の秩序の維持及び管理上必要があると認めるときは、利用者に対し、その利用に関し指示をし、又は利用中の施設に職員を立ち入らせ利用の状況を調査させることができる。

（補則）

第22条　この規程に定めるもののほか、博物館の運営に関し必要な事項は、当社が定める。

附則

この規程は、平成21年４月１日から施行する。

この規定は、令和７年４月１日から改正施行する。

別表第１（第２条、第６条、第７条、第13条、第14条、第16条関係）

施設利用料

（単位　円）

区分			利用料			
			午前	午後	夜間	全日
			9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
1	多目的ホール	入場料が無料の場合	5,520	7,360	8,260	21,140
		入場料が有料の場合	8,610	11,950	13,070	33,630
2	控室１		320	400	440	1,160
	控室２		710	870	950	2,530
3	第１研修室		5,150	6,870	6,870	18,890
	第２研修室		1,650	2,210	2,210	6,070

注１．上記は税込金額とする。

２．午前及び午後又は午後及び夜間を継続して利用する場合の利用料は、午前及び午後又は午後及び夜間の利用料の合計額とする。

３．多目的ホール又は企画展示室の利用者がこれらの施設を商品の宣伝、展示、販売等営利を目的として利用するときの利用料は、入場料の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とする。

４．午前、午後、夜間及び全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に利用する場合の利用料は、１時間まで毎に、全日の利用料の１時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とする。

別表第２（第２条、第６条、第７条、第13条、第14条、第16条関係）

附属設備及び備品の利用料

（単位　円）

名称				１日の利用料
区　分	番号	種類又は品名	単位	
多目的ホール・控室				
舞台設備	1	演台	１台	450
	2	花台	１台	230
	3	司会台	１台	230
	4	譜面台	１台	120
	5	平台（180cm×90cm）	１台	230
	6	上敷ござ	１枚	330
	7	めくり台	１台	120
	8	高座用布団台	１枚	230
	9	緋毛せん	１枚	330
照明設備	10	照明設備一式	１式	4,540
	11	パーライト（1000W）	１基	280
音響設備	12	舞台袖操作卓	１式	1,100
	13	ワイヤレスハンドマイク	１本	1,100
	14	ワイヤレスピンマイク	１本	1,660
	15	ダイナミックマイク	１本	550
	16	卓上型マイクスタンド	１台	230
	17	床上型マイクスタンド	１台	230
楽器	18	ピアノ	１台	3,320
映写設備	19	ポータブルスクリーン	１台	330
その他	20	ホワイトボード	１台	330
	21	レーザーポインター	１個	330
	22	延長コード	１本	120
	23	電気スタンド	１台	120

注１．ピアノの利用料には、調律料を含まない。
注２．マイクは全部で４本までの使用となる。

別表第３（第６条、第８条、第13条、第15条、第16条関係）

１．展示室観覧料

区　　分	一　　般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	580円	480円
高齢者（65歳以上）	300円	250円

２．プラネタリウム観覧料

区　　分	一　　般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	580円	480円
高齢者（65歳以上）、小・中学生	300円	250円

別表第４（第17条関係）

利用料金の還付

施設の区分	変更又は取り消しの許可を受けた日	還付の額
多目的ホール・控室１・控室２	利用日の60日前の日	利用料金の全額
	利用日の30日前の日	利用料金の50％に相当する額
第１研修室・第２研修室	利用日の14日前の日	利用料金の全額
	利用日の７日前の日	利用料金の50％に相当する額

Ⅶ 博物館利用案内

1 施設使用案内

⑴ 施設使用申し込み

次の期日までに所定の様式による使用許可申請書を提出し、使用の許可を得てください。

・多目的ホール、控室……１年前から７日前まで

・研修室……６月前から２日前まで

⑵ 施設使用料（※令和7年4月1日現在）

区分		使用料			
		午前	午後	夜間	全日
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
多目的ホール	入場料が無料の場合	5,520円	7,360円	8,260円	21,140円
	入場料が有料の場合	8,610円	11,950円	13,070円	33,630円
控室１		320円	400円	440円	1,160円
控室２		710円	870円	950円	2,530円
第１研修室		5,150円	6,870円	6,870円	18,890円
第２研修室		1,650円	2,210円	2,210円	6,070円

注１　午前及び午後又は午後及び夜間を継続して使用する場合の使用料は、午前及び午後又は午後及び夜間の使用料の合計額とする。

注２　多目的ホールの使用者がこれらの施設を商品の宣伝、展示等の営利を目的として使用するときの使用料は、入場料徴収の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とする。

注３　午前、午後、夜間及び全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に使用する場合の使用料は、１時間までごとに、全日の使用料の１時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とする。

2 入館案内

⑴ 開館時間

午前９時から午後５時30分まで（展示室への入場は、午後５時まで）

⑵ 休館日

・毎週月曜日　　ただし、第１月曜日は開館し、翌火曜日が休館。
　　祝日・振替休日にあたる場合は、直後の平日
・年末年始　　12月29日から１月１日まで
・春休み、夏休み、ＧＷ期間中は無休
　このほか、必要に応じ休館することがあります。

⑶ 展示観覧料

常設展

区　　分	一　般	団　体 (20名以上)
大人(高校生以上)	580円	480円
65歳以上の方	300円	250円
小・中学生	無料	無料

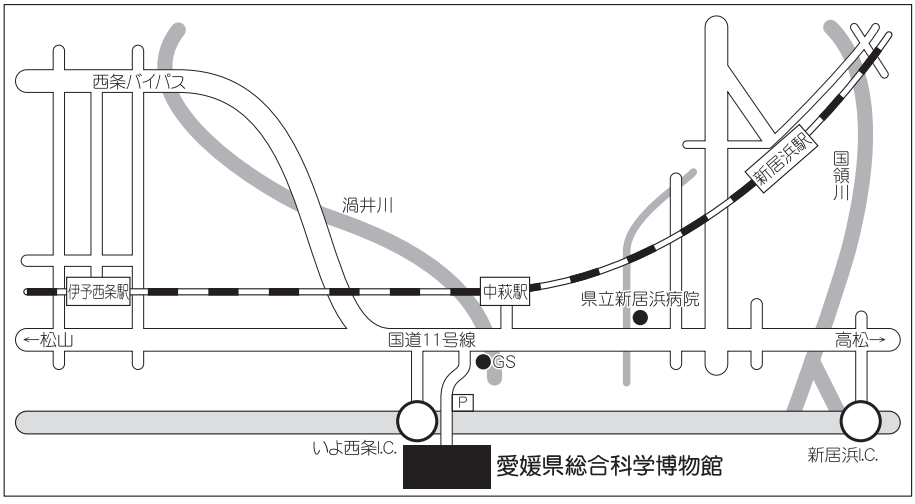
プラネタリウム

区　　分	一　般	団　体 (20名以上)
大人(高校生以上)	580円	480円
65歳以上の方	300円	250円
小・中学生	300円	250円

特別展・企画展の観覧料は別に定めます。

3 交通案内

松山市から車で（松山自動車道利用）……60分
松山自動車道いよ西条Ｉ.Ｃ.から ……５分
瀬戸内バス　西条～中萩～新居浜線
　　ＪＲ伊予西条駅から……20分、「桜木」から徒歩20分
　　ＪＲ新居浜駅から……20分、「渦井橋」から徒歩20分
ＪＲ伊予西条駅からタクシーで……15分
ＪＲ新居浜駅からタクシーで……15分
駐車場（乗用車320台・大型バス８台収容）がありますのでご利用ください。



年　　報

（令和７年度）

発行年月日　令和８年９月30日

発　　行　**愛媛県総合科学博物館**

〒792－0060

新居浜市大生院2133番地2

TEL（0897）40－4100

FAX（0897）40－4101

印 刷 所　株式会社ハラプレックス